

ANNUAL REPORT

令和5年度 独立行政法人国立美術館

東京国立近代美術館活動報告

Independent Administrative Institution National Museum of Art

The National Museum of Modern Art, Tokyo 2023



2023

ANNUAL REPORT

令和5年度 独立行政法人国立美術館 東京国立近代美術館活動報告

Independent Administrative Institution National Museum of Art

The National Museum of Modern Art, Tokyo 2023

2023

目次

Contents

美術・工芸部門

I 作品収集・修理等	
1 作品収集	6 — 1-1 美術作品[日本画 油彩 その他 版画 水彩・素描 彫刻(立体造形) 映像 書 写真 美術資料] 6 — 1-2 工芸作品[陶磁 ガラス 漆工 木工 竹工 染織 人形 金工 その他の工芸 工芸資料 工業・デザイン資料 グラフィック・デザイン]
2 新収蔵作品	7 — 2-1 美術作品[日本画 油彩 その他 版画 水彩 素描 彫刻(立体造形)] 19 — 2-2 工芸作品[陶磁 漆工 竹工 染織 人形 金工 その他の工芸 グラフィック・デザイン資料]
3 作品修理	28 — 3-1 美術作品 31 — 3-2 工芸作品
II 公衆への観覧	
1 展覧会	33 — 1-1 入館者数 34 — 1-2 これまでの展覧会一覧 65 — 1-3 令和5年度企画展覧会記録 71 — 1-4 令和5年度所蔵作品展「MOMATコレクション」記録 1-4-1 本館 1-4-2 国立工芸館 1-4-3 MOMATパスポート 77 — 1-5 東京国立近代美術館・国立工芸館所蔵作品巡回展等 1-5-1 本館 1-5-2 国立工芸館
2 作品貸与・特別観覧・プリントスタディ	79 — 2-1 本館 2-2 国立工芸館
III 調査研究	
1 本館	80
2 国立工芸館	88
IV 教育普及	
1 普及活動	94 — 1-1 資料の収集及び図書室の公開 96 — 1-2 児童生徒を対象とした事業 1-2-1 本館 1-2-2 国立工芸館 100 — 1-3 講演会・シンポジウム・ギャラリートーク等 1-3-1 本館 1-3-2 国立工芸館 107 — 1-4 大学等との連携 1-4-1 本館 1-4-2 国立工芸館 109 — 1-5 ボランティア 1-5-1 本館 1-5-2 国立工芸館 111 — 1-6 有償解説スタッフ 112 — 1-7 その他 113 — 1-8 有料プログラム 114 — 1-9 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修
2 刊行物	115 — 2-1 企画展覧会カタログ 2-1-1 本館 2-1-2 国立工芸館 117 — 2-2 目録・ガイド等 2-2-1 本館 2-2-2 国立工芸館 119 — 2-3 研究紀要・年報等 120 — 2-4 その他の刊行物 2-4-1 国立工芸館 121 — 2-5 美術館ニュース『現代の眼』
3 広報	122 — 3-1 広報 3-1-1 本館 3-1-2 国立工芸館 123 — 3-2 美術館情報システムによる普及・広報 3-2-1 本館 3-2-2 国立工芸館

記録

1 国際交流	126 — 1-1 令和5年度招聘者 1-1-1 東京国立近代美術館 1-1-2 国立工芸館 126 — 1-2 令和5年度来館者 1-2-1 東京国立近代美術館 1-2-2 国立工芸館
2 日誌	127 — 2-1 令和5年度日誌一覧 2-1-1 東京国立近代美術館日誌 2-1-2 国立工芸館日誌
3 予算	128 — 3-1 令和5年度歳出予算一覧 3-1-1 東京国立近代美術館 3-1-2 国立工芸館
4 名簿	129 — 4-1 東京国立近代美術館評議員 130 — 4-2 東京国立近代美術館職員

1 作品収集 List of Acquisitions

1-1 美術作品

種別	令和5年度収集点数	所蔵総点数
日本画	5	865
油彩 その他	19	1,315
版画	8	3,103
水彩・素描	8	4,148
彫刻(立体造形)	3	490
映像	0	78
書	0	21
写真	66	3,043
美術資料	5	699
計	114	13,762

1-2 工芸作品

種別	令和5年度収集点数	所蔵総点数
陶磁	23	1,155
ガラス	0	200
漆工	4	387
木工	0	92
竹工	1	53
染織	13	526
人形	2	110
金工	17	473
その他の工芸	3	17
工芸・デザイン資料	2	113
工業デザイン	0	192
グラフィック・デザイン	20	841
計	85	4,159

2 新収蔵作品 List of Acquisitions

2-1 美術作品 Art Works

令和5年度における美術作品の購入、受贈による新収蔵作品は次のとおり。

日本画5点(購入3点、受贈2点)、油彩 その他19点(購入15点、受贈4点)、版画8点(購入1点、受贈7点)、水彩・素描8点(購入1点、受贈7点)、彫刻(立体造形) 3点(購入3点)、写真66点(購入60点、受贈6点)、美術資料5点(購入2点、受贈3点)である。

New additions to the museum collection as a result of purchase and donation of works of art during fiscal 2023 were as follows: 5 Japanese-style paintings (3 purchases and 2 gifts); 19 oil paintings, etc. (15 purchases and 4 gifts); 8 prints (1 purchase and 7 gifts); 8 watercolors and drawings (1 purchase and 7 gifts); 3 sculptures (3 purchases); 66 photographs (60 purchases and 6 gifts); and 5 supplementary materials (2 purchases and 3 gifts).

日本画

Japanese-Style Painting

滝和亭(1830-1901)

闔家全慶

明治31年
絹本彩色 軸
147.0×56.3cm
左上に落款、印章、年記、書込み；右下に印章
平澤久男氏寄贈
J-840

TAKI, Katei (1830-1901)

Family Happiness
1898
color on silk, hanging scroll
147.0×56.3cm

秦テルヲ(1887-1945)

玉乗り

大正4年頃
紙本彩色 軸
135.0×33.4cm
右下に落款、印章
購入
J-843

HADA, Teruo (1887-1945)

Ball-Riding
c.1915
color on paper, hanging scroll
135.0×33.4cm

秦テルヲ(1887-1945)

京洛追想画譜

昭和14年頃
紙本彩色 画帖(13面)
各 24.2×34.4cm
各図に落款、印章、書込み；巻頭に序
購入
J-844

HADA, Teruo (1887-1945)

Reminiscence of Kyoto
c.1939
color on paper, an album of 13 leaves
each 24.2×34.4cm

速水御舟(1894-1935)

宮津

大正4年
絹本彩色 軸
140.0×49.3cm
右下に落款、印章
3回赤曜会展(東京、上大崎夕日ヶ岡・田村氏庭園、1915年)
購入
J-842

HAYAMI, Gyoshu (1894-1935)

Miyazu
1915
color on silk, hanging scroll
140.0×49.3cm

水田硯山(1902-1988)

瀨峡積翠図

昭和12年
紙本墨画 軸
175.7×75.0cm
右上に落款、印章、年記
6回日本南画院展(東京府美術館、1927年)
平澤久男氏寄贈
J-841

MIZUTA, Kenzan (1902-1988)

Doro Ravine in Green
1927
sumi on paper, hanging scroll
175.7×75.0cm

油彩 その他

Oil Painting, etc.

安宅安五郎(1883-1960)

白蓮樹

大正8年
油彩・キャンバス
165.0×70.0cm
左下に署名
1回帝展(竹之台陳列館、1919年)
購入
O-1317

ATAKA, Yasugoro (1883-1960)

White Magnolia Tree
1919
oil on canvas
165.0×70.0cm

有馬さとえ(三斗枝)(1893-1978)

題名不詳

昭和21-26年頃
油彩・キャンバス
117.0×91.2cm
松田美枝子氏寄贈
O-1313

ARIMA, Satoe (1893-1978)

title unknown
c.1946-51
oil on canvas
117.0×91.2cm

マックス・エルンスト(1891-1976)

砂漠の花(砂漠のバラ)

大正14年
油彩、鉛筆・キャンバス
75.0×59.0cm
右下に署名、年記
個展(パリ、ギャルリー・ファン・リア、1926年)
購入
O-1309

ERNST, Max (1891-1976)

Desert Flower (Desert Rose)
1925
oil and pencil on canvas
75.0×59.0cm

桂ゆき(ユキ子)(1913-1991)

秋

昭和30年
油彩・キャンバス
53.0×65.0cm
右下に署名
購入
O-1310

KATSURA, Yuki (Yukiko) (1913-1991)

Autumn
1955
oil on canvas
53.0×65.0cm

関根直子(1977-)

Stacks I (381)

令和5年
グラフィット、グアッシュ・板
89.0×122.0cm
4人展(東京、MA2Gallery、2023年)
購入
O-1322

SEKINE, Naoko (1977-)

Stacks I (381)
2023
graphite and gouache on board
89.0×122.0cm

関根直子(1977-)

Stacks II (382)

令和5年
グラフィット、グアッシュ、インク、板
91.5×152.7cm
4人展(東京、MA2Gallery、2023年)
購入
O-1323

SEKINE, Naoko (1977-)

Stacks II (382)
2023
graphite, gouache, ink on board
91.5×152.7cm

太郎千恵藏(1962-)

戦争(ピンクは血の色)

平成8年
油彩、アクリリック、インク、プラスチックシート・板
235.0×235.0cm
個展(ニューヨーク、サンドラ・ゲーリング・ギャラリー、1996年)
購入
O-1320

TARO, Chiezo (1962-)

War / Pink is Color of Blood
1996
oil, acrylic, ink and plastic sheet on board
235.0×235.0cm

太郎千恵藏(1962-)

少年

平成10年
油彩・キャンバス
198.0×152.0cm
個展(ニューヨーク、サンドラ・ゲーリング・ギャラリー、1999年)
作者寄贈
O-1316

TARO, Chiezo (1962-)

Boy
1998
oil on canvas
198.0×152.0cm

椿貞雄(1896-1957)

晴子像

昭和13年
油彩・キャンバス
33.7×25.8cm
右上に署名、年記
13回国画会展(東京府美術館、1938年)
購入
O-1318

TSUBAKI, Sadao (1896-1957)

Portrait of Haruko
1938
oil on canvas
33.7×25.8cm

堂本右美(1960-)

無題

平成2年
油彩・キャンバス
182.0×227.5cm
個展(東京、佐賀町エキジビット・スペース、1990年)
購入
O-1319

DOMOTO, Yuumi (1960-)

Untitled
1990
oil on canvas
182.0×227.5cm

中村宏(1932-)

空襲 1945

令和4年
アクリリック・キャンバス 3点組
各 65.2×53.0cm
右面下に署名、年記
50回勲展(東京都美術館、2022年)
購入
O-1321

NAKAMURA, Hiroshi (1932-)

Air Raid 1945
2022
acrylic on canvas, 3 pieces
each 65.2×53.0cm

日比野克彦(1958-)

APRIL

昭和55年
アクリリック、色鉛筆、インク、紙、厚紙、オブ
ジェ(値札)、その他・段ボール
50.0×39.0cm
個展(平塚市美術館、1994年)
購入
O-1324

HIBINO, Katsuhiko (1958-)

APRIL

1980
acrylic, color pencil, ink, paper, cardboard, object
(price tag), etc. on corrugated
50.0×39.0cm

日比野克彦(1958-)

BOEING

昭和56年
アクリリック、色鉛筆、鉛筆、インク、紙、厚紙、
その他・段ボール
60.5×73.0cm
東京藝術大学卒業制作展(東京都美術館、1982年)
購入
O-1325

HIBINO, Katsuhiko (1958-)

BOEING

1981
acrylic, color pencil, pencil, ink, paper, cardboard,
etc. on corrugated cardboard
60.5×73.0cm

日比野克彦(1958-)

RED HIGH HEELS

昭和57年
アクリリック、色鉛筆、鉛筆、インク、紙、厚紙、
その他・段ボール
72.8×51.5cm
個展(いわき市立美術館、2001年)
購入
O-1326

HIBINO, Katsuhiko (1958-)

RED HIGH HEELS

1982
acrylic, color pencil, pencil, ink, paper, cardboard,
etc. on corrugated cardboard
72.8×51.5cm

日比野克彦(1958-)

SEWING SCHOOL

昭和58年
アクリリック、墨、色鉛筆、段ボール、紙、その他・
段ボール
89.8×69.9cm
個展(東京、ビテカントロブスエレクトラス、1983年)
購入
O-1327

HIBINO, Katsuhiko (1958-)

SEWING SCHOOL

1983
acrylic, sumi, color pencil, corrugated cardboard,
paper, etc. on corrugated cardboard
89.8×69.9cm

毛利眞美(1926-2022)

[無題]

昭和25-30年頃
油彩・キャンバス
116.5×91.0cm
購入
O-1311

MORI, Mami (1926-2022)

[Untitled]

c.1950-55
oil on canvas
116.5×91.0cm

毛利眞美(1926-2022)

裸婦(B)

昭和32年
油彩・キャンバス
130.0×89.0cm
購入
O-1312

MORI, Mami (1926-2022)

Nude (B)

1957
oil on canvas
130.0×89.0cm

横尾忠則(1936-)

見えざる助力者

昭和64/平成元年
油彩、布・キャンバス
227.0×182.3cm
作者寄贈
O-1314

YOKOO, Tadanori (1936-)

Sustainer from the Back Yard

1989
oil and cloth on canvas
227.0×182.3cm

横尾忠則(1936-)

かざぐるま 2004

平成16年
アクリリック・キャンバス
60.5×50.0cm
右下に署名
作者寄贈
O-1315

YOKOO, Tadanori (1936-)

Pinwheel 2004

2004
acrylic on canvas
60.5×50.0cm

版画
Print

織田一磨(1882-1956)

感覚

大正9年
リトグラフ
20.0×24.5cm
2回日本創作版画協会展(東京、高島屋呉服店、
1920年)
寄贈
P-2075

ODA, Kazuma (1882-1956)

Sense
1920
lithograph
20.0×24.5cm

清宮質文(1917-1991)

九月の海辺

昭和45年
木版(多色)、ed. 32/35
13.4×23.4cm
左下に書込み；右下に署名
個展(東京、南天子画廊、1970年)
新井昭彦氏寄贈
P-2076

SEIMIYA, Naobumi (1917-1991)

Seashore in September
1970
color woodcut, ed. 32/35
13.4×23.4cm

清宮質文(1917-1991)

深夜の蝋燭

昭和49年
木版(多色), ed. 12/35
17.9×15.0cm
左下に書込み; 右下に署名
個展(東京、南天子画廊、1977年)
新井昭彦氏寄贈
P-2077

SEIMIYA, Naobumi (1917-1991)

Midnight Candle

1974
color woodcut, ed. 12/35
17.9×15.0cm

清宮質文(1917-1991)

秋の夕日

昭和51年
木版(多色), ed. 19/26
16.0×14.2cm
左下に書込み; 右下に署名
個展(東京、南天子画廊、1977年)
新井昭彦氏寄贈
P-2078

SEIMIYA, Naobumi (1917-1991)

Autumn Sunset

1976
color woodcut, ed. 19/26
16.0×14.2cm

清宮質文(1917-1991)

夕日のとり

昭和60年
木版(多色), AP
8.0×16.0cm
左下に書込み; 右下に署名
個展(東京、南天子画廊、1985年)
新井昭彦氏寄贈
P-2079

SEIMIYA, Naobumi (1917-1991)

Bird in the Evening Sun

1985
color woodcut, AP
8.0×16.0cm

土橋醇一(醇)(1909-1978)

星雲

昭和35年
リトグラフ
51.1×37.2cm
左下に書込み; 右下に署名、年記
土橋千鶴子氏寄贈
P-2080

DOBASHI, Jun'ichi (Jun) (1909-1978)

Nebula

1960
lithograph
51.1×37.2cm

土橋醇一(醇)(1909-1978)

青のリズム

昭和35年
リトグラフ
54.5×40.5cm
右下に署名、年記
土橋千鶴子氏寄贈
P-2081

DOBASHI, Jun'ichi (Jun) (1909-1978)

Blue Rhythms

1960
lithograph
54.5×40.5cm

棟方志功(1903-1975)

鍵板画冊

昭和31年
木版(単色) 画帖2帖(上巻: 30面; 下巻: 28面)
各 11.4-17.2×21.0-35.0cm
購入
P-2082

MUNAKATA, Shiko (1903-1975)

Illustration to the Novel *The Key* by

Tanizaki Junichiro

1956
woodcut, 2 albums (vol.1: 30 leaves; vol.2: 28 leaves)
each 11.4-17.2×21.0-35.0cm

水彩

Watercolor

織田一磨(1882-1956)

中野村風景

明治40年
水彩、鉛筆・紙
31.8×48.3cm
左下に署名、年記
寄贈
W-262

ODA, Kazuma (1882-1956)

Landscape at Nakano-mura Village

1907
watercolor and pencil on paper
31.8×48.3cm

織田一磨(1882-1956)

綾瀬風景

明治41年
水彩、鉛筆・紙
49.3×32.3cm
左下に署名、年記
寄贈
W-263

ODA, Kazuma (1882-1956)

Landscape at Ayase

1908
watercolor and pencil on paper
49.3×32.3cm

織田一磨(1882-1956)

憂鬱の谷

明治42年
水彩、鉛筆・紙
48.8×66.4cm
右下に署名、年記
3回文展(竹之台陳列館、1909年)
寄贈
W-264

ODA, Kazuma (1882-1956)

Melancholy Valley

1909
watercolor and pencil on paper
48.8×66.4cm

織田一磨(1882-1956)

田端風景

明治43年
水彩、鉛筆・紙
32.1×49.0cm
寄贈
W-265

ODA, Kazuma (1882-1956)

Landscape at Tabata

1910
watercolor and pencil on paper
32.1×49.0cm

織田一磨(1882-1956)

高田の馬場附近

明治44年
水彩、鉛筆・紙
31.9×49.5cm
左下に署名、年記
寄贈
W-266

ODA, Kazuma (1882-1956)

Near Takadanobaba

1911
watercolor and pencil on paper
31.9×49.5cm

織田一磨(1882-1956)

築地河岸

大正3年
水彩、パステル・紙
49.3×66.7cm
左下に署名、年記、印
1回二科展(竹之台陳列館、1914年)
寄贈
W-267

ODA, Kazuma (1882-1956)

Shores of Tsukiji

1914
watercolor and pastel on paper
49.3×66.7cm

清宮質文(1917-1991)

北辺の小屋

昭和46年
水彩、墨、油彩・ガラス
16.6×22.0cm
新井昭彦氏寄贈
W-268

SEIMIYA, Naobumi (1917-1991)

Cottage near the North Border

1971
watercolor, sumi and oil on glass
16.6×22.0cm

素描

Drawing

小村雪岱(1887-1940)

邦枝完二著「江戸役者」挿絵

昭和7年
墨、彩色 画帖(70面、見返し2図)
各15.0×23.4cm
巻末に識；第70図左下に印章
購入
D-760

KOMURA, Setai (1887-1940)

Illustration to the Novel *Edo Yakusha* by

Kunieda Kanji
1932
sumi and color on paper, an album of 70 leaves
each 15.0×23.4cm

彫刻(立体造形)

Sculpture

太郎千恵藏(1962-)

T-555P

平成5年
オブジェ(子供服)、モーター、車輪 2点組
各67.5×46.0×39.0cm
個展(ニューヨーク、サンドラ・ゲーリング・ギャ
ラリー、1993年)
購入
S-502

TARO, Chiezo (1962-)

T-555P

1993
objects (children's clothing), motor, wheels, 2 pieces
each 67.5×46.0×39.0cm

日比野克彦(1958-)

PRESENT BOX

昭和57年
厚紙、紙、アクリリック、色鉛筆、インク、オブ
ジェ(アイスクリーム容器)、その他
44.3×24.0×29.2cm
東京藝術大学卒業制作展(東京都美術館、1982
年)
購入
S-500

HIBINO, Katsuhiko (1958-)

PRESENT BOX

1982
cardboard, paper, acrylic, color pencil, ink, object
(Ice cream container), etc.
44.3×24.0×29.2cm

日比野克彦(1958-)

ELECTRIC GUITAR

昭和61年
段ボール、厚紙、紙、木、金属、新聞紙、針金、釘、
風糸、アクリリック、墨、インク、パステル、その他
68.0×23.0×8.0cm
右下に署名、年記
購入
S-501

HIBINO, Katsuhiko (1958-)

ELECTRIC GUITAR

1986
corrugated cardboard, cardboard, paper, wood,
metal, newspaper, steel wire, nail, kite string, acrylic,
sumi, ink, pastel, etc.
68.0×23.0×8.0cm

写真

Photographic Work

今井壽恵(1931-2009)
「オフェリアその後」より [1]

昭和35年
ゼラチン・シルバー・プリント、ed. AP 1/3
52.1×40.8cm
購入
Ph-2959

IMAI, Hisae (1931-2009)

From *Ophelia* [1]
1960 (printed 2024)
gelatin silver print, ed. AP 1/3
52.1×40.8cm

今井壽恵(1931-2009)
「オフェリアその後」より [2]

昭和35年
ゼラチン・シルバー・プリント、ed. AP 1/3
51.7×40.9cm
購入
Ph-2960

IMAI, Hisae (1931-2009)

From *Ophelia* [2]
1960 (printed 2024)
gelatin silver print, ed. AP 1/3
51.7×40.9cm

今井壽恵(1931-2009)
「オフェリアその後」より [3]

昭和35年
ゼラチン・シルバー・プリント、ed. AP 1/3
40.9×51.9cm
購入
Ph-2961

IMAI, Hisae (1931-2009)

From *Ophelia* [3]
1960 (printed 2024)
gelatin silver print, ed. AP 1/3
40.9×51.9cm

今井壽恵(1931-2009)
「オフェリアその後」より [4]

昭和35年
ゼラチン・シルバー・プリント、ed. AP 1/3
51.8×40.9cm
購入
Ph-2962

IMAI, Hisae (1931-2009)

From *Ophelia* [4]
1960 (printed 2024)
gelatin silver print, ed. AP 1/3
51.8×40.9cm

今井壽恵(1931-2009)
「オフェリアその後」より [5]

昭和35年
発色現像方式印画、ed. AP 1/3
52.1×37.8cm
購入
Ph-2963

IMAI, Hisae (1931-2009)

From *Ophelia* [5]
1960 (printed 2024)
chromogenic print, ed. AP 1/3
52.1×37.8cm

今井壽恵(1931-2009)
「オフェリアその後」より [6]

昭和35年
発色現像方式印画、ed. AP 1/3
52.1×41.5cm
購入
Ph-2964

IMAI, Hisae (1931-2009)

From *Ophelia* [6]
1960 (printed 2024)
chromogenic print, ed. AP 1/3
52.1×41.5cm

今井壽恵(1931-2009)
「オフェリアその後」より [7]

昭和35年
発色現像方式印画、ed. AP 1/3
52.1×36.2cm
購入
Ph-2965

IMAI, Hisae (1931-2009)

From *Ophelia* [7]
1960 (printed 2024)
chromogenic print, ed. AP 1/3
52.1×36.2cm

今井壽恵(1931-2009)
「オフェリアその後」より [8]

昭和35年
発色現像方式印画、ed. AP 1/3
52.1×36.0cm
購入
Ph-2966

IMAI, Hisae (1931-2009)

From *Ophelia* [8]
1960 (printed 2024)
chromogenic print, ed. AP 1/3
52.1×36.0cm

今井壽恵(1931-2009)
「オフェリアその後」より [9]

昭和35年
ゼラチン・シルバー・プリント
51.8×40.9cm
購入
Ph-2967

IMAI, Hisae (1931-2009)

From *Ophelia* [9]
1960 (printed 2024)
gelatin silver print
51.8×40.9cm

杉本博司(1948-)
パレス、ニュージャージー州

昭和52年
ゼラチン・シルバー・プリント、額装、ed. 6/25
42.3×54.5cm
裏面に署名、年記、題名、エディション番号
購入
Ph-3004

SUGIMOTO, Hiroshi (1948-)

Palace, New Jersey
1977
gelatin silver print, framed, ed. 6/25
42.3×54.5cm

杉本博司(1948-)
エルムウッド、ニュージャージー州

昭和52年
ゼラチン・シルバー・プリント、額装、ed. 6/25
42.3×54.5cm
裏面に署名、年記、題名、エディション番号
購入
Ph-3005

SUGIMOTO, Hiroshi (1948-)

Elmwood, New Jersey
1977
gelatin silver print, framed, ed. 6/25
42.3×54.5cm

<p>杉本博司(1948-) マリオン・パレス、オハイオ州 昭和55年 ゼラチン・シルバー・プリント、額装、ed. 1/25 42.3×54.5cm 裏面に署名、年記、題名、エディション番号 購入 Ph-3006</p>	<p>杉本博司(1948-) オハイオ・シアター、オハイオ州 昭和55年 ゼラチン・シルバー・プリント、額装、ed. 12/25 42.3×54.5cm 裏面に署名、年記、題名、エディション番号 購入 Ph-3007</p>	<p>杉本博司(1948-) 北太平洋、岩手 昭和61年 ゼラチン・シルバー・プリント、額装、ed. 4/25 42.3×54.5cm 裏面に署名、年記、題名、エディション番号 購入 Ph-3008</p>
<p>SUGIMOTO, Hiroshi (1948-) Marion Palace, Ohio 1980 gelatin silver print, framed, ed. 1/25 42.3×54.5cm</p>	<p>SUGIMOTO, Hiroshi (1948-) Ohio Theater, Ohio 1980 gelatin silver print, framed, ed. 12/25 42.3×54.5cm</p>	<p>SUGIMOTO, Hiroshi (1948-) North Pacific Ocean, Iwate 1986 gelatin silver print, framed, ed. 4/25 42.3×54.5cm</p>
<p>杉本博司(1948-) イオニア海、サンタ・チェザーレア 平成2年 ゼラチン・シルバー・プリント、額装、ed. 1/25 42.3×54.5cm 裏面に署名、年記、題名、エディション番号 購入 Ph-3009</p>	<p>杉本博司(1948-) 南太平洋、テアライ 平成3年 ゼラチン・シルバー・プリント、額装、ed. 1/25 42.3×54.5cm 裏面に署名、年記、題名、エディション番号 購入 Ph-3010</p>	<p>中平卓馬(1938-2015) 「大和南限」より [1] 昭和51年 ゼラチン・シルバー・プリント 29.2×19.8cm 購入 Ph-2968</p>
<p>SUGIMOTO, Hiroshi (1948-) Ionian Sea, Santa Cesarea 1990 gelatin silver print, framed, ed. 1/25 42.3×54.5cm</p>	<p>SUGIMOTO, Hiroshi (1948-) South Pacific Ocean, Tearai 1991 gelatin silver print, framed, ed. 1/25 42.3×54.5cm</p>	<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-2015) Southern Limit of Yamato [1] 1976 gelatin silver print 29.2×19.8cm</p>
<p>中平卓馬(1938-2015) 「大和南限」より [2] 昭和51年 ゼラチン・シルバー・プリント 18.8×28.2cm 購入 Ph-2969</p>	<p>中平卓馬(1938-2015) 「大和南限」より [3] 昭和51年 ゼラチン・シルバー・プリント 28.2×18.7cm 購入 Ph-2970</p>	<p>中平卓馬(1938-2015) 「大和南限」より [4] 昭和51年 ゼラチン・シルバー・プリント 19.8×29.2cm 購入 Ph-2971</p>
<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-2015) Southern Limit of Yamato [2] 1976 gelatin silver print 18.8×28.2cm</p>	<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-2015) Southern Limit of Yamato [3] 1976 gelatin silver print 28.2×18.7cm</p>	<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-2015) Southern Limit of Yamato [4] 1976 gelatin silver print 19.8×29.2cm</p>
<p>中平卓馬(1938-2015) 「大和南限」より [5] 昭和51年 ゼラチン・シルバー・プリント 19.9×29.0cm 購入 Ph-2972</p>	<p>中平卓馬(1938-2015) 「大和南限」より [6] 昭和51年 ゼラチン・シルバー・プリント 18.8×28.3cm 購入 Ph-2973</p>	<p>中平卓馬(1938-2015) 「大和南限」より [7] 昭和51年 ゼラチン・シルバー・プリント 19.0×29.2cm 購入 Ph-2974</p>
<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-2015) Southern Limit of Yamato [5] 1976 gelatin silver print 19.9×29.0cm</p>	<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-2015) Southern Limit of Yamato [6] 1976 gelatin silver print 18.8×28.3cm</p>	<p>NAKAHIRA, Takuma (1938-2015) Southern Limit of Yamato [7] 1976 gelatin silver print 19.0×29.2cm</p>

中平卓馬(1938-2015)

「大和南限」より [8]

昭和51年
ゼラチン・シルバー・プリント
29.0×19.8cm
購入
Ph-2975

中平卓馬(1938-2015)

「大和南限」より [9]

昭和51年
ゼラチン・シルバー・プリント
29.2×19.8cm
購入
Ph-2976

中平卓馬(1938-2015)

「大和南限」より [10]

昭和51年
ゼラチン・シルバー・プリント
28.2×18.8cm
購入
Ph-2977

NAKAHIRA, Takuma (1938-2015)

Southern Limit of Yamato [8]

1976
gelatin silver print
29.0×19.8cm

NAKAHIRA, Takuma (1938-2015)

Southern Limit of Yamato [9]

1976
gelatin silver print
29.2×19.8cm

NAKAHIRA, Takuma (1938-2015)

Southern Limit of Yamato [10]

1976
gelatin silver print
28.2×18.8cm

中平卓馬(1938-2015)

「大和南限」より [11]

昭和51年
ゼラチン・シルバー・プリント
28.3×18.6cm
購入
Ph-2978

中平卓馬(1938-2015)

「大和南限」より [12]

昭和51年
ゼラチン・シルバー・プリント
19.8×29.1cm
購入
Ph-2979

ホンマタカシ(1962-)

「その森の子供」より Fukushima #1

平成24年
発色現像方式印画、額装、ed. 3/3
100.0×116.6cm
購入
Ph-2945-001

NAKAHIRA, Takuma (1938-2015)

Southern Limit of Yamato [11]

1976
gelatin silver print
28.3×18.6cm

NAKAHIRA, Takuma (1938-2015)

Southern Limit of Yamato [12]

1976
gelatin silver print
19.8×29.1cm

HOMMA, Takashi (1962-)

Fukushima #1 from *mushrooms from the forest*

2012
chromogenic print, framed, ed. 3/3
100.0×116.6cm

ホンマタカシ(1962-)

「その森の子供」より Fukushima #26

平成24年
発色現像方式印画、額装、ed. 3/3
100.0×116.6cm
購入
Ph-2945-002

ホンマタカシ(1962-)

「その森の子供」より Fukushima #39

平成23年
発色現像方式印画、額装、ed. 3/3
93.3×80.0cm
購入
Ph-2945-003

ホンマタカシ(1962-)

「その森の子供」より Fukushima #45

平成23年
発色現像方式印画、額装、ed. 3/3
93.3×80.0cm
購入
Ph-2945-004

HOMMA, Takashi (1962-)

Fukushima #26 from *mushrooms from the forest*

2012
chromogenic print, framed, ed. 3/3
100.0×116.6cm

HOMMA, Takashi (1962-)

Fukushima #39 from *mushrooms from the forest*

2011
chromogenic print, framed, ed. 3/3
93.3×80.0cm

HOMMA, Takashi (1962-)

Fukushima #45 from *mushrooms from the forest*

2011
chromogenic print, framed, ed. 3/3
93.3×80.0cm

ホンマタカシ(1962-)

「その森の子供」より Scandinavia #5

平成24年
発色現像方式印画、額装、ed. 3/3
93.3×80.0cm
購入
Ph-2945-005

ホンマタカシ(1962-)

「その森の子供」より Scandinavia #10

平成27年
発色現像方式印画、額装、ed. 3/3
100.0×116.6cm
購入
Ph-2945-006

ホンマタカシ(1962-)

「その森の子供」より Scandinavia #12

平成23年
発色現像方式印画、額装、ed. 3/3
93.3×80.0cm
購入
Ph-2945-007

HOMMA, Takashi (1962-)

Scandinavia #5 from *mushrooms from the forest*

2012
chromogenic print, framed, ed. 3/3
93.3×80.0cm

HOMMA, Takashi (1962-)

Scandinavia #10 from *mushrooms from the forest*

2015
chromogenic print, framed, ed. 3/3
100.0×116.6cm

HOMMA, Takashi (1962-)

Scandinavia #12 from *mushrooms from the forest*

2011
chromogenic print, framed, ed. 3/3
93.3×80.0cm

<p>ホンマタカシ(1962-) 「その森の子供」より Chernobyl #3 平成29年 発色現像方式印画、額装、ed. 3/3 93.3×80.0cm 購入 Ph-2945-008</p>	<p>ホンマタカシ(1962-) 「その森の子供」より Chernobyl #12 平成29年 発色現像方式印画、額装、ed. 3/3 93.3×80.0cm 購入 Ph-2945-009</p>	<p>ホンマタカシ(1962-) 「その森の子供」より Chernobyl #22 平成29年 発色現像方式印画、額装、ed. 3/3 93.3×80.0cm 購入 Ph-2945-010</p>
<p>HOMMA, Takashi (1962-) Chernobyl #3 from <i>mushrooms from the forest</i> 2017 chromogenic print, framed, ed. 3/3 93.3×80.0cm</p>	<p>HOMMA, Takashi (1962-) Chernobyl #12 from <i>mushrooms from the forest</i> 2017 chromogenic print, framed, ed. 3/3 93.3×80.0cm</p>	<p>HOMMA, Takashi (1962-) Chernobyl #22 from <i>mushrooms from the forest</i> 2017 chromogenic print, framed, ed. 3/3 93.3×80.0cm</p>
<p>ホンマタカシ(1962-) 「その森の子供」より Stony Point #4 平成30年 発色現像方式印画、額装、ed. 3/3 93.3×80.0cm 購入 Ph-2945-011</p>	<p>ホンマタカシ(1962-) 「その森の子供」より Stony Point #14 平成30年 発色現像方式印画、額装、ed. 3/3 93.3×80.0cm 購入 Ph-2945-012</p>	<p>米田知子(1965-) 「Scene」より 畑—ソナムの戦いの最前線であった場所、フランス 平成14年 発色現像方式印画、額装、ed. 2/5 75.5×96.0cm 額裏面のラベルに署名 購入 Ph-2946</p>
<p>HOMMA, Takashi (1962-) Stony Point #4 from <i>mushrooms from the forest</i> 2018 chromogenic print, framed, ed. 3/3 93.3×80.0cm</p>	<p>HOMMA, Takashi (1962-) Stony Point #14 from <i>mushrooms from the forest</i> 2018 chromogenic print, framed, ed. 3/3 93.3×80.0cm</p>	<p>YONEDA, Tomoko (1965-) Field—Location of the front line in the Battle of Somme, France from <i>Scene</i> 2002 chromogenic print, framed, ed. 2/5 75.5×96.0cm</p>
<p>米田知子(1965-) 「Scene」より 丘—沖繩戦終焉の地、摩文仁、沖繩 平成14年 発色現像方式印画、額装、ed. 1/5 75.5×96.0cm 購入 Ph-2947</p>	<p>米田知子(1965-) 「Scene」より 道—サイパン島在留邦人玉砕があった崖に続く道 平成15年 発色現像方式印画、額装、ed. 4/5 75.5×96.0cm 裏打ちしたボード裏面のラベルに署名 購入 Ph-2948</p>	<p>米田知子(1965-) 「Scene」より 地雷原—地雷が埋められたサッカー場、サラエボ 平成16年 発色現像方式印画、額装、ed. 4/5 75.5×96.0cm 裏打ちしたボード裏面のラベルに署名 購入 Ph-2949</p>
<p>YONEDA, Tomoko (1965-) Hill - Site of mass suicides by Japanese after the American invasion in WWII, Okinawa, Japan from <i>Scene</i> 2002 chromogenic print, framed, ed. 1/5 75.5×96.0cm</p>	<p>YONEDA, Tomoko (1965-) Path - Path to the cliff where Japanese committed suicide after the American landings, Saipan from <i>Scene</i> 2003 chromogenic print, framed, ed. 4/5 75.5×96.0cm</p>	<p>YONEDA, Tomoko (1965-) Minefield - View of mined football pitch, Sarajevo from <i>Scene</i> 2004 chromogenic print, framed, ed. 4/5 75.5×96.0cm</p>
<p>米田知子(1965-) 「Scene」より 国境—ヒズボラ拠点村より望むイスラエル、レバノン南部・イスラエル国境地帯 平成16年 発色現像方式印画、額装、ed. 1/5 75.5×96.0cm 額裏面のラベルに署名 購入 Ph-2950</p>	<p>米田知子(1965-) 「Scene」より 線路—満州事変勃発となる関東軍が爆破を仕掛けた線路を臨む、瀋陽 平成19年 発色現像方式印画、額装、ed. 2/5 75.5×96.0cm 額裏面のラベルに署名 購入 Ph-2951</p>	<p>米田知子(1965-) 「Scene」より 70年目の8月6日、広島 平成27年 発色現像方式印画、額装、ed. 2/5 75.5×96.0cm 額裏面のラベルに署名 購入 Ph-2952</p>
<p>YONEDA, Tomoko (1965-) Border - View of Israel from Hezbollah controlled village, Bourg al Moulouk, Lebanon from <i>Scene</i> 2004 chromogenic print, framed, ed. 1/5 75.5×96.0cm</p>	<p>YONEDA, Tomoko (1965-) Railway Track - Overlooking the location of where the Japanese Army fabricated a bombing to create a reason to invade Manchuria, Shenyang, China from <i>Scene</i> 2007 chromogenic print, framed, ed. 2/5 75.5×96.0cm</p>	<p>YONEDA, Tomoko (1965-) The 70th 6 August, Hiroshima from <i>Scene</i> 2015 chromogenic print, framed, ed. 2/5 75.5×96.0cm</p>

渡辺兼人(1947-)

「既視の街」より [1]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.5×25.5cm
裏面に署名、題名、年記
(有)MESTALLA寄贈
Ph-2953

渡辺兼人(1947-)

「既視の街」より [2]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.3×25.3cm
裏面に署名、題名、年記
(有)MESTALLA寄贈
Ph-2954

渡辺兼人(1947-)

「既視の街」より [3]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.2×25.3cm
裏面に署名、題名、年記
(有)MESTALLA寄贈
Ph-2955

WATANABE, Kanendo (1947-)

From *Streets Already Seen* [1]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.5×25.5cm

WATANABE, Kanendo (1947-)

From *Streets Already Seen* [2]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.3×25.3cm

WATANABE, Kanendo (1947-)

From *Streets Already Seen* [3]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.2×25.3cm

渡辺兼人(1947-)

「既視の街」より [4]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.2×25.3cm
裏面に署名、題名、年記
(有)MESTALLA寄贈
Ph-2956

渡辺兼人(1947-)

「既視の街」より [5]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.5×25.5cm
裏面に署名、題名、年記
(有)MESTALLA寄贈
Ph-2957

渡辺兼人(1947-)

「既視の街」より [6]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.2×25.3cm
裏面に署名、題名、年記
(有)MESTALLA寄贈
Ph-2958

WATANABE, Kanendo (1947-)

From *Streets Already Seen* [4]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.2×25.3cm

WATANABE, Kanendo (1947-)

From *Streets Already Seen* [5]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.5×25.5cm

WATANABE, Kanendo (1947-)

From *Streets Already Seen* [6]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.2×25.3cm

渡辺兼人(1947-)

「既視の街」より [7]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.2×25.3cm
裏面に署名、年記、題名
購入
Ph-2980

渡辺兼人(1947-)

「既視の街」より [8]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.4×25.3cm
裏面に署名、年記、題名
購入
Ph-2981

渡辺兼人(1947-)

「既視の街」より [9]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.2×25.3cm
裏面に署名、年記、題名
購入
Ph-2982

WATANABE, Kanendo (1947-)

From *Streets Already Seen* [7]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.2×25.3cm

WATANABE, Kanendo (1947-)

From *Streets Already Seen* [8]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.4×25.3cm

WATANABE, Kanendo (1947-)

From *Streets Already Seen* [9]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.2×25.3cm

渡辺兼人(1947-)

「既視の街」より [10]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.2×25.3cm
裏面に署名、年記、題名
購入
Ph-2983

渡辺兼人(1947-)

「既視の街」より [11]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.2×25.3cm
裏面に署名、年記、題名
購入
Ph-2984

渡辺兼人(1947-)

「既視の街」より [12]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.2×25.3cm
裏面に署名、年記、題名
購入
Ph-2985

WATANABE, Kanendo (1947-)

From *Streets Already Seen* [10]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.2×25.3cm

WATANABE, Kanendo (1947-)

From *Streets Already Seen* [11]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.2×25.3cm

WATANABE, Kanendo (1947-)

From *Streets Already Seen* [12]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.2×25.3cm

渡辺兼人(1947-)
「既視の街」より [13]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.2×25.3cm
裏面に署名、年記、題名
購入
Ph-2986

WATANABE, Kanendo (1947-)
From *Streets Already Seen* [13]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.2×25.3cm

渡辺兼人(1947-)
「既視の街」より [14]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.2×25.3cm
裏面に署名、年記、題名
購入
Ph-2987

WATANABE, Kanendo (1947-)
From *Streets Already Seen* [14]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.2×25.3cm

渡辺兼人(1947-)
「既視の街」より [15]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.2×25.3cm
裏面に署名、年記、題名
購入
Ph-2988

WATANABE, Kanendo (1947-)
From *Streets Already Seen* [15]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.2×25.3cm

渡辺兼人(1947-)
「既視の街」より [16]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.2×25.3cm
裏面に署名、年記、題名
購入
Ph-2989

WATANABE, Kanendo (1947-)
From *Streets Already Seen* [16]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.2×25.3cm

渡辺兼人(1947-)
「既視の街」より [17]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.2×25.3cm
裏面に署名、年記、題名
購入
Ph-2990

WATANABE, Kanendo (1947-)
From *Streets Already Seen* [17]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.2×25.3cm

渡辺兼人(1947-)
「既視の街」より [18]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.2×25.3cm
裏面に署名、年記、題名
購入
Ph-2991

WATANABE, Kanendo (1947-)
From *Streets Already Seen* [18]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.2×25.3cm

渡辺兼人(1947-)
「既視の街」より [19]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.2×25.3cm
裏面に署名、年記、題名
購入
Ph-2992

WATANABE, Kanendo (1947-)
From *Streets Already Seen* [19]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.2×25.3cm

渡辺兼人(1947-)
「既視の街」より [20]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.2×25.3cm
裏面に署名、年記、題名
購入
Ph-2993

WATANABE, Kanendo (1947-)
From *Streets Already Seen* [20]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.2×25.3cm

渡辺兼人(1947-)
「既視の街」より [21]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.2×25.3cm
裏面に署名、年記、題名
購入
Ph-2994

WATANABE, Kanendo (1947-)
From *Streets Already Seen* [21]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.2×25.3cm

渡辺兼人(1947-)
「既視の街」より [22]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.2×25.3cm
裏面に署名、年記、題名
購入
Ph-2995

WATANABE, Kanendo (1947-)
From *Streets Already Seen* [22]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.2×25.3cm

渡辺兼人(1947-)
「既視の街」より [23]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.3×25.3cm
裏面に署名、年記、題名
購入
Ph-2996

WATANABE, Kanendo (1947-)
From *Streets Already Seen* [23]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.3×25.3cm

渡辺兼人(1947-)
「既視の街」より [24]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.5×25.4cm
裏面に署名、年記、題名
購入
Ph-2997

WATANABE, Kanendo (1947-)
From *Streets Already Seen* [24]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.5×25.4cm

渡辺兼人(1947-)
「既視の街」より [25]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.3×25.3cm
裏面に署名、年記、題名
購入
Ph-2998

WATANABE, Kanendo (1947-)
From *Streets Already Seen* [25]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.3×25.3cm

渡辺兼人(1947-)
「既視の街」より [26]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.3×25.3cm
裏面に署名、年記、題名
購入
Ph-2999

WATANABE, Kanendo (1947-)
From *Streets Already Seen* [26]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.3×25.3cm

渡辺兼人(1947-)
「既視の街」より [27]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.3×25.3cm
裏面に署名、年記、題名
購入
Ph-3000

WATANABE, Kanendo (1947-)
From *Streets Already Seen* [27]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.3×25.3cm

渡辺兼人(1947-)
「既視の街」より [28]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.3×25.3cm
裏面に署名、年記、題名
購入
Ph-3001

WATANABE, Kanendo (1947-)
From *Streets Already Seen* [28]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.3×25.3cm

渡辺兼人(1947-)
「既視の街」より [29]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.5×25.3cm
裏面に署名、年記、題名
購入
Ph-3002

WATANABE, Kanendo (1947-)
From *Streets Already Seen* [29]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.5×25.3cm

渡辺兼人(1947-)
「既視の街」より [30]

昭和55年
ゼラチン・シルバー・プリント
25.2×25.3cm
裏面に署名、年記、題名
購入
Ph-3003

WATANABE, Kanendo (1947-)
From *Streets Already Seen* [30]
1980 (printed 2006)
gelatin silver print
25.2×25.3cm

美術資料

Supplementary Material

日比野克彦(1958-)
BISC GALLERY

昭和60年
金属缶 2点
各 7.0×13.0×9.0cm
株式会社ヒビノスペシャル寄贈
M-705

HIBINO, Katsuhiko (1958-)
BISC GALLERY
1985
2 metal boxes
each 7.0×13.0×9.0cm

日比野克彦(1958-)
THE SHOES. VERY PARCO.

昭和59年
オフセット
103.0×72.8cm
購入
M-706

HIBINO, Katsuhiko (1958-)
THE SHOES. VERY PARCO.
1984
offset
103.0×72.8cm

日比野克彦(1958-)
LABYRINTH

昭和64/平成元年
ビデオ カラー サウンド 30秒
購入
M-707

HIBINO, Katsuhiko (1958-)
LABYRINTH
1989
video, color, sound 30"

横尾忠則(1936-)
青森県のせむし男(天井桟敷)

昭和42年
シルクスクリーン
104.0×73.7cm
作者寄贈
M-708

YOKOO, Tadanori (1936-)
The Hunchback of Aomori Prefecture
(Tenjo Sajiki)
1967
silkscreen
104.0×73.7cm

44組のアーティスト
或る10年間の終わりにおける所産

昭和56年
ミクストメディア、ed. 5/100 (+AP50) ポート
フォリオ(44枚)
38.5×46.0×11.0cm
スティーヴン・ワトソン氏寄贈
M-704

44 Various Artists
Artifacts at the End of a Decade
1981
portfolio of forty-four mixed medium prints, ed.
5/100 (+AP50)
38.5×46.0×11.0cm

令和5年度における工芸作品の購入、受贈による新収蔵作品は次のとおり。

陶磁23点(購入13点、受贈10点)、漆工4点(購入4点)、竹工1点(購入1点)、染織13点(購入1点、受贈12点)、人形2点(購入2点)、金工17点(購入1点、受贈16点)、その他の工芸3点(購入3点)、工芸・デザイン資料2点(購入1点、受贈1点)、グラフィック・デザイン20点(分類変更20点)である。

New additions to the museum collection as a result of purchase and donation of crafts during fiscal 2023 were as follows: 23 ceramic works (13 purchases and 10 gifts); 4 lacquerware (purchases); 1 bamboo work (purchase); 13 textiles (1 purchase and 12 gifts); 2 dolls (2 purchases); 17 metal works (1 purchase and 16 gifts); 3 other works (3 purchases); 2 reference material (1 purchase and 1 gift); and 20 graphic design (20 reclassified).

<p style="text-align: center;">陶磁 Ceramics</p>	<p>板谷波山(1872-1963) 彩磁紫陽花模様花瓶 大正4年 磁器 h29.8 D35.9cm 農商務省第三回圖案及應用作品展覽會 (農商務省商品陳列館) 購入 Cr1192</p>	<p>井上雅之(1957-) T-917 平成3年 陶器 h79.0 w94.0 d61.5cm 個展(東京、ギャラリー一天竺) 購入 Cr1193</p>
	<p>ITAYA, Hazan (1872-1963) Vase, hydrangea design, underglaze colors 1915 porcelain h29.8 D35.9cm</p>	<p>INOUE, Masayuki (1957-) T-917 1991 stoneware h79.0 w94.0 d61.5cm</p>
<p>小川待子(1946-) Untitled 平成5年 陶土、磁土 h40.5 w43.0 d36.0cm 個展(東京、ギャラリー上田) 購入 Cr1194</p>	<p>隠崎隆一(1950-) 白泥混淆水指 令和元年 陶器 h20.0 w22.3 d17.5cm 個展「Una Mistura 白粧-Hakusho-」(東京、中長小西) 購入 Cr1195</p>	<p>金重陶陽(1896-1967) 備前長方台鉢 昭和26年 陶器 h13.5 w58.0 d26.0cm 購入 Cr1196</p>
<p>OGAWA, Machiko (1946-) Untitled 1993 stoneware, porcelain h40.5 w43.0 d36.0cm</p>	<p>KAKUREZAKI, Ryuichi (1950-) Water container, mixed clay, <i>hakudei</i> type 2019 stoneware h20.0 w22.3 d17.5cm</p>	<p>KANESHIGE, Toyo (1896-1967) Oblong plate with stand, <i>Bizen</i> ware 1951 stoneware h13.5 w58.0 d26.0cm</p>

加守田章二(1933-1983)

壺

昭和49年
陶器
h44.2 w17.0 d14.2cm
購入
Cr1197

KAMODA, Shoji (1933-1983)

Jar

1974
stoneware
h44.2 w17.0 d14.2cm

桑田卓郎(1981-)

白金彩梅華皮志野茶坑

令和2年
磁土、釉薬、顔料、白金
h13.5 w18.0 d17.0cm
桑田卓郎・三島喜美代展(2021年度日本陶磁協
会賞・金賞受賞記念)(東京、壺中居)
購入
Cr1198

KUWATA, Takuro (1981-)

Teabowl, sharkskin texture, underglaze
platinum, *shino* type
2020
porcelain, glaze, pigment, platinum
h13.5 w18.0 d17.0cm

澤谷由子(1989-)

露絲紡

令和4年
磁土、イッチン、銀彩
h7.0 D31.3cm
第16回パラミタ陶芸大賞展(三重、パラミタ
ミュージアム)
購入
Cr1199

SAWAYA, Yuko (1989-)

Tsuyu ito tsumugi (lit. dew yarn spinning)
2022
porcelain, *icchin* painting, silver
h7.0 D31.3cm

鈴木藏(1934-)

志埜大皿

平成3年
陶器
h12.2 w55.3 d34.8cm
個展「炎舞する蔵志野・ノートII 鈴木藏展」(名
古屋、松坂屋)
購入
Cr1200

SUZUKI, Osamu (1934-)

Large plate, *shino* type
1991
stoneware
h12.2 w55.3 d34.8cm

新里明士(1977-)

光器

令和4年
磁器
h24.5 w39.5 d37.5cm
「ジャンルレス工芸展」(国立工芸館)
購入
Cr1201

NIISATO, Akio (1977-)

Bowl, a luminescent vessel
2022
porcelain
h24.5 w39.5 d37.5cm

深見陶冶(1947-)

孤

平成30年
磁器
h177.5 w48.0 d44.0cm
購入
Cr1202

FUKAMI, Sueharu (1947-)

Solitude
2018
porcelain
h177.5 w48.0 d44.0cm

樂直入(十五代吉左衛門)(1949-)

焼貫花入

昭和59年
陶器
h19.5 w13.5 d13.4cm
高島屋美術部創設80周年記念 樂吉左衛門展(東
京、日本橋高島屋)
購入
Cr1203

RAKU, Jikinyu (Kichizaemon XV) (1949-)

Vase, *yakinuki* type
1984
raku ware
h19.5 w13.5 d13.4cm

ヴォークコス、ピーター(1924-2002)

PLATTER

昭和34年
陶器
h8.4 w45.3 d45.7cm
購入
Cr1204

VOULKOS, Peter H. (1924-2002)

PLATTER

1959
stoneware
h8.4 w45.3 d45.7cm

加藤清之(1931-)

WORK 72-X

昭和47年
陶器
h48.5 w38.2 d24.0cm
個展(東京、日本橋高島屋)
小西哲哉氏寄贈
Cr1205

KATO, Kiyoyuki (1931-)

WORK 72-X
1972
stoneware
h48.5 w38.2 d24.0cm

楠部彌弌(1897-1984)

染付竹林文菱形水指

昭和34年
磁器
h20.0 w21.4 d18.2cm
個展(東京、日本橋三越本店)
兒玉武男氏、兒玉美樵氏寄贈
Cr1206

KUSUBE, Yaichi (1897-1984)

Water container, bamboo grove design,
underglaze blue
1959
porcelain
h20.0 w21.4 d18.2cm

鈴木藏(1934-)

志野茶碗

平成25年
陶器
h10.6 w14.2 d14.7cm
個展「四時友遊：人間国宝鈴木藏展」(東京、日本
橋三越本店)
寄贈
Cr1207

SUZUKI, Osamu (1934-)

Teabowl, *shino* type
2013
stoneware
h10.6 w14.2 d14.7cm

富本憲吉(1886-1963)

鉄描銅彩大和風景模様大飾皿

昭和4年
陶器
h7.8 w45.3 d45.8cm
個展「新設記念展 富本憲吉展」(東京、ギャラ
リーこちゅうきよ)
小西哲哉氏寄贈
Cr1208

TOMIMOTO, Kenkichi (1886-1963)

Ornamental platter, *Yamato* landscape,
underglaze iron pigment, copper glaze
1929
stoneware
h7.8 w45.3 d45.8cm

林康夫(1928-)

無題

昭和33年頃
陶器
h20.0 w23.0 d21.0cm
寄贈
Cr1209

HAYASHI, Yasuo (1928-)

Untitled

c. 1958
stoneware
h20.0 w23.0 d21.0cm

林康夫(1928-)

WORK 77-B

昭和52年
陶器
h26.0 w25.5 d16.4cm
第40回走泥社展(京都市美術館)
寄贈
Cr1210

HAYASHI, Yasuo (1928-)

WORK 77-B

1977
stoneware
h26.0 w25.5 d16.4cm

林康夫(1928-)

無題

昭和64年
陶器
h41.0 w33.5 d32.0cm
個展(チューリッヒ、マヤ・ベン・ガレリー)
寄贈
Cr1211

HAYASHI, Yasuo (1928-)

Untitled

1989
stoneware
h41.0 w33.5 d32.0cm

林康夫(1928-)

Entrance 93-2

平成4年
陶器
h25.5 w30.0 d32.0cm
第9回京都在住現代陶芸家展(大丸ミュージアム
KYOTO)
寄贈
Cr1212

HAYASHI, Yasuo (1928-)

Entrance 93-2

1992
stoneware
h25.5 w30.0 d32.0cm

林康夫(1928-)

寓舎「隙間」

平成23年
陶器
h30.8 w20.8 d18.3cm
「group83」(大阪、番画廊)
寄贈
Cr1213

HAYASHI, Yasuo (1928-)

Temporary abode, Gap

2011
stoneware
h30.8 w20.8 d18.3cm

林康夫(1928-)

寓舎「記 8.15」

平成27年
陶器
h15.8 w18.5 d12.0cm
個展(大阪、ギャラリー猫亀屋)
寄贈
Cr1214

HAYASHI, Yasuo (1928-)

Temporary abode, Record on August 15

2015
stoneware
h15.8 w18.5 d12.0cm

漆工

Lacquerware

池田晃将(1987-)

Error403

令和2年
漆、木曾檜、螺鈿、蒔絵
h19.3 w19.1 d19.3cm
「和巧絶佳展：令和時代の超工芸」(パナソニック
汐留美術館)
購入
Lc0388

IKEDA, Terumasa (1987-)

Error403

2020
lacquer, abalone, raden inlay, maki-e
h19.3 w19.1 d19.3cm

奥出寿泉(1916-1973)

乾漆廿四辺菊形食籠

昭和36年
漆、乾漆
h10.0 D19.0cm
第8回日本伝統工芸展(東京、日本橋三越本店)
購入
Lc0389

OKUDE, Jusen (1916-1973)

A sweetmeat box in the chrysanthemum
shape, *kanshitsu*

1961
lacquer, *kanshitsu*
h10.0 D19.0cm

二十代堆朱楊成(1880-1952)

彫漆香盆 甜瓜

大正15年
漆、彫漆
h3.5 D24.6cm
購入
Lc0390

TSUISHU, Yozei XX (1880-1952)

Incense tray, Oriental Melon, *choshitsu*

1926
lacquer, *choshitsu*
h3.5 D24.6cm

六角紫水(1867-1950)

銀平文不動尊像軸盆

昭和18年
漆、蒔絵、平文
h2.5 w15.8 d36.6cm
購入
Lc0391

ROKKAKU, Shisui (1867-1950)

Scroll tray, an Acala figure, silver *hyomon*

1943
lacquer, *maki-e*, *hyomon*
h2.5 w15.8 d36.6cm

竹工
Bamboo Works

池田巖(1940-)

Untitled

平成28年
漆、竹、蒔絵
(赤)h57.7 w13.3 d11.1 ; (黒)h42.0 w14.7 d10.0cm
Ikeda Iwao: The Life of Bamboo, The Spirit of Urushi
(New York, Thomsen Gallery)
購入
Bm0053

IKEDA, Iwao (1940-)

Untitled

2016
lacquer, bamboo, *maki-e*
(Red)h57.7 w13.3 d11.1 ; (Black)h42.0 w14.7 d10.0cm

染織

Textiles

釜我敏子(1938-)

型絵染着物「秋草文」

平成24年
絹、型染
180.0×139.4cm
第59回日本伝統工芸展(東京、日本橋三越本店)
購入
Tx0514

KAMAGA, Toshiko (1938-)

Kimono, "autumn grass patterns", stencil dyeing
2012
silk, stencil dyeing
180.0×139.4cm

釜我敏子(1938-)

型絵染着物「菌朶文」

昭和53年
絹、型染
164.4×137.2cm
第15回日本染織展(東京、日本橋三越本店)
作者寄贈
Tx0515

KAMAGA, Toshiko (1938-)

Kimono, "fern patterns", stencil dyeing
1978
silk, stencil dyeing
164.4×137.2cm

釜我敏子(1938-)

型絵染着物「たんぼ」

昭和53年
絹、型染
170.8×139.4cm
第25回日本伝統工芸展(東京、日本橋三越本店)
作者寄贈
Tx0516

KAMAGA, Toshiko (1938-)

Kimono, "dandelion patterns", stencil dyeing
1978
silk, stencil dyeing
170.8×139.4cm

釜我敏子(1938-)

型絵染着物「ペンペン草」

昭和55年
絹、型染
178.5×137.8cm
第27回日本伝統工芸展(東京、日本橋三越本店)
作者寄贈
Tx0517

KAMAGA, Toshiko (1938-)

Kimono, "shepherd's-purse patterns", stencil dyeing
1980
silk, stencil dyeing
178.5×137.8cm

釜我敏子(1938-)

型絵染着物「藤袴と桔梗文」

平成元年
絹、型染
172.3×136.6cm
第36回日本伝統工芸展(東京、日本橋三越本店)
作者寄贈
Tx0518

KAMAGA, Toshiko (1938-)

Kimono, "boneset and bellflower patterns", stencil dyeing
1989
silk, stencil dyeing
172.3×136.6cm

釜我敏子(1938-)

型絵染着物「みおうやなぎ文」

平成3年
絹、型染
169.6×135.2cm
第38回日本伝統工芸展(東京、日本橋三越本店)
作者寄贈
Tx0519

KAMAGA, Toshiko (1938-)

Kimono, "*mioyanagi* patterns", stencil dyeing
1991
silk, stencil dyeing
169.6×135.2cm

釜我敏子(1938-)

型絵染着物「数珠玉文」

平成8年
絹、型染
173×136.6cm
第43回日本伝統工芸展(東京、日本橋三越本店)
作者寄贈
Tx0520

KAMAGA, Toshiko (1938-)

Kimono, "bead patterns", stencil dyeing
1996
silk, stencil dyeing
173.0×136.6cm

釜我敏子(1938-)

型絵染着物「水草文」

平成13年
絹、型染
171.6×140.0cm
第48回日本伝統工芸展(東京、日本橋三越本店)
作者寄贈
Tx0521

KAMAGA, Toshiko (1938-)

Kimono, "water-grass patterns", stencil dyeing
2001
silk, stencil dyeing
171.6×140.0cm

釜我敏子(1938-)
型絵染着物「沢芹文」

平成19年
絹、型染
170.5×139.4cm
第54回日本伝統工芸展(東京、日本橋三越本店)
作者寄贈
Tx0522

KAMAGA, Toshiko (1938-)
Kimono, "sawaseri patterns", stencil dyeing
2007
silk, stencil dyeing
170.5×139.4cm

釜我敏子(1938-)
型絵染着物「波路」

平成21年
絹、型染
173.0×140.0cm
第43回日本伝統工芸染織展(東京、日本橋三越本店)
作者寄贈
Tx0523

KAMAGA, Toshiko (1938-)
Kimono, "Across the Sea", stencil dyeing
2009
silk, stencil dyeing
173.0×140.0cm

釜我敏子(1938-)
型絵染着物「山滴る」

平成25年
絹、型染
173.0×139.4cm
第60回日本伝統工芸展(東京、日本橋三越本店)
作者寄贈
Tx0524

KAMAGA, Toshiko (1938-)
Kimono, "Mountain Dew", stencil dyeing
2013
silk, stencil dyeing
173.0×139.4cm

中川存(1935-)
城壁

昭和55年
木綿、染
145.0×146.5cm
第60回全日本工芸展(福岡、福岡県文化会館)
作者寄贈
Tx0525

NAKAGAWA, Tamotsu (1935-)
Castle Walls
1980
cotton, dyeing
145.0×146.5cm

中川存(1935-)
風紋

昭和57年
木綿、染
150.0×148.5cm
第16回現代美術家集団展(大阪市立美術館)
作者寄贈
Tx0526

NAKAGAWA, Tamotsu (1935-)
Ripple Marks
1982
cotton, dyeing
150.0×148.5cm

人形
Dolls

鹿兒島寿蔵(1898-1982)
あこめを着て

昭和30年
紙塑
h17.0 w12.0 d7.8cm
購入
DI0109

KAGOSHIMA, Juzo (1898-1982)
Wearing an *Akome* Kimono (a lined gown)
1955
paper clay, modeling
h17.0 w12.0 d7.8cm

四谷シモン(1944-)
機械仕掛の少女 2

平成28年
紙、木、ガラス、毛、金属
h107.0 w63.0 d14.2cm
個展(東京、青木画廊)
購入
DI0110

YOTSUYA, Simon (1944-)
Mechanical Girl 2
2016
paper, wood, glass, hair, metal
h107.0 w63.0 d14.2cm

金工
Metal Works

海野勝珉(1844-1915)
花鳥図花瓶

明治・大正時代
片切彫、高肉象嵌、平象嵌、金、銀、四分一、赤銅
各h35.4 D16.0cm
購入
Mr0470

UNNO, Shomin (1844-1915)
Vases, flower and bird design
Meiji period/Taisho period
cutting with a single-edged blade, high-relief inlay, flat inlay, gold, silver, *shibuichi* alloy, *shakudo* alloy
each h35.4 D16.0cm

銅器会社(1877-1894)
四君子象嵌御菊紋入耳付銅花瓶

明治時代
金、銀、四分一、赤銅、象嵌
各h38.0 w19.5 d18.5cm
村田理如氏寄贈
Mr0471

Doki Kaisha (1877-1894)
Vases with ears, *Shikunshi* design and *kiku-mon* (crest of Chrysanthemum), inlay on copper
Meiji period
gold, silver, *shibuichi* alloy, *shakudo* alloy, inlay
each h38.0 w19.5 d18.5cm

山田禮子(1933-2023)

チョーカー

昭和40年
シルバー、金銷、トルマリン
h27.0 w14.3 d2.0cm
「URジュエリー展：古墳」(東京、和光)
作者寄贈
Mt0472

YAMADA, Reiko (1933-2023)

Choker

1965
silver, gold plating, tourmaline
h27.0 w14.3 d2.0cm

山田禮子(1933-2023)

チョーカー

昭和40年
シルバー、金銷、ネフライト
h18.5 w21.5 d1.3cm
作者寄贈
Mt0473

YAMADA, Reiko (1933-2023)

Choker

1965
silver, gold plating, nephrite
h18.5 w21.5 d1.3cm

山田禮子(1933-2023)

ブローチ

昭和45年
シルバー、金銷
h4.5 w10.5 d3.0cm
作者寄贈
Mt0474

YAMADA, Reiko (1933-2023)

Brooch

1970
silver, gold plating
h4.5 w10.5 d3.0cm

山田禮子(1933-2023)

ブローチ／ペンダントヘッド

昭和45年
シルバー、金銷
h3.5 w7.0 d7.0cm
作者寄贈
Mt0475

YAMADA, Reiko (1933-2023)

Brooch/pendant drop

1970
silver, gold plating
h3.5 w7.0 d7.0cm

山田禮子(1933-2023)

ブローチ／ペンダントヘッド

昭和50年
シルバー、金銷、貝
h3.9 w7.0 d0.8cm
作者寄贈
Mt0476

YAMADA, Reiko (1933-2023)

Brooch/pendant drop

1975
silver, gold plating, shell
h3.9 w7.0 d0.8cm

山田禮子(1933-2023)

ブローチ

昭和51年
シルバー、金銷、茶水晶、インペリアルトパーズ
h6.9 w8.3 d2.5cm
作者寄贈
Mt0477

YAMADA, Reiko (1933-2023)

Brooch

1976
silver, gold plating, smoky quartz, imperial topaz
h6.9 w8.3 d2.5cm

山田禮子(1933-2023)

櫛／ペンダントヘッド

昭和51年
シルバー、金銷、ルビー、サファイア
h7.0 w5.5 d1.1cm
作者寄贈
Mt0478

YAMADA, Reiko (1933-2023)

Comb/pendant drop

1976
silver, gold plating, ruby, sapphire
h7.0 w5.5 d1.1cm

山田禮子(1933-2023)

ブローチ

昭和54年
K18、シルバー、ラピスラズリ
h5.3 w7.0 d1.6cm
作者寄贈
Mt0479

YAMADA, Reiko (1933-2023)

Brooch

1979
18-carat gold, silver, lapis lazuli
h5.3 w7.0 d1.6cm

山田禮子(1933-2023)

ブローチ

昭和54年
K18、シルバー、ラピスラズリ
h4.3 w5.3 d1.2cm
作者寄贈
Mt0480

YAMADA, Reiko (1933-2023)

Brooch

1979
18-carat gold, silver, lapis lazuli
h4.3 w5.3 d1.2cm

山田禮子(1933-2023)

ブローチ／ペンダントヘッド

平成3年
シルバー、ラピスラズリ
h9.5 w9.0 d2.6cm
作者寄贈
Mt0481

YAMADA, Reiko (1933-2023)

Brooch/pendant drop

1991
silver, lapis lazuli
h9.5 w9.0 d2.6cm

山田禮子(1933-2023)

チョーカー

平成3年
シルバー、ラピスラズリ
h12.0 w9.0 d2.6cm
作者寄贈
Mt0482

YAMADA, Reiko (1933-2023)

Choker

1991
silver, lapis lazuli
h12.0 w9.0 d2.6cm

山田禮子(1933-2023)

櫛

平成3年
シルバー、金銷、岩滓
h4.4 w6.1 d1.8cm
作者寄贈
Mt0483

YAMADA, Reiko (1933-2023)

Comb

1991
silver, gold plating, scoria
h4.4 w6.1 d1.8cm

山田禮子(1933-2023)
香水入れ／ペンダント

平成4年
シルバー、金銷、ラピスラズリ
h7.5 w3.9 d1.5cm
作者寄贈
Mt0484

YAMADA, Reiko (1933-2023)
Scent Bottle/pendant
1992
silver, gold plating, lapis lazuli
h7.5 w3.9 d1.5cm

山田禮子(1933-2023)
ブローチ／ペンダントヘッド

平成6年
シルバー、岩淙
h10.0 w6.2 d1.5cm
作者寄贈
Mt0485

YAMADA, Reiko (1933-2023)
Brooch/pendant drop
1994
silver, scoria
h10.0 w6.2 d1.5cm

山田禮子(1933-2023)
ブローチ／ペンダントヘッド

平成15年
シルバー、金銷、翡翠
h5.7 w6.2 d1.0cm
作者寄贈
Mt0486

YAMADA, Reiko (1933-2023)
Brooch/pendant drop
2003
silver, gold plating, jade
h5.7 w6.2 d1.0cm

その他の工芸
Other Works

館鼻則孝(1985-)
Heel-less Shoes

平成30年
牛革、染料、金属ファスナー
各h34.8 w9.3 d21.5cm
「Beyond the Vanishing Point」(東京、KOSAKU
KANECHIKA)
購入
Or0099

TATEHANA, Noritaka (1985-)
Heel-less Shoes
2018
cowhide, dye, metal fastener
each h34.8 w9.3 d21.5cm

館鼻則孝(1985-)
Heel-less Shoes

令和15年
牛革、染料、金属ファスナー
各h33.5 w9.8 d19.0cm
購入
Or0100

TATEHANA, Noritaka (1985-)
Heel-less Shoes
2023
cowhide, dye, metal fastener
each h33.5 w9.8 d19.0cm

五代名倉鳳山(1953-)
書画方硯 洗月

平成27年
石(雄勝波板石)
h4.8 w18.5 d26.5cm
第62回日本伝統工芸展(東京、日本橋三越本店)
購入
Or0101

NAGURA, Hozan V (1953-)
Square inkstone, "Washing the Moon"
2015
Ogatsu-Namiita stone
h4.8 w18.5 d26.5cm

工芸・デザイン資料
Reference Materials

松田権六(1896-1986)
色絵金彩鶴文飾皿

昭和145-54年
磁器
h7.0 D40.0cm
購入
Rf0112

MATSUDA, Gonroku (1896-1986)
Ornamental plate, a crane motif, overglaze
enamels and gold
1970s
porcelain
h7.0 D40.0cm

松田権六(1896-1986)
書簡(奥出寿泉宛)

昭和137-47年
紙、ペン、鉛筆等
寄贈
葉書(20枚)：9.0～10.0×13.8～15.0cm
便箋(26枚)：17.7～18.0×22.8～25.0cm
Rf0113

MATSUDA, Gonroku (1896-1986)
Letters to Okude Jusen
1962-72
paper, pen, pencil
20 postcards, 9.0-10.0 cm × 13.8-15.0 cm
26 pieces of writing paper, 17.7-18.0 cm × 22.8-25.0 cm

グラフィック・
デザイン
Graphic Design

粟津潔(1929-2009)

第4回東京国際版画ビエンナーレ展

昭和39年
オフセット
103.0×72.8cm
第4回東京国際版画ビエンナーレ展(国立近代美術館)
分類変更
Gd0822

粟津潔(1929-2009)

第4回東京国際版画ビエンナーレ展(英語版)

昭和39年
オフセット
103.0×72.8cm
第4回東京国際版画ビエンナーレ展(国立近代美術館)
分類変更
Gd0823

AWAZU, Kiyoshi (1929-2009)

The 4th international biennial exhibition of prints in Tokyo

1964
offset
103.0×72.8cm

AWAZU, Kiyoshi (1929-2009)

The 4th international biennial exhibition of prints in Tokyo, English version

1964
offset
103.0×72.8cm

石岡瑛子(1938-2012)

第10回東京国際版画ビエンナーレ展

昭和51年
オフセット
103.0×72.8cm
第10回東京国際版画ビエンナーレ展(東京国立近代美術館)
分類変更
Gd0824

勝井三雄(1931-2019)

第11回東京国際版画ビエンナーレ展

昭和54年
オフセット
103.0×72.8cm
第11回東京国際版画ビエンナーレ展(東京国立近代美術館)
分類変更
Gd0825

杉浦康平(1932-)

第8回東京国際版画ビエンナーレ展(銀)

昭和47年
オフセット
94.0×68.0cm
第8回東京国際版画ビエンナーレ展(東京国立近代美術館)
分類変更
Gd0826

ISHIOKA, Eiko (1938-2012)

The 10th international biennial exhibition of prints in Tokyo

1976
offset
103.0×72.8cm

KATSUI, Mitsuo (1931-2019)

The 11th international biennial exhibition of prints in Tokyo

1979
offset
103.0×72.8cm

SUGIURA, Kohei (1932-)

The 8th international biennial exhibition of prints in Tokyo, silver version

1972
offset
94.0×68.0cm

杉浦康平(1932-)

第8回東京国際版画ビエンナーレ展(白)

昭和47年
オフセット
94.0×68.0cm
第8回東京国際版画ビエンナーレ展(東京国立近代美術館)
分類変更
Gd0827

田中一光(1930-2002)

第3回東京国際版画ビエンナーレ展

昭和37年
オフセット
103.0×72.8cm
第3回東京国際版画ビエンナーレ展(国立近代美術館)
分類変更
Gd0828

田中一光(1930-2002)

第3回東京国際版画ビエンナーレ展(英語版)

昭和37年
オフセット
103.0×72.8cm
第3回東京国際版画ビエンナーレ展(国立近代美術館)
分類変更
Gd0829

SUGIURA, Kohei (1932-)

The 8th international biennial exhibition of prints in Tokyo, white version

1972
offset
94.0×68.0cm

TANAKA, Ikko (1930-2002)

The 3rd international biennial exhibition of prints in Tokyo

1962
offset
103.0×72.8cm

TANAKA, Ikko (1930-2002)

The 3rd international biennial exhibition of prints in Tokyo, English version

1962
offset
103.0×72.8cm

田中一光(1930-2002)

第3回東京国際版画ビエンナーレ展

昭和37年
オフセット
36.4×51.5cm
第3回東京国際版画ビエンナーレ展(国立近代美術館)
分類変更
Gd0830

永井一正(1929-)

第7回東京国際版画ビエンナーレ展

昭和45年
オフセット
103.0×72.8cm
第7回東京国際版画ビエンナーレ展(東京国立近代美術館)
分類変更
Gd0831

早川良雄(1917-2009)

第5回東京国際版画ビエンナーレ展

昭和41年
オフセット
103.0×72.8cm
第5回東京国際版画ビエンナーレ展(国立近代美術館)
分類変更
Gd0832

TANAKA, Ikko (1930-2002)

The 3rd international biennial exhibition of prints in Tokyo

1962
offset
36.4×51.5cm

NAGAI, Kazumasa (1929-)

The 7th international biennial exhibition of prints in Tokyo

1970
offset
103.0×72.8cm

HAYAKAWA, Yoshio (1917-2009)

The 5th international biennial exhibition of prints in Tokyo

1966
offset
103.0×72.8cm

早川良雄(1917-2009)

第5回東京国際版画ビエンナーレ展(英語版)

昭和41年
オフセット

103.0×72.8cm

第5回東京国際版画ビエンナーレ展(国立近代美術館)

分類変更
Gd0833

HAYAKAWA, Yoshio (1917-2009)

The 5th international biennial exhibition of prints in Tokyo, English version

1966

offset

103.0×72.8cm

原弘(1903-1986)

第1回東京国際版画ビエンナーレ展(英語版・北斎)

昭和32年
オフセット

103.0×72.8cm

第1回東京国際版画ビエンナーレ展(読売会館)

分類変更
Gd0834

HARA, Hiromu (1903-1986)

The 1st international biennial exhibition of prints in Tokyo featuring Katsushika Hokusai, English version

1957

offset

103.0×72.8cm

原弘(1903-1986)

第1回東京国際版画ビエンナーレ展(フランス語版・北斎)

昭和32年
オフセット

103.0×72.8cm

第1回東京国際版画ビエンナーレ展(読売会館)

分類変更
Gd0835

HARA, Hiromu (1903-1986)

The 1st international biennial exhibition of prints in Tokyo featuring Katsushika Hokusai, French version

1957

offset

103.0×72.8cm

原弘(1903-1986)

第1回東京国際版画ビエンナーレ展(英語版・棟方)

昭和32年
オフセット

103.0×72.8cm

第1回東京国際版画ビエンナーレ展(読売会館)

分類変更
Gd0836

HARA, Hiromu (1903-1986)

The 1st international biennial exhibition of prints in Tokyo featuring Munakata Shiko, English version

1957

offset

103.0×72.8cm

福田繁雄(1932-2009)

第9回東京国際版画ビエンナーレ展

昭和49年
オフセット

103.0×72.8cm

第9回東京国際版画ビエンナーレ展(東京国立近代美術館)

分類変更
Gd0837

FUKUDA, Shigeo (1932-2009)

The 9th international biennial exhibition of prints in Tokyo

1974

offset

103.0×72.8cm

山城隆一(1920-1997)

第2回東京国際版画ビエンナーレ展

昭和35年
オフセット

103.0×72.8cm

第2回東京国際版画ビエンナーレ展(国立近代美術館)

分類変更
Gd0838

YAMASHIRO, Ryuichi (1920-1997)

The 2nd international biennial exhibition of prints in Tokyo

1960

offset

103.0×72.8cm

山城隆一(1920-1997)

第2回東京国際版画ビエンナーレ展(英語版)

昭和35年
オフセット

103.0×72.8cm

第2回東京国際版画ビエンナーレ展(国立近代美術館)

分類変更
Gd0839

山城隆一(1920-1997)

第2回東京国際版画ビエンナーレ展

昭和35年
オフセット

36.4×51.5cm

第2回東京国際版画ビエンナーレ展(国立近代美術館)

分類変更
Gd0840

横尾忠則(1936-)

第6回東京国際版画ビエンナーレ展

昭和43年
オフセット

108.0×76.6cm

第6回東京国際版画ビエンナーレ展(東京国立近代美術館)

分類変更
Gd0841

YAMASHIRO, Ryuichi (1920-1997)

The 2nd international biennial exhibition of prints in Tokyo, English version

1960

offset

103.0×72.8cm

YAMASHIRO, Ryuichi (1920-1997)

The 2nd international biennial exhibition of prints in Tokyo

1960

offset

36.4×51.5cm

YOKOO, Tadanori (1936-)

The 6th international biennial exhibition of prints in Tokyo

1968

offset

108.0×76.6cm

令和5年度に修理した美術作品は次のとおり。

絵画14点、版画6点、水彩4点、素描3点、彫刻(立体造形)4点、映像53点、美術資料2点

◆油彩、その他

O-354 有岡一郎《玉葱をむく女》

表裏クリーニング、剥落止め、旧ワニスの除去と再塗布、支持体変形修正、木枠新調、張り代補強、キャンバスの張り直し、欠損部の充填・補彩、額の調整・補修

O-366 佐分真《画室》

表裏クリーニング、旧ワニスの除去と再塗布、支持体変形修正、木枠新調、張り代補強、破れ補修、補彩、額新調

O-376 児島善三郎《無衣の女》

表裏クリーニング、旧補彩の除去、剥落止め、旧ワニスの除去と再塗布、支持体変形修正、新規裏打ち、キャンバスの張り直し、欠損部の充填・補彩、科学調査、額調整

O-584 猪熊弦一郎《Confusion and Order》

表裏クリーニング、旧ワニスの除去と再塗布、支持体変形修正、木枠新調、張り代補強、キャンバスの張り直し、補彩

O-639 大久保作次郎《三月の日》

表裏クリーニング、剥落止め、支持体変形修正、修復跡の変色補正

O-640 大久保作次郎《カーニュ・シュール・メール》

表裏クリーニング、剥落止め、旧ワニスの除去と再塗布、支持体変形修正、木枠新調、張り代補強、キャンバスの張り直し、補彩、額の調整・補修

O-777 吉加江京司(清)《葉(葉脈の構成)》

表裏クリーニング、剥落止め、旧ワニスの除去と再塗布、支持体変形修正、欠損部の充填・補彩

O-914 ナターリア・ゴンチャローヴァ《スペイン女》

額改修、裏板新調

O-929 ジョセフ・アルバース《正方形讃歌：持たれた》

表裏クリーニング、額調整

O-936 パウル・クレー《花のテラス》

表裏クリーニング、旧ワニスの除去と再塗布、額新調(低反射アクリル入り)

O-1133 鬚光《蝶》

表面クリーニング、旧ワニスの除去と再塗布、額改修(低反射アクリル入り)

O-1144 ルーチョ・フォンターナ《空間概念 期待》

額改修、裏板新調

O-1252 松本竣介《N駅近く》

表裏クリーニング、修復跡の除去、剥落止め、旧ワニスの除去と再塗布、欠損部の充填・補彩、裏板新調

O-1305 木下晋《座像》

表裏クリーニング、旧ワニスの除去と再塗布

◆版画

P-1933 藤牧義夫《達磨》

ヒンジ除去、インレイ除去、加湿、洗浄、フラットニング

P-1934 藤牧義夫《鐵》

ヒンジ除去、インレイ除去、にじみ止め、台紙片除去、旧補修除去、加湿、洗浄、フラットニング、破れの補修

P-2039 風間サチコ《セメント・モリ》

補強材の作品への接着、クリップへの緩衝材の接着

P-2052 日和崎尊夫《海溝より・・・》

破れの補修

P-2062 日和崎尊夫《詩画集『FURESIMA』》

ドライクリーニング、加湿、洗浄、脱酸性処置、シミの漂白、フラットニング

P-2071 日和崎尊夫《KALPA—生命》

加湿、洗浄、フラットニング、破れの補修

◆水彩

W-194 岸田劉生《水辺の裸婦》

ヒンジ除去、ドライクリーニング、加湿、洗浄、脱酸性処置、シミの漂白、欠損部の充填・補彩、破れの補修、フラットニング

W-195 岸田劉生《『帝国文学』表紙絵》

ヒンジ除去、ドライクリーニング、加湿、洗浄、脱酸性処置、シミの漂白、フラットニング

W-241 岸田劉生《古屋芳雄像》

ヒンジ除去、インレイ除去、加湿、洗浄、フラットニング

W-247 清宮質文《秋》

テープ除去、ヒンジ除去

◆素描

D-44 河原温《物置小屋の中の出来事》

台紙除去、台紙片除去、ドライクリーニング、破れの補修、欠損部の充填・補彩、加湿、洗浄、脱酸性処置、フラットニング

D-45 河原温《塵捨場》

台紙除去、ヒンジ除去、ドライクリーニング、加湿、洗浄、脱酸性処置、シミの漂白、フラットニング

D-622 藤牧義夫《太田豊治像》

ヒンジ除去、加湿、洗浄、フラットニング

◆彫刻

S-127 山口勝弘《ユニヴァース》

LED照明へ交換、電気機器の調整、構造図と指示書の作成

S-281 遠藤利克《無題》

クリーニング、隙間の充填・補強、塗膜の剥離止め、補彩

S-398 遠藤利克《欲動—近代・身体》

構造調査、通水管の補修と交換、止水処理

S-464 村上隆《ポリリズム》

塗装フィギュアの加工と補充、保管箱新調

◆映像

V-1 高嶺格《God Bless America》

V-2 ビル・ヴィオラ《追憶の五重奏》

V-3 キムスージャ《針の女》

V-4 塩田千春《Bathroom》

V-5 ヴィト・アコンチ《適応についての3つの研究》

V-6 ヴィト・アコンチ《こじ開け》

V-7 ヴィト・アコンチ《センターズ》

V-8 ジョン・バルデッサリ《I Am Making Art》

V-9 ジョン・バルデッサリ《植物にアルファベットを教える》

V-10 ジョン・バルデッサリ《二つのグラスを同調させようとする4分間(フィル・グラス六重奏団のために)》

V-11 リンダ・ベングリズ《ナウ》

V-12 ダラ・バーンバウム《テクノロジー／トランスフォーメーション：ワンダーウーマン》

V-13 ナンシー・ホルトとロバート・スミッソン《湿地》

- V-14 ジョーン・ジョナス《ヴァーティカル・ロール》
 V-15 ゴードン・マッタ＝クラーク《プログラム6》
 V-16 ゴードン・マッタ＝クラーク《プログラム7》
 V-17 ブルース・ナウマン《スロー・アングル・ウォーク(ベケット・ウォーク)》
 V-18 ブルース・ナウマン《コーナーで跳ねる No.1》
 V-19 ブルース・ナウマン《壁と床での姿勢》
 V-20 ブルース・ナウマン《リップ・シンク》
 V-21 デニス・オッペンハイム《プログラム4》
 V-22 マーサ・ロスラー《キッチンの記号論》
 V-23 ロバート・スミッソン《スパイラル・ジェッティ》
 V-24 ビル・ヴィオラ《映り込む池》
 V-29 田中功起《一つのプロジェクト、七つの箱と行為、美術館にて》
 V-30 Chim ↑ Pom 《気合い100連発》
 V-31 Chim ↑ Pom 《BLACK OF DEATH 2013》
 V-32 藤井光《沿岸部風景記録 福島県飯舘村 2012年8月》
 V-33 藤井光《プロジェクト FUKUSHIMA!》
 V-34 田中功起《ひとつの陶器を五人の陶芸家を作る(沈黙による試み)》
 V-51 森村泰昌《烈火の季節/なにものかへのレクイエム(MISHIMA)》
 V-52 高嶺格《ジャパン・シンドローム～関西編》
 V-53 高嶺格《ジャパン・シンドローム～山口編》
 V-54 高嶺格《ジャパン・シンドローム～水戸編》
 V-55 高嶺格《ジャパン・シンドローム～ベルリン編》
 V-56 山城知佳子《肉屋の女》
 V-57 ゴードン・マッタ＝クラーク《チャイナタウンの覗き見》
 V58-001 ゴードン・マッタ＝クラーク《ツリー・ダンス》
 V58-002 ゴードン・マッタ＝クラーク《オープン・ハウス》
 V59-001 ゴードン・マッタ＝クラーク《ファイアー・チャイルド》
 V59-002 ゴードン・マッタ＝クラーク《フレッシュキル》
 V59-003 ゴードン・マッタ＝クラーク《日の終わり》
 V-60 ゴードン・マッタ＝クラーク《フード》
 V61-001 ゴードン・マッタ＝クラーク《オートメーション・ハウス》
 V61-002 ゴードン・マッタ＝クラーク《クロックシャワー》
 V61-003 ゴードン・マッタ＝クラーク《都市の裂け目》
 V-62 ゴードン・マッタ＝クラーク《壁》
 V-63 ゴードン・マッタ＝クラーク《オフィス・バロック》
 V-64 ジョーン・ジョナス《ソングディレイ》
 V-65 ナム・ジュン・パイク/ジョン・ゴドフリー《グローバル・グルーヴ》
 V-66 ダン・グレアム《ロック・マイ・リリジョン》
 V-67 小泉明郎《Battlelands》
 V-70 加藤翼《The Lighthouses—11.3 PROJECT》
 以上53点について、データのコンディション・チェックおよび保存用データと展示用データの作成

◆資料

- M-698-001 高松次郎《《英語の単語》関係資料(最終原図)》
 フラットニング、ドライクリーニング、加湿、洗浄、脱酸性処置、破れの補修、欠損部の充填・補彩、裏打ち
 M-698-002 高松次郎《《英語の単語》関係資料(校正刷)》
 フラットニング、ドライクリーニング

令和5年度に修理した美術作品は次のとおり。
 工芸15点、デザイン8点

◆陶磁

Cr1091 金子潤《無題13-09-04》
 クリーニング、釉薬剥離部分の補修

◆漆工

Lc0277 辻村松華《蓬萊山詩絵経箱》
 クリーニング、欠損部の充填・補修

◆金工

Mt0114 大木秀春《蘭帯留》
 クリーニング
 Mt0260 大木秀春《金具 椿》
 クリーニング
 Mt0261 大木秀春《梅花帯留》
 クリーニング
 Mt0265 大木秀春《想花帯留》
 クリーニング
 Mt0369 増田三男《銀鉄野草紋箱》
 合口剥離部分の補修

◆染織

Tx0190 稲垣稔次郎《紙本型絵染額面 代かき》
 クリーニング、額改修(2年目)
 Tx0192 稲垣稔次郎《紙本型絵染額面 植木屋》
 クリーニング、額改修(2年目)
 Tx0232 稲垣稔次郎《紙本型絵染額面 都をどり》
 クリーニング、額改修(2年目)
 Tx0233 稲垣稔次郎《紙本型絵染額面 一力の舞妓》
 クリーニング、額改修(2年目)
 Tx0234 稲垣稔次郎《紙本型絵染額面 路》
 クリーニング、額改修(2年目)
 Tx0235 稲垣稔次郎《紙本型絵染額面 路》
 クリーニング、額改修(2年目)
 Tx0236 稲垣稔次郎《紙本型絵染額面 路》
 クリーニング、額改修(2年目)
 Tx0237 稲垣稔次郎《紙本型絵染額面 路》
 クリーニング、額改修(2年目)

◆グラフィック・デザイン

Gd0001 シャルル・ルポー《現代装飾美術・工業美術国際博覧会》
 額改修(低反射アクリル入り)
 Gd0002 ロベール・ボンフィス《現代装飾美術・工業美術国際博覧会》
 額改修(低反射アクリル入り)
 Gd0007 A.M.カッサンドル《北方鉄道》
 額改修(低反射アクリル入り)
 Gd0111 エミール＝アントワヌ・プールデル《現代装飾美術・工業美術国際博覧会》
 額改修(低反射アクリル入り)
 Gd0112 アンドレ・ジラール《現代装飾美術・工業美術国際博覧会》

額改修(低反射アクリル入り)

Gd0151 A.M.カッサンドル《ノール・エクスプレス(観光)》

額改修(低反射アクリル入り)

Gd0187 A.M.カッサンドル《ノルマンディー号》

額改修(低反射アクリル入り)

Gd0403 A.M.カッサンドル《ワゴン・リ・クック(旅行サービス社)》

旧裏板(ベニヤ板)の除去、裏板(ハニカムボード)新調、額新調(低反射アクリル入り)

1 展覧会 Exhibitions

1-1 入館者数

令和5年度入館者数(人)

	所蔵作品展	企画展	合計
本館	286,612	522,026	808,638
国立工芸館	15,926	136,997	152,923
入館者総数	302,538	659,023	961,561

回数	展覧会名	入館者数(人)
552	ガウディとサグラダ・ファミリア展	279,985人(1日平均 3,500人)
553	生誕120年 棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ	96,565人(1日平均 1,857人)
554 (工123)	第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭いしかわ百万石文化祭 2023「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川 一麗しき美の煌めきー」	46,234人(1日平均 1,075人)
555 (工124)	印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1979	6,785人(1日平均 117人)
556	中平卓馬 火一氾濫	28,419人(1日平均 580人)
557 (工125)	卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展	2,008人(1日平均 167人)

回数 展覧会名

昭和27年度[1952]

- 1 日本近代美術展：近代絵画の回顧と展望
Modern Japanese Art: Retrospective and Perspective of Modern Painting
- 2 近代美術展：近代洋画の歩み(西洋と日本)
Development of Modern Western-style (Oil) Painting: Europe and Japan

昭和28年度[1953]

- 3 世界のポスター展
World Posters
- 4 近代日本絵画展：日本画の流れ(系譜と展開)
Mainstream of Japanese-style Painting: Its Schools and Development
- 5 近代彫塑展：日本と西洋
Modern Sculpture: Europe and Japan
- 6 現代写真展：日本とアメリカ
The Exhibition of Contemporary Photography: Japan and America
- 7 四人の画家：中村彝 小茂田青樹 萬鉄五郎 土田麦僊
Exhibition of Four Painters: Tsune Nakamura, Seiju Omoda, Tetsugoro Yorozu, Bakusen Tsuchida
- 8 抽象と幻想：非写実絵画をどう理解するか
Abstraction and Fantasy: How to Understand Non-figurative (Non-realistic) Painting
- 9 近代の肖像画
Exhibition of Modern Japanese Portraiture
- 10 第27回ヴェニス・ビエンナーレ国際美術展：出品作品国内展示
Preview Exhibition of the 27th Venice Biennial Exhibits from Japan
- 11 国吉康雄遺作展
The Memorial Art Exhibition of the Works of Yasuo Kuniyoshi

昭和29年度[1954]

- 12 大正期の画家
The Exhibition of the Painting of the Taisho Era
- 13 グロピウスとバウハウス
Gropius and Bauhaus
- 14 黒田清輝展
Exhibition of Seiki Kuroda
- 15 水彩と素描
Exhibition of Water Colors and Drawings
- 16 世界の児童画
Exhibition of World Children's Art
- 17 4人の画家：佐伯祐三 前田寛治 村上華岳 広島晃甫
Exhibition of Four Painters: Yuzo Saeki, Kanji Maeta, Kagaku Murakami, Koho Hiroshima
- 18 現代の眼：日本美術史から
Today's Focus: On the History of Japanese Art

- 19 19人の作家：戦後の絵画・彫刻
同時開催 第3回サンパウロ・ビエンナーレ国際美術展：出品作品国内展示
Living Nineteen Japanese Artists: Painting and Sculpture in the Past Ten Years
Preview Exhibition of the 3rd São Paulo Biennial Exhibits from Japan
- 20 松方コレクション：国立美術館建設協賛展
Exhibition in Liaison with the Establishment of The National Museum of Western Art
- 21 明治初期洋画：近代リアリズムの展開
Western-style Painting of the Early Meiji Era

昭和**30**年度[1955]

- 22 日米抽象美術展
Abstract Art Exhibition: Japan and U.S.A.
- 23 巨匠の二十代
Great Masters in Their Twenties
- 24 日米水彩画展
Joint Exhibition of American and Japanese Water Colours
- 25 現代日本の書・墨の芸術：ヨーロッパ巡回展覧作品 国内展示会
Contemporary Japanese Calligraphy: Art in Sumi
- 26 晩期の鉄斎
Tessai in His Last Period
- 27 四人の作家：下村観山 鬚光 荻原守衛 橋本平八
Exhibition of Four Artists: Kanzan Simomura, Aimitsu, Morie Ogiwara, Heihachi Hashimoto
- 28 現代の眼：アジアの美術史から
Today's Focus: Eastern Art Seen through Eyes of the Present
- 29 明治以後の風俗画
Genre-printing in the Meiji, Taisho and Showa Eras
- 30 第28回ベニス・ビエンナーレ展：出品作国内展示
Preview Exhibition of the 28th Venice Biennial Exhibits from Japan

昭和**31**年度[1956]

- 31 安井曾太郎遺作展
Posthumous Exhibition of Sotaro Yasui
- 32 現代の版画：日本とエコール・ド・パリ
Contemporary Prints: Japanese Artists and l'École de Paris
- 33 今日の写真：日本とフランス
Contemporary Photography: Japan and France
- 34 日本の風景
Japanese Scenery
- 35 日本の彫刻：上代(埴輪・金銅仏・伎楽面)と現代
Exhibition of Japanese Sculpture: Contemporary versus Haniwa, Bronze Buddhist Statues, and Mask of the Asuka and the Nara Period
- 36 菊池契月遺作展
Posthumous Exhibition of Keigetsu Kikuchi
- 37 日本の風刺絵画
Japanese Satirical Painting (Cartoons)

- 38 近代日本の名作
Masterpieces of Modern Japanese Painting
- 39 第4回サンパウロ・ビエンナーレ展：日本側出品
Preview Exhibition of the 4th São Paulo Biennial Exhibits from Japan
- 40 20世紀のデザイン展：ヨーロッパとアメリカ
Exhibition of 20th Century Design in Europe and America

昭和32年度[1957]

- 41 墨の芸術：中国と日本の絵画
Suiboku Paintings of China and Japan
- 42 前衛美術の15人
特別陳列 アメリカ現代美術
15 Vanguard Artists
The Special Showing of 8 Contemporary American Artists
- 43 第1回東京国際版画ビエンナーレ展
特別陳列 歌麿と北斎
1^{ère} Exposition Biennale Internationale de Gravure à Tokio
Exhibition of Utamaro and Hokusai
- 44 四人の作家：平福百穂 小林徳三郎 三岸好太郎 武井直也
Exhibition of Four Artists: Hyakusui Hirafuku, Tokusaburo Kobayashi, Kotaro Migishi, Naoya, Takei
- 45 最近のドイツ版画
Deutsche Druckgraphik der Letzten Jahre
- 46 17人の作家：現代の絵画・彫刻シリーズ
Living Seventeen Japanese Artists: Series of Today's Painting and Sculpture
- 47 第1回安井賞候補新人展
The 1st Yasui Award Exhibition
- 48 近代日本絵画の歩み
Development of Modern Japanese Painting

昭和33年度[1958]

- 49 近代日本における名作の展望：絵画と彫刻
Masterpieces of Modern Japanese Art: Painting and Sculpture
- 50 抽象絵画の展開
Development of Japanese Abstract Painting
- 51 四人の作家：小川芋銭 梶田半古 佐分真 北脇昇
Exhibition of Four Artists: Ogawa Usen, Kajita Hanko, Saburi Makoto, Kitawaki Noboru
- 52 オーストラリア、ニュージーランド巡回日本現代美術展：国内展示
Preview Exhibition of Contemporary Japanese Art Exhibition to Be Circulated in Australia and New Zealand
- 53 川合玉堂遺作展
Posthumous Exhibition of Gyokudo Kawai
- 54 白隠の芸術：水墨画と書
Hakuin's Art: Suiboku Painting and Calligraphy
- 55 第2回安井賞候補新人展
The 2nd Yasui Award Exhibition

- 56 近代日本美術の常時陳列
A Survey of Modern Japanese Art: Permanent Exhibition
- 57 戦後の秀作
Postwar Outstanding Works of Art
- 58 近代日本の静物画
同時開催 ブラジル近代建築：新首都建設
Still-life in Modern Japanese Painting
Brasilia, the New Capital: Brazilian Modern Architecture

昭和**34**年度[1959]

- 59 第5回サンパウロ・ビエンナーレ展：日本側出品
Preview Exhibition of the 5th São Paulo Biennial Exhibits from Japan
- 60 近代木彫の流れ
Development of Modern Sculpture in Wood
- 61 現代日本の陶芸
Contemporary Japanese Ceramic Art
- 62 横山大観遺作展
Posthumous Exhibition of Taikan Yokoyama
- 63 棟方志功展：ヨーロッパ巡回 国内展示
Preview Exhibition of Shiko Munakata Exhibition to Be Circulated in Europe
- 64 第3回安井賞候補新人展
The 3rd Yasui Award Exhibition
- 65 近代日本美術の常時陳列
A Survey of Modern Japanese Art: Permanent Exhibition
- 66 現代写真展1959年
特別陳列 抽象光画：ハインツ・ハイエケ＝ハルケ作品
Contemporary Japanese Photographies 1959
Deutsche Lichtgrafik Werke von Heinz Hajek-Halke
- 67 近代日本の素描：アメリカ巡回
特別陳列 マリノ・マリーニのリトグラフ
Japanese Drawings in XXth Century: Preview of the Travelling Exhibition in U.S.A.
Lithographs by Marino Marini
- 68 日本画の新世代
Recent Development in Japanese Style Painting
- 69 第30回ベニス・ビエンナーレ国際美術展：国内展示
Preview Exhibition of the 30th Venice Biennial Exhibits from Japan

昭和**35**年度[1960]

- 70 超現実絵画の展開
同時開催 ブラジルのポエマ・コンクレート
Development of Japanese Surrealistic Painting
Brazilian Poema Concrete
- 71 四人の作家：菱田春草 瑛九 上阪雅人 高村光太郎
Exhibition of Four Artists: Shunso Hishida, Ei-kyu, Gajin Kosaka, Kotaro Takamura
- 72 現代の眼：原始美術から
Today's Focus: Primitive Art Seen through Eyes of the Present

- 73 近代日本美術の常時陳列
A Survey of Modern Japanese Art: Permanent Exhibition
- 74 日本人の手：現代の伝統工芸
同時開催 芸術としての写真：メトロポリタン美術館選定
Contemporary Japanese Handicrafts: Contemporary Traditional Craft
Photography in the Fine Arts
- 75 小林古徑遺作展
Posthumous Exhibition of Kokei Kobayashi
- 76 第2回東京国際版画ビエンナーレ展
The 2nd International Biennial Exhibition of Prints in Tokyo
- 77 第4回安井賞候補新人展
The 4th Yasui Award Exhibition
- 78 現代写真展1960年
同時開催 アニメーションの芸術
Contemporary Japanese Photographies 1960
Animation Art
- 79 現代スペイン絵画展
Exposicion: Contrastes en la Pintura Española de Hoy
- 80 第6回サンパウロ・ビエンナーレ展：日本側出品
同時開催 現代日本の版画
Preview Exhibition of the 6th São Paulo Biennial Exhibits from Japan
Contemporary Japanese Prints

昭和**36**年度[1961]

- 81 文部省新収品を中心とする常時陳列
Permanent Exhibit: Mainly New Acquisitions of The Ministry of Education
- 82 現代美術の実験
Adventure in Today's Art of Japan
- 83 近代日本の名作展：日本画・洋画
Masterpieces of Modern Japanese Art
- 84 近代日本油絵の流れ
Development of Oil Painting in Modern Japan
- 85 近代日本の名作展
Masterpieces of Modern Japanese Art
- 86 近代日本彫刻の流れ
Development of Sculpture in Modern Japan
- 87 近代日本画の流れ
Development of Japanese-style Painting in Modern Japan
- 88 近代日本の洋画：国立近代美術館所蔵
Development of Oil Painting in Modern Japan
- 89 第5回安井賞候補新人展
The 5th Yasui Award Exhibition
- 90 現代日本の版画
Contemporary Japanese Prints
- 91 現代絵画の展望
Prominent Works of Contemporary Japanese Painting

昭和**37**年度[1962]

- 92 近代日本の造形：油絵と彫刻
Oil Painting and Sculpture in Modern Japan
- 93 近代日本の造形：絵画と彫刻
Painting and Sculpture in Modern Japan
- 94 近代の屏風絵
Painting on Folding Screen in Modern Japan
- 95 第3回東京国際版画ビエンナーレ展
特別陳列 写楽
The 3rd International Biennial Exhibition of Prints in Tokyo
Sharaku
- 96 四人の作家：近藤浩一路 坂田一男 野田英夫 藤川勇造
同時開催 フランス映画史展
Posthumous Exhibition of Four Artists: Kondo Koichiro, Sakata Kazuo, Noda Hideo, Fujikawa Yuzo
History of French Films
- 97 第6回安井賞候補新人展
The 6th Yasui Award Exhibition
- 98 現代写真展1961-62年
Contemporary Japanese Photographies 1961-1962
- 99 近代日本の絵画と彫刻
Painting and Sculpture in Modern Japan
- 100 須田国太郎遺作展
Posthumous Exhibition of Kunitaro Suda
- 101 現代の油絵と版画
Contemporary Oil Painting and Prints

昭和**38**年度[1963]

- 102 ビュッフェ展：その芸術の全貌
同時開催 現代の日本画
Bernard Buffet: Exposition au Japon 1963
Contemporary Japanese-style Paintings
- 103 彫刻の新世代
New Generation of Japanese Sculptors
- 104 現代の眼：暮らしの中の日本の美
同時開催 近代の日本画
Today's Focus: Traditional Daily Implements of Japan Seen through Eyes of the Present
Modern Japanese-style Paintings
- 105 近代日本の絵画と彫刻
Painting and Sculpture in Modern Japan
- 106 近代日本美術における1914年
同時開催 近代日本の素描
1914: The Beginning of an Era in Modern Japanese Art
Modern Japanese Drawings
- 107 北大路魯山人の芸術
同時開催 日本の抽象絵画
The Art of Rosanjin Kitaoji: Ceramics, Lacquer, Calligraphy, Painting, etc.
Japanese Abstract Painting

- 108 第7回安井賞候補新人展
同時開催 マヤ芸術の拓本展
The 7th Yasui Award Exhibition
Takuhon: Rubbed Prints of Mayan Art
- 109 滞欧作とその後
同時開催 織田一磨の版画
Japanese Artists: A Contrast Seen before and after Sojourning in Europe or America
Kazuma Oda's Prints
- 110 近代作家の回顧：富田溪仙 太田聴雨 佐藤玄々 石井柏亭 中西利雄
同時開催 第32回ベニス・ビエンナーレ国際美術展：国内展示
Posthumous Exhibition of Five Artists: Keisen Tomita, Chou Ota, Gengen Sato, Hakutei Ishii, Toshio Nakanishi
Preview Exhibition of the 32nd Venice Biennial Exhibits from Japan

昭和**39**年度[1964]

- 111 児島善三郎遺作展
Posthumous Exhibition of Zenzaburo Kojima
- 112 ピカソ展
Pablo Picasso Exhibition: Japan, 1964
- 113 京都の日本画：円山応挙から現代まで
Japanese Painting in Kyoto: From Okyo Maruyama to Present Generation
- 114 現代国際陶芸展
同時開催 本館所蔵の日本画
International Exhibition of Contemporary Ceramic Art
Japanese-style Paintings from The Museum Collection
- 115 近代日本の名作：オリンピック東京大会芸術展示
Masterpieces of Modern Japanese Art: Art Exhibition during Tokyo Olympics
- 116 第4回東京国際版画ビエンナーレ展
特別陳列 広重
The 4th International Biennial Exhibition of Prints in Tokyo
Hiroshige
- 117 第8回安井賞候補新人展
同時開催 新収集の日本画：東京国立博物館よりの管理換を中心として
The 8th Yasui Award Exhibition
New Pieces of Japanese-style Paintings in The Museum Collection
- 118 戦中世代の画家
Painters of the "Senchu" Generation
- 119 戦後の絵画：所蔵作品を中心として
同時開催 第8回サンパウロ・ビエンナーレ国際美術展：出品作品国内展示
同時開催 古賀春江の水彩
Postwar Japanese Paintings: Mainly from the Collection of The Museum
Preview Show for the 8th Biennial Exhibition of São Paulo
Water Colors of Harue Koga

昭和**40**年度[1965]

- 120 近代における文人画とその影響：日本と中国
Modern 'Bunjin-ga' of China and Japan and Its Influence

- 121 近代日本の裸体画
同時開催 新収集の油絵と彫刻
Paintings of Nudes in Modern Japan
New Pieces of The Museum Collection: Oil Painting and Sculpture
- 122 近代作家の回顧：小杉放庵 木村莊八 前川千帆 藤井浩祐
同時開催 ユーゴスラビア現代版画展
Posthumous Exhibition of Four Artists: Kosugi Hoan, Kimura Shohachi, Maekawa Senpan, Fujii Koyu
Exhibition of Contemporary Prints in Yugoslavia
- 123 近代日本の油絵：所蔵作品による
Modern Japanese Oil Paintings: From The Museum Collection
- 124 院展芸術の歩み：戦前
The Retrospective Exhibition of the Inten: The Prewar Period
- 125 在外日本作家展：ヨーロッパとアメリカ
Exhibition of Japanese Artists Abroad: Europe and America
- 126 第1回日本芸術祭：国内展示
The 1st Preliminary Show of Japan Art Festival
- 127 第9回安井賞候補新人展
同時開催 2人のアメリカの写真作家
The 9th Yasui Award Exhibition
Two American Photographers
- 128 現代美術の新世代
New Generation of Contemporary Art
- 129 近代の日本画：国立近代美術館所蔵作品による
同時開催 第33回ベニス・ビエンナーレ展：出品作品国内展示
Modern Japanese-style Paintings: From The Museum Collection
Preview Exhibition of the 33rd Venice Biennial Exhibits from Japan

昭和**41**年度[1966]

- 130 現代の眼：東洋の幻想
Today's Focus: Fantasy of the Orient Seen through Eyes of the Present
- 131 近代作家の回顧：岸田劉生
Posthumous Exhibition of Kishida Ryusei
- 132 ポーランドのポスター
同時開催 現代写真の10人
Posters of Poland
Ten Artists of Contemporary Japanese Photography
- 133 ミロ展
Joan Miró Exhibition: Japan, 1966
- 134 現代アメリカ絵画展
Two Decades of American Painting
- 135 第5回東京国際版画ビエンナーレ展
The 5th International Biennial Exhibition of Prints in Tokyo
- 136 第10回安井賞候補新人展
特別陳列 安井賞の作家たち 受賞作品とその後
The 10th Yasui Award Exhibition
Yasui Award Artists: Their Awards and Later Works

137 所蔵作品による近代日本の美術：大正から昭和前期の絵画
同時開催 第9回サンパウロ・ビエンナーレ展：出品作品国内展示
Modern Japanese Paintings: From The Museum Collection—Paintings from
Taisho to Early Showa Eras
Preview Exhibition of the 9th São Paulo Biennial Exhibits from Japan

昭和42年度[1967]

- 138 グラフィック アート USA
Graphic Arts USA
- 139 近代日本の版画
Modern Japanese Prints
- 140 第2回日本芸術祭：国内展示
The 2nd Preliminary Show of Japan Art Festival
- 141 近代日本の水彩と素描
Modern Japanese Water Colors and Drawings
- 142 現代イタリア美術展
Exhibition of Contemporary Italian Art
- 143 ソ連絵画50年展
50 Years of Painting U.S.S.R.
- 144 第11回安井賞候補新人展
特別陳列 安井曾太郎の遺作
The 11th Yasui Award Exhibition
Special Show Sotaro Yasui
- 145 近代日本の油絵：大正・昭和(戦前)を中心として 昭和(戦後)を中
心として
同時開催 第34回ベニス・ビエンナーレ展：出品作品国内展示
Modern Japanese Oil Paintings: Mainly from Taisho and Showa (Prewar) Eras /
Mainly from the Postwar Showa Era
Preview Exhibition of the 34th Venice Biennial Exhibits from Japan

昭和43年度[1968]

- 146 現代陶芸の新世代
New Generation of Ceramic Art in Japan
- 147 第3回日本芸術祭：国内展示
The 3rd Preliminary Show of Japan Art Festival
- 148 ダダ展：世界のダダ運動の記録
同時陳列 日本におけるダダイスムからシュルレアリスムへ
Dada
Dadaism to Surrealism in Japan
- 149 韓国現代絵画展
Contemporary Korean Painting
- 150 東西美術交流展
Mutual Influences between Japanese and Western Arts
- 151 第6回東京国際版画ビエンナーレ展
The 6th International Biennial Exhibition of Prints in Tokyo

昭和44年度[1969]

- 152 現代世界美術展：東と西の対話
Contemporary Art: Dialogue between the East and the West

- 153 ヘンリー・ムーア展
Henry Moore Exhibition in Japan, 1969
- 154 現代ドイツ建築展
Bauen in Deutschland
- 155 第4回ジャパン・アート・フェスティバル(日本芸術祭)：国内展示
The 4th Preliminary Show of Japan Art Festival
- 156 フランス現代タピスリー展
Tapisserie Française d'Aujourd'hui
- 157 ピカソ近作版画展
Picasso's Recent Works in Prints

昭和**45**年度[1970]

- 158 富本憲吉遺作展
Posthumous Exhibition of Kenkichi Tomimoto
- 159 ベン・シャーン展
Ben Shahn
- 160 第5回ジャパン・アート・フェスティバル(日本芸術祭)：国内展示
The 5th Preliminary Show of Japan Art Festival
- 161 1970年8月：現代美術の一断面
August 1970: Aspects of New Japanese Art
- 162 現代イギリス美術展
Contemporary British Art
- 163 現代インド絵画展
Contemporary Indian Painting
- 164 第7回東京国際版画ビエンナーレ展
The 7th International Biennial Exhibition of Prints in Tokyo
- 165 バウハウス50年展
Bauhaus 50 Years

昭和**46**年度[1971]

- 166 近代日本美術における1930年
Around 1930 in Modern Japanese Art
- 167 ルネ・マグリット展
Rétrospective René Magritte
- 168 第6回ジャパン・アート・フェスティバル：国内展示
The 6th Preliminary Show of Japan Art Festival
- 169 新収蔵作品の展示：日本画 版画 工芸 書
New Pieces of The Museum Collection: Japanese-style Painting, Prints, Crafts, Calligraphy
- 170 近代作家の回顧 山口薫
Posthumous Exhibition of Yamaguchi Kaoru
- 171 現代ドイツ美術展
Zeitgenössische Deutsche Kunst
- 172 現代の陶芸：アメリカ・カナダ・メキシコと日本
Contemporary Ceramic Art: Canada, U.S.A., Mexico and Japan

- 173 戦後日本美術の展開：具象表現の変貌
Development of Postwar Japanese Art: Figurative Art
- 174 新収蔵作品の展示：洋画・彫刻
New Pieces of The Museum Collection: Western-style Painting, Sculpture

昭和**47**年度[1972]

- 175 現代スウェーデン美術展
Swedish Art 1972: A Contemporary Theme
- 176 近代イタリア美術の巨匠たち：ジャンニ・マッティオーリ・コレクションより
Masters of Modern Italian Art: From the Collection of Gianni Mattioli
- 177 昭和46年度新収蔵作品の展示
同時陳列 本館所蔵の素描
New Pieces of The Museum Collection 1971
Drawings from The Museum Collection
- 178 現代の眼：近代日本の美術から 開館20年記念
Today's Focus: On Modern Japanese Art
- 179 第8回東京国際版画ビエンナーレ展
The 8th International Biennial Exhibition of Prints in Tokyo
- 180 ヨーロッパの日本作家
Japanese Artists in Europe
- 181 平櫛田中展
The Retrospective Exhibition of Denchu Hirakushi

昭和**48**年度[1973]

- 182 現代ユーゴスラヴィア美術展
Contemporary Yugoslav Art
- 183 戦後日本美術の展開：抽象表現の多様化
Development of Postwar Japanese Art: Abstract and Non-figurative
- 184 新収蔵作品の展示
同時陳列 東京国立博物館より移管の日本画
New Acquisitions
Japanese Paintings Transferred from The Tokyo National Museum
- 185 近代日本美術史におけるパリと日本
Modern Japanese Art and Paris
- 186 ジャコモ・マンズー展
Exhibition of Giacomo Manzu
- 187 アメリカの日本作家
Japanese Artist in the Americas
- 188 近代作家の回顧：新海竹蔵 福田豊四郎
Modern Japanese Artists in Retrospect: Takezo Shinkai / Toyoshiro Fukuda

昭和**49**年度[1974]

- 189 アンドリュー・ワイエス展
Works of Andrew Wyeth
- 190 徳岡神泉遺作展
Posthumous Exhibition of Shinsen Tokuoka

- 191 15人の写真家
Fifteen Photographers Today
- 192 現代メキシコ美術展
Contemporary Mexican Art
- 193 第9回東京国際版画ビエンナーレ展
The 9th International Biennial Exhibition of Prints in Tokyo
- 194 近代日本の美術
Modern Japanese Art
- 195 福田平八郎遺作展
Posthumous Exhibition of Heihachiro Fukuda

昭和**50**年度[1975]

- 196 ポール・デルボー展
Paul Delvaux
- 197 前田青邨展
The Retrospective Exhibition of Seison Maeda
- 198 香月泰男遺作展
Posthumous Exhibition of Yasuo Kazuki
- 199 昭和48・49年度新収蔵作品の展示
同時陳列 ソ連寄贈：福田平八郎作品展
New Pieces of The Museum Collection 1973-1974
Exhibition of the Works by Heihachiro Fukuda: Donation from the Union of Soviet Socialist Republics
- 200 シュルレアリスム展
Surrealism
- 201 フランス工芸の美：15世紀から18世紀のタピスリー
Merveilles de la Tapisserie Française
- 202 ドイツ・リアリズム 1919-1933：ドイツ民主共和国所蔵 絵画・彫刻・版画
Realistische Tendenzen—Deutscher Kunst 1919-1933: Eine Ausstellung aus Museen der DDR

昭和**51**年度[1976]

- 203 ルフィーノ・タマヨ展
Exhibition Rufino Tamayo
- 204 安田靫彦展
The Retrospective Exhibition of Yukihiko Yasuda
- 205 恩地孝四郎と「月映」
Koshiro Onchi and 'Tsukuhae'
- 206 シャガール展
Exposition Marc Chagall: Japon 1976
- 207 キュービズム展
Cubism
- 208 第10回東京国際版画ビエンナーレ展
The 10th International Biennial Exhibition of Prints in Tokyo

- 209 今日の造形「織」：ヨーロッパと日本
Fiber Works: Europe and Japan
- 210 昭和50年度新収蔵作品の展示：購入 受贈作品
New Pieces of The Museum Collection: Purchases and Gifts 1975

昭和52年度[1977]

- 211 浜田庄司展
The Retrospective Exhibition of Shoji Hamada
- 212 素朴な画家たち
Exposition Peintres Naïfs
- 213 新収蔵作品の展示：昭和51年度収蔵作品 昭和50年度文化庁管理換
作品
New Pieces of The Museum Collection: New Acquisitions 1976, Works
Transferred from The Agency for Cultural Affairs 1975
- 214 フォンタネージ、ラゲーザと明治前期の美術
Fontanesi, Ragusa e l'Arte Giapponese nel Primo Periodo Meiji
- 215 **工1** 現代日本工芸の秀作：東京国立近代美術館工芸館 開館記念展
Masterpieces of Contemporary Japanese Crafts: Commemorative Exhibition for
Opening of The Crafts Gallery
- 216 今日の造形「織」：アメリカと日本
Fiber Works: Americas and Japan
- 217 フリードリッヒとその周辺
Friedrich und Sein Kreis

昭和53年度[1978]

- 218 マリノ・マリーニ展
Exhibition Marino Marini
- 219 斎藤義重展
Saito Yoshishige Exhibition 1978
- 220 **工2** 松田権六展
Gonroku Matsuda Exhibition
- 221 没後50年記念 佐伯祐三展
Yuzo Saeki Exhibition: 50th Year Posthumous Exhibition
- 222 スカンディナヴィアの工芸：世界現代工芸展
World Contemporary Crafts Exhibition: Scandinavian Crafts
- 223 ヨーロッパのポスター：その源流から現代まで
L'Affiche: En Occident de Ses Origines à Nos Jours
- 224 **工3** 近代日本の色絵磁器
Enamelled Porcelain of Modern Japan
- 225 新収蔵美術作品の展示：昭和52年度収蔵美術作品 絵画 素描
版画 彫刻
New Pieces of The Museum Collection: New Acquisition 1977 Paintings,
Drawings, Prints and Sculpture

昭和54年度[1979]

- 226 没後50年記念 岸田劉生展
Ryusei Kishida: 50th Year Posthumous Exhibition

- 227 第11回東京国際版画ビエンナーレ展
The 11th International Biennial Exhibition of Prints in Tokyo
- 228 **工4** 昭和52, 53年度収蔵工芸作品の展示：
陶磁 漆工 竹工 金工 ガラス 染織 その他
The Permanent Exhibition "Modern Japanese Crafts"
- 229 **工5** 近代日本の漆芸
Lacquer Art of Modern Japan
- 230 ドローネー展：ロベールとソニア
Robert / Sonia Delaunay
- 231 ブリジット・ライリー展：1959年から1978年までの作品
Bridget Riley: Works 1959-78

昭和**55**年度[1980]

- 232 新収蔵美術作品の展示：昭和53, 54年度収蔵美術作品
絵画 水彩 素描 版画 彫刻 陶磁 染織 漆工
New Pieces of The Museum Collection: New Acquisition 1978 & 1979—
Paintings, Water-colors, Drawings, Prints, Sculpture, Ceramics, Dyeing, and
Lacquer Ware
- 233 山口長男 堀内正和展
Exhibition Yamaguchi Takeo & Horiuti Masakazu
- 234 **工6** 日本の型染：伝統と現代
Katazome / Japanese Stencil and Print Dyeing: Tradition and Today
- 235 ポンピドゥ・センター：20世紀の美術
Le Musée National d'Art Moderne Centre Georges Pompidou: L'Art du 20^e Siècle
- 236 **工7** 現代ガラスの美：ヨーロッパと日本
Contemporary Glass: Europe & Japan

昭和**56**年度[1981]

- 237 マチス展
Matisse Exhibition
- 238 **工8** 石黒宗麿展：陶芸の心とわざ
The Creative Spirit of His Ceramic Art: Ishiguro Munemaro Exhibition
- 239 **工9** 八木一夫展
The Ceramic Artist Kazuo Yagi
- 240 20世紀カナダ絵画展
Twentieth Century Canadian Painting
- 241 東山魁夷展
Higashiyama Kaii 1981
- 242 ムンク展
Munch Exhibition
- 243 **工10** 現代ガラスの美：オーストラリア、カナダ、アメリカと日本
Contemporary Glass: Australia, Canada, U.S.A. & Japan
- 244 1960年代：現代美術の転換期
The 1960's: A Decade of Change in Contemporary Japanese Art
- 245 **工11** 現代の食器：注ぐ
Contemporary Vessels: How to Pour

昭和57年度[1982]

- 246 坂本繁二郎展
Hanjirō Sakamoto Exhibition
- 247 近代日本の美術：1945年以後 所蔵作品による全館陳列
開館30周年記念展 1
The 30th Anniversary Exhibition from The Museum Collection: Modern Japanese Art, Part 1 [1945-]
- 248 **E12** 近代日本の工芸：所蔵作品による開館30周年記念展
陶磁 ガラス 漆工 木竹工 金工 染織
Modern Japanese Crafts: The 30th Anniversary Exhibition from The Museum Collection: Ceramics, Glass Ware, Lacquer Ware, Wood and Bamboo Work, Metal Work, and Textiles
- 249 アメリカに学んだ日本の画家たち：国吉・清水・石垣・野田とアメリカン・シーン絵画
Japanese Artists Who Studied in U.S.A. and the American Scene
- 250 近代日本の美術：1945年以前 所蔵作品による全館陳列
開館30周年記念展 2
The 30th Anniversary Exhibition from The Museum Collection: Modern Japanese Art, Part 2 [1900-1945]
- 251 **E13** 近代日本のガラス工芸：明治初期から現代まで
Modern Japanese Glass: Early Meiji to Present
- 252 ベルギー象徴派展
Symbolisme en Belgique
- 253 **E14** イギリスのニードルワーク
British Needlework
- 254 **E15** 黒田辰秋展：木工芸の匠
Kuroda Tatsuaki: Master Wood Craftsman

昭和58年度[1983]

- 255 ピカソ展：その芸術の軌跡
Picasso: Masterpieces from Marina Picasso Collection and from Museums in U.S.A. and U.S.S.R.
- 256 フランシス・ベーコン
Francis Bacon: Paintings 1945-1982
- 257 **E16** 伝統工芸30年の歩み
30 Years of Modern Japanese Traditional Crafts
- 258 現代美術における写真：1970年代の美術を中心として
Photography in Contemporary Art
- 259 **E17** モダニズムの工芸家たち：金工を中心にして
Modernism and Craftsmen: The 1920's to the 1930's
- 260 20世紀アメリカのポスター：ニューヨーク近代美術館所蔵品による
The Modern American Poster: From the Graphic Design Collection of The Museum of Modern Art, New York
- 261 村上華岳展
Kagaku Murakami Exhibition

昭和59年度[1984]

- 262 近代絵画の展開：ティッセン・コレクション名作展
Modern Masters from the Thyssen-Bornemisza Collection

263	三次元性：ドイツ彫刻の現在 Dreidimensional: Aktuelle Kunst aus der Bundesrepublik Deutschland
264	工18 河井寛次郎展：近代陶芸の巨星 Kawai Kanjiro: Master of Modern Japanese Ceramics
265	構成主義と幾何学的抽象 Constructivism and the Geometric Tradition
266	工19 今日のジュエリー：世界の動向 Contemporary Jewellery: The Americas, Australia, Europe and Japan
267	メタファーとシンボル：現代美術への視点 Metaphor and/or Symbol: A perspective on Contemporary Art
268	新収蔵品展：昭和58・59年度 New Acquisition 1983 and 1984
269	工20 竹の工芸：近代における展開 Modern Bamboo Craft
270	棟方志功展 Shiko Munakata
<hr/>	
271	工21 現代染織の美：森口華弘 宗廣力三 志村ふくみ Kimono as Art: Modern Textile Works by Kako Moriguchi, Rikizo Munehiro, and Fukumi Shimura
272	モディリアーニ展 Modigliani
273	洋風表現の導入 江戸中期から明治初期まで：写実の系譜 1 Development of Western Realism in Japan [: Realistic Representation I]
274	現代デザインの展望：ポストモダンの地平から Contemporary Landscape from the Horizon of Postmodern Design
275	19世紀ドイツ絵画名作展：プロイセン文化財団ベルリン国立美術館所蔵 Meisterwerke Deutscher Malerei des 19. Jahrhunderts aus der Nationalgalerie Berlin-Staatliche Museen Stiftung Preußischer Kulturbesitz
276	工22 人形工芸：昭和期を中心にして Modern Japanese Dolls
<hr/>	
277	松本竣介展 Shunsuke Matsumoto Exhibition 1986
278	近代日本の美術：所蔵作品による全館陳列 Modern Japanese Art from The Museum Collection
279	近代の見なおし：ポストモダンの建築1960-1986 Revision der Moderne: Postmoderne Architektur 1960-1986
280	大正期の細密描写：写実の系譜 2 An Eye for Minute Details: Realistic Painting in the Taisho Period [: Realistic Representation II]
281	京都の日本画1910-1930：大正のころ・革新と創造 Nihonga, the Kyoto School 1910-1930

昭和**60**年度[1985]

昭和**61**年度[1986]

- 282 **工23** 1960年代の工芸：昂揚する新しい造形
Forms in Aggression: Formative Uprising of the 1960s
- 283 昭和60・61年度：新収蔵作品展
New Pieces of The Museum Collection: New Acquisitions 1985 & 1986
- 284 ゴーギャン展
Paul Gauguin: In Search of Paradise

昭和**62**年度[1987]

- 285 カンディンスキー展
Kandinsky
- 286 **工24** 木工芸：明治から現代まで
Modern Woodcraft
- 287 杉山寧展
Yasushi Sugiyama Exhibition
- 288 **工25** 加守田章二展：現代陶芸の美
Kamoda Shoji: A Prominent Figure in Contemporary Ceramics
- 289 若林奮展：今日の作家
Isamu Wakabayashi
- 290 難波田龍起展：今日の作家
Tatsuoki Nambata
- 291 ヨーロッパのレース：ブリュッセル王立美術歴史博物館所蔵
Dentelles Européennes
- 292 梅原龍三郎遺作展
Ryuzaburo Umehara Retrospective

昭和**63**年度[1988]

- 293 ルネ・マグリット展
René Magritte
- 294 近代美術にみる人間像：所蔵作品による全館陳列
The Image of Man in Modern Japanese Art from The Museum Collection
- 295 **工26** 図案の変貌：1868-1945
Design in Transition
- 296 明治中期の洋画：写実の系譜 3
Painting in Japan 1884-1907: Realistic Representation III
- 297 **工27** 現代イギリスの工芸
Contemporary British Crafts
- 298 オディロン・ルドン展
Odilon Redon

平成**元**年度[1989]

- 299 高山辰雄展
Tatsuo Takayama
- 300 昭和の美術：所蔵作品による全館陳列
Art of the Showa Period: From The Museum Collection
- 301 **工28** 生命のかたち：熊倉順吉の陶芸
Organs That Provoke: Ceramic Works of Junkichi Kumakura

	302	色彩とモノクローム：現代美術への視点 2 Color and/or Monochrome: A Perspective on Contemporary Art 2
	303	E29 能弁なオブジェ：現代アメリカ工芸の展開 The Eloquent Object: The Evolution of American Art in Craft Media since 1945
平成2年度[1990]	304	E30 ヴァン・ド・ヴェルド展 Van de Velde
	305	文展の名作[1907-1918] Masterpieces from the Bunten Exhibition 1907-1918
	306	手塚治虫展 Osamu Tezuka Exhibition
	307	写真の過去と現在 The Past and the Present of Photography
	308	E31 グラフィックデザインの今日 Graphic Design Today
	309	移行するイメージ：1980年代の映像表現 Images in Transition: Photographic Representation in the Eighties
平成3年度[1991]	310	E32 富本憲吉展 Tomimoto Kenkichi
	311	荒川修作の実験展：見る者がつくられる場 Constructing the Perceiver—Arakawa: Experimental Works
	312	E33 アフリカの染織：大英博物館所蔵品による African Textiles
	313	古賀春江：創作のプロセス 東京国立近代美術館所蔵作品を中心に Harue Koga: The Creative Process—A Show Built around The Museum Collection
	314	イサム・ノグチ展 Isamu Noguchi Retrospective 1992
平成4年度[1992]	315	ルネ・ラリック展 René Lalique
	316	形象のはざまに：現代美術への視点 3 Among the Figures: A Perspective on Contemporary Art 3
	317	アボリジニの美術：伝承と創造 オーストラリア大地の夢 Crossroads—Toward A New Reality: Aboriginal Art from Australia
	318	セバスチャン・サルガド：人間の大地 Sebastião Salgado: In Human Effort
	319	E34 塗りの系譜 Nuances in Laquer: 70 Years of Innovations
	320	フォーヴィスムと日本近代洋画 Fauvism and Modern Japanese Painting

平成5年度 [1993]

- 321 小川芋銭展
Ogawa Usen Retrospective
- 322 柳原義達展
Yoshitatsu Yanaguihara: A Retrospective
- 323 **工35** 山陰の陶窯 出西窯：現代の陶芸
Shussai-Kiln, Folk Craft in San'in Area: Contemporary Japanese Ceramic
- 324 国画創作協会回顧展
Kokuga-Sosaku-Kyokai Retrospective
- 325 黒田アキ：廻廊＝メタモルフォーゼ
Aki Kuroda: Corridor = Metamorphosis
- 326 **工36** 現代の型染：くりかえすパターン
Contemporary Stencil Dyeing and Printing: The Repetition of Patterns
- 327 山本丘人展
Yamamoto Kyujin Retrospective

平成6年度 [1994]

- 328 木村忠太展
Chuta Kimura
- 329 **工37** イスラエルの工芸：アリックス・ド・ロスチャイルド財団のコレクションを中心にして
Israeli Contemporary Crafts: Featuring the Collection of the Alix de Rothschild Foundation
- 330 「絵画」の成熟 1930年代の日本画と洋画：写実の系譜 4
Master Paintings in Japan in the 1930s: Realistic Representation IV
- 331 **工38** 素材の領分
The Domain of the Medium: New Approaches to the Medium in Art, Craft, Design
- 332 日本の美：伝統と近代
The Traditional Beauty in Japanese Art
- 333 **工39** 現代の彫漆
Choshitsu (Carved Lacquer) Today
- 334 若林奮展：素描という出来事
Isamu Wakabayashi: Works on Paper
- 335 抽象表現主義 紙の上の冒険：メトロポリタン美術館所蔵
同時開催 アメリカ抽象表現主義の名作展：国内所蔵
Abstract Expressionism: Works on Paper—Selections from The Metropolitan Museum of Art
Abstract Expressionism: Masterpieces from Japanese Collections
- 336 **工40** 板谷波山展：珠玉の陶芸
Itaya Hazan Retrospective

平成7年度 [1995]

- 337 東京国立近代美術館と写真 1953-1995
Photography and The National Museum of Modern Art, Tokyo 1953-1995
- 338 **工41** コンテンポラリー・ジュエリー：日本の作家30人による
Contemporary Jewellery: Exploration by Thirty Japanese Artists

- 339 **工42** アール・デコのポスター
Art Deco Posters
- 340 辰野登恵子：1986-1995
Toeko Tatsuno 1986-1995
- 341 **工43** 生活のなかの工芸：1950-1960年代のモダン・クラフト
Crafts in Everyday Life in the 1950s and 1960s
- 342 絵画、唯一なるもの：現代美術への視点 4
Painting—Singular Object: A Perspective on Contemporary Art 4
- 343 ドナウの夢と追憶：ハンガリーの建築と応用美術
Panorama: Architecture and Applied Arts in Hungary 1896-1916
- 344 **工44** 現代世界のポスター：東京国立近代美術館所蔵品より
Contemporary Posters from Museum's Collection
- 345 石元泰博展：現在の記憶
Yasuhiro Ishimoto: Remembrance of Things Present
- 346 身体と表現1920-1980：ポンピドゥーセンター所蔵作品から
La Dimension du Corps 1920-1980

平成8年度[1996]

- 347 岸田劉生 作品と資料
同時開催 新収蔵作品展：日本画 油彩その他 水彩 素描 版画
彫刻 写真
Kishida Ryusei: Works and Archives from The Museum Collection
New Acquisitions: Japanese-style Paintings, Oil and Other Paintings, Watercolors,
Drawings, Prints, Sculptures, Photographs
- 348 交差するまなざし：ヨーロッパと近代日本の美術
東京国立近代美術館、国立西洋美術館所蔵作品による
The Crossing Visions: European and Modern Japanese Art: From The Collection
of The National Museum of Western Art & The National Museum of Modern
Art, Tokyo
- 349 **工45** 亀倉雄策のポスター：時代から時代へ 1953年-1996年の軌跡
Yusaku Kamekura Poster Exhibition
- 350 **工46** 磁器の表現：1990年代の展開
New Expression in Porcelain: Development in the 1990s
- 351 90年代の韓国美術から：等身大の物語
An Aspect of Korean Art in the 1990s
- 352 東松照明写真展：インターフェイス
Shomei Tomatsu: Interface
- 353 プロジェクト・フォー・サバイバル：1970年以降の現代美術再訪
プロジェクトティブ[意志的・投企的]な実践の再発見に向けて
Project for Survival
- 354 北脇昇展
Noboru Kitawaki: A Retrospective
- 355 **工47** 藤井達吉展：近代工芸の先駆者
Tatsukichi Fujii: A Pioneer in Modern Crafts
- 356 モダニズムの光跡：恩地孝四郎 椎原治 瑛九
Traces of Light in Modernism: Koshiro Onchi, Osamu Shiihara and Ei-kyu

平成9年度[1997]

- 357 萬鐵五郎展：絵画の大地を揺り動かした画家
Yorozu Tetsugoro Retrospective
- 358 モダンデザインの父 ウィリアム・モリス
William Morris
- 359 **工48** 福田繁雄のポスター：視覚の遊気
Posters of Fukuda Shigeo: An Artist of Visual Wit
- 360 アルフレッド・スティーグリッツと野島康三
Alfred Stieglitz and Yasuzo Nojima
- 361 土田麦僊展
Bakusen Tsuchida: A Retrospective
- 362 **工49** 増村益城展：漆の美・塗の造形
Masumura Mashiki: Intrinsic and Formal Beauty of Lacquer
- 363 村岡三郎展：熱の彫刻 物質と生命の根源を求めて
Saburo Muraoka: Salt, Heat, Oxygen
- 364 **工50** トーネ・ヴィーゲラン：ノルウェーの現代アートジュエリー
Tone Vigeland: Norwegian Art Jewelry
- 365 鉄斎とその師友たち：文人画の近代
Destination of Literary School Painting in Modern Ages: Tessai, His Teachers and Friends
- 366 距離の不在：写真の現在
The Absence of Distance: Photography Today
- 367 加山又造展
Matazo Kayama Exhibition

平成10年度[1998]

- 368 **工51** 竹内碧外展：木工芸・わざと風雅
Elegance of Woodwork: Art of Takeuchi Hekigai
- 369 所蔵作品による20世紀の“線描”：「生成」と「差異」
Making It Visible: Graphic Elements in 20th Century Art
- 370 **工52** 永井一正ポスター展[Life]
Posters of Kazumasa Nagai [Life]
- 371 土谷武展
Takeshi Tsuchitani: A Retrospective
- 372 **工53** 「かたち」の領分：機能美とその転生
The Domain of the Form: Functional Beauty and Its Transmigration
- 373 京都の工芸1910-1940：伝統と変革のはざまに
Crafts Reforming in Kyoto 1910-1940: A Struggle between Tradition and Renovation
- 374 大辻清司写真実験室
Kiyoji Ohtsuji Retrospective: Experimental Workshop of Photography
- 375 **工54** 鈴木治の陶芸：詩情のオブジェ
Ceramic Art of Suzuki Osamu: Poetry in Ceramic Works
- 376 鍋木清方展
Kaburaki Kiyokata: A Retrospective

平成11年度[1999]

- 377 **Ⅰ55** 本野東一の染色：自由への旗印
Motono Toichi: A Retrospective
- 378 横山操展
Misao Yokoyama: A Retrospective
- 379 **Ⅰ56** 田中一光ポスター展：伝統への接点
Beyond Tradition: An Exhibition of Ikko Tanaka's Posters
- 380 **Ⅰ57** 加藤土師萌展：近代陶芸の精華
Kato Hajime: The Quintessence of Modern Japanese Ceramic Art
- 381 石内都：モノクローム—時の器
Miyako Ishiuchi: Time Textured in Monochrome
- 382 顔：絵画を突き動かすもの
Visage: Painting and Human Face in 20th-century Art

平成12年度[2000]

- 383 **Ⅰ58** 杉浦非水展：都市生活のデザイナー
Hisui Sugiura: A Retrospective
- 384 **Ⅰ59** うつわをみる：暮らしに息づく工芸
"Utsuwa": Thoughts on Contemporary Vessels
- 385 トーマス・シュトゥルット：マイ・ポートレート
Thomas Struth: My Portrait
- 386 **Ⅰ60** ドイツ陶芸の100年：アール・ヌーヴォーから現代作家まで
Deutsche Keramik 1900-2000: Geschichte und Positionen des Jahrhunderts
- 387 美術館を読み解く：表慶館と現代の美術
Reading the Art Museum: Hyokeikan and Art of Today

平成13年度[2001]

- 388 **Ⅰ61** 1930年代日本の印刷デザイン：大衆社会における伝達
Japanese Posters and Handbills in the 1930s: Communication in Mass Society
- 389 **Ⅰ62** 現代の布：染と織の造形思考
Contemporary Textiles: Weaving and Dyeing: Ways of Formative Thinking
- 390 **Ⅰ63** 京都の工芸1945-2000
Crafts in Kyoto 1945-2000
- 391 未完の世紀：20世紀美術がのこすもの
The Unfinished Century: Legacies of 20th Century Art
- 392 カンディンスキー展
Kandinsky

平成14年度[2002]

- 393 サイト一場所と光景：写真の現在 2
[sáit] Site / Sight: Photography Today 2
- 394 **Ⅰ64** 森正洋：陶磁器デザインの革新
Masahiro Mori: A Reformer of Ceramic Design
- 395 小倉遊亀展
Yuki Ogura: A Retrospective
- 396 **Ⅰ65** 昭和の桃山復興：陶芸近代化の転換点
Modern Revival of Momoyama Ceramics: Turning Point toward Modernization of Ceramics

- 397 連続と侵犯：現代美術への視点 5
Continuity / Transgression: A Perspective on Contemporary Art 5
- 398 ヴォルフガング・ライブ展
Wolfgang Laib
- 399 **工66** [クッションから都市計画まで]ヘルマン・ムテジウスとドイツ工作連盟：ドイツ近代デザインの諸相
Hermann Muthesius und der Deutsche Werkbund: Modern Design in Deutschland, 1900-1927—Vom Sofakissen zum Städtebau
- 400 青木繁と近代日本のロマンティズム
Shigeru Aoki and Romanticism in Modern Japanese Art
- 401 **工67** 今日の人形芸術：^{おもい}想念の造形
Contemporary Dolls: Formative Art of Human Sentiment

平成 15 年度 [2003]

- 402 牛腸茂雄展
Shigeo Gocho: A Retrospective
- 403 **工68** オーストラリア現代工芸3人展：未知のかたちを求めて
Light Black: Three Contemporary Australian Craftpersons
- 404 地平線の夢：昭和10年代の幻想絵画
Dreams of the Horizon: Fantastic Paintings in Japan 1935-1945
- 405 **工69** 三代宮田藍堂展
Miyata Rando III: A Retrospective
- 406 野見山暁治展
Gyoji Nomiyama: A Retrospective
- 407 **工70** 現代の木工家具：スローライフの空間とデザイン
Contemporary Furniture and Woodworks in Japan
- 408 旅：「ここではないどこか」を生きるための10のレッスン
Traveling: Towards the Border
- 409 **工71** あかり：イサム・ノグチが作った光の彫刻
Akari: Light Sculpture by Isamu Noguchi
- 410 ヨハネス・イッテン：造形芸術への道
Johannes Itten: Wege zur Kunst
- 411 国吉康雄展：アメリカと日本、ふたつの世界のあいだで
Yasuo Kuniyoshi

平成 16 年度 [2004]

- 412 ブラジル：ボディ・ノスタルジア
Brazil: Body Nostalgia
- 413 琳派：Rimpa
Rimpa
- 414 **工72** 非情のオブジェ：現代工芸の11人
Cool & Light: New Spirit in Craft Making
- 415 木村伊兵衛展
Ihei Kimura: The Man with the Camera

- 416 草間彌生
Yayoi Kusama
- 417 **E73** 人間国宝の日常のうつわ：もう一つの富本憲吉
Daily Vessels by Kenkichi Tomimoto: The Master of Ceramic Art
- 418 痕跡：戦後美術における身体と思考
Traces: Body and Idea in Contemporary Art
- 419 **E74** 河野鷹思のグラフィックデザイン：都会とユーモア
Graphic Designs of Takashi Kono: Humor & City
- 420 ゴッホ展：孤高の画家の原風景 ファン・ゴッホ美術館
クレラー＝ミュラー 美術館所蔵
Van Gogh in Context: Collection from the Van Gogh Museum, Amsterdam and
the Kröller-Müller Museum, Otterlo

平成 17 年度 [2005]

- 421 **E75** 伊砂利彦：型染の美
Isa Toshihiko: Beauty of Stencil Dyeing
- 422 小林古径展
Kokei Kobayashi, 1883-1957
- 423 アジアのキュビズム：境界なき対話
Cubism in Asia: Unbounded Dialogues
- 424 **E76** 日本のアール・ヌーヴォー 1900-1923：工芸とデザインの新時代
Art Nouveau in Japan, 1900-1923: The New Age of Crafts and Design
- 425 ドイツ写真の現在：かわりゆく「現実」と向かいあうために
Zwischen Wirklichkeit und Bild: Positionen Deutscher Fotografie der Gegenwart
- 426 アウグスト・ザンダー展
August Sander: Face of Our Time
- 427 須田国太郎展
Suda Kunitaro
- 428 **E77** 渡辺力：リビング・デザインの革新
Riki Watanabe: Innovating in Modern Living
- 429 生誕120年 藤田嗣治展：パリを魅了した異邦人
Léonard Foujita

平成 18 年度 [2006]

- 430 生誕100年記念 吉原治良展
Jiro Yoshihara: A Centenary Retrospective
- 431 **E78** 人間国宝三輪壽雪の世界：萩焼の造形美
Jusetsu Miwa: A Retrospective
- 432 モダン・パラダイス：大原美術館＋東京国立近代美術館
東西名画の饗宴
Modern Paradise: Japanese and Western Masterpieces from Ohara Museum of Art
and The National Museum of Modern Art, Tokyo
- 433 **E79** ジュエリーの今：変貌のオブジェ
Transfiguration: Japanese Art Jewelry Today
- 434 臨界をめぐる6つの試論：写真の現在 3
Resolution / Dissolution: Photography Today 3

- 435 揺らぐ近代：日本画と洋画のはざまに
Modern Art in Wanderings: In between the Japanese- and Western-style Paintings
- 436 **工80** 人間国宝 松田権六の世界
Matsuda Gonroku: Master of Lacquer Art and Living National Treasure
- 437 都路華香展
Tsuji Kakō Exhibition
- 438 **工81** 柳宗理：生活のなかのデザイン
Sori Yanagi: Design in Everyday Life
- 439 **工82** 岡部嶺男展：青磁を極める
Mineo Okabe: A Retrospective
- 440 生誕100年 鬚光展
Ai-mitsu

平成19年度[2007]

- 441 アンリ・カルティエ＝ブレッソン：知られざる全貌
De Qui S'agit-il?: Rétrospective de Henri Cartier-Bresson
- 442 アンリ・ミショー：ひとのかたち
Henri Michaux: Emerging Figures
- 443 平山郁夫：祈りの旅路
Ikuko Hirayama: A Retrospective—Pilgrimage for Peace
- 444 **工83** 30年のあゆみ：開館30周年記念展 I
30 Years of The Crafts Gallery
- 445 日本彫刻の近代
Modern Age in Japanese Sculpture: From Its Beginnings through the 1960s
- 446 **工84** 工芸の力 21世紀の展望：開館30周年記念展 II
The Power of Crafts: Outlook for the 21st Century
- 447 わたしいまめまいしたわ：現代美術にみる自己と他者
Self / Other
- 448 生誕100年 東山魁夷展
Kaii Higashiyama: A Retrospective—Commemorating the 100th Anniversary of Artist's Birth

平成20年度[2008]

- 449 建築がうまれるとき：ペーター・メルクリと青木淳
Architectural Creation: Peter Märkli and Jun Aoki
- 450 **工85** カルロ・ザウリ展：イタリア現代陶芸の巨匠
Carlo Zauli: A Retrospective
- 451 エモーショナル・ドローイング：現代美術への視点 6
Emotional Drawing: A Perspective on Contemporary Art 6
- 452 **工86** かたちのエッセンス：平松保城のジュエリー
Yasuki Hiramatsu—Jewelry: The Essence of Form
- 453 **工87** 小松誠：デザイン＋ユーモア
Makoto Komatsu Exhibition: Design + Humour
- 454 沖縄・プリズム 1872-2008
Okinawa Prismed 1872-2008

- 455 高梨豊：光のフィールドノート
Yutaka Takanashi: Field Notes of Light
- 456 ヴィデオを待ちながら：映像，60年代から今日へ
Waiting for Video: Works from the 1960s to Today

平成21年度[2009]

- 457 ゴーギャン展
Paul Gauguin
- 458 **工88** 染野夫妻陶芸コレクション：リーチ 濱田 豊藏 壽雪
Bernard Leach, Hamada Shoji, Arakawa Toyozo and Miwa Jusetsu from Mr. and Mrs. Someno's Ceramics Collection
- 459 権鎮圭展
Kwon Jinkyu
- 460 河口龍夫展：言葉・時間・生命
Kawaguchi Tatsuo: Language, Time, Life
- 461 **工89** 装飾の力：現代工芸への視点
The Power of Decoration: A Viewpoint on Contemporary *Kôgei* (Studio Crafts)
- 462 ウィリアム・ケントリッジ 歩きながら歴史を考える：そしてドローイングは動き始めた...
William Kentridge — What We See & What We Know: Thinking about History while Walking, and Thus the Drawings Began to Move...
- 463 **工90** 早川良雄：“顔”と“形状”
Hayakawa Yoshio: “The Face” and “The Form”
- 464 生誕120年 小野竹喬展
Ono Chikkyo: 120 Years after His Birth

平成22年度[2010]

- 465 建築はどこにあるの？ 7つのインスタレーション
Where Is Architecture? Seven Installations by Japanese Architects
- 466 上村松園展
Uemura Shoen
- 467 **工91** 茶事をめぐって：現代工芸への視点
About the Tea Ceremony: A Viewpoint on Contemporary *Kôgei* (Studio Crafts) 2
- 468 鈴木清写真展：百の階梯、千の来歴
Suzuki Kiyoshi: Hundred Steps and Thousand Stories
- 469 麻生三郎展
Aso Saburo
- 470 「日本画」の前衛 1938-1949
The Avant-Garde of “Nihonga”
- 471 **工92** 柴木正敏のセラミック・デザイン：リズム&ウェーブ
Ceramic Design of Sakaegi Masatoshi: Rhythm and Waves
- 472 **工93** ガラス★高橋禎彦展
Takahashi Yoshihiko Goes to the Glass
- 473 生誕100年 岡本太郎展
Okamoto Taro: The 100th Anniversary of His Birth

- 474 **E94** 増田三男：清爽の彫金——そして、富本憲吉
Masuda Mitsuo's Bracing Metal Chasing; and Tomimoto Kenkichi
- 475 パウル・クレー—おわらないアトリエ
PAUL KLEE: Art in the Making 1883-1940
- 476 レオ・ルビンファイン 傷ついた街
Leo Rubinfien: Wounded Cities
- 477 イケムラレイコ うつりゆくもの
Leiko Ikemura: Transfiguration
- 478 **E95** ゲッテリーノ・トラモンティ展：イタリア・ファエンツァ
が育んだ色の魔術師
Guerrino Tramonti, the Magician of Color, Raised in Faenza, Italy, Exhibition
- 479 ヴァレリオ・オルジャティ展
Valerio Olgiati
- 480 ぬぐ絵画—日本のヌード 1880-1945
Undressing Paintings: Japanese Nudes 1880-1945
- 481 **E96** 原弘と東京国立近代美術館 デザインワークを通して見え
てくるもの
Hara Hiromu and The National Museum of Modern Art, Tokyo: What One
Discovers Through Design Work
- 482 **E97** 「織」を極める：人間国宝 北村武資
Kitamura Takeshi: Master of Contemporary Weaving
- 483 生誕100年 ジャクソン・ポロック展
JACKSON POLLOCK: A Centennial Retrospective

- 484 **E98** 越境する日本人—工芸家が夢みたアジア 1910s-1945
Japanese Crossing Borders: Asia as Dreamed by Craftspeople, 1910s-1945
- 485 写真の現在 4 そのときの光、そのさきの風
Photography Today 4 : in their persistent endeavors to meet the world
- 486 吉川霊華展 近代にうまれた線の探究者
Kikkawa Reika: An Explorer for Lines in Modern Times
- 487 14の夕べ
14 evenings
- 488 夏の家
MOMAT Pavilion designed and built by Studio Mumbai
- 489 **E99** 現代の座標—工芸をめぐる11の思考—
New Footing: Eleven Approaches to Contemporary Crafts
- 490 東京国立近代美術館60周年記念特別展 美術にぶるっ！ ベストセ
レクション 日本近代美術の100年
Art will Thrill You! Best Selection — 100 Years of Modern Japanese Art: In
celebration of the 60th anniversary of The National Museum of Modern Art, Tokyo
- 491 **E100** 東京オリンピック1964 デザインプロジェクト
Design Project for the Tokyo 1964 Olympic Games
- 492 フランシス・ベーコン展
Francis Bacon

平成25年度[2013]

- 493 プレイバック・アーティスト・トーク
Playback Artist Talks
- 494 竹内栖鳳展 近代日本画の巨人
Takeuchi Seiho
- 495 **E101** クローズアップ工芸
Close Up Crafts
- 496 **E102** 現代のプロダクトデザイン—Made in Japanを生む
PRODUCT DESIGN TODAY: Creating "Made in Japan"
- 497 ジョセフ・クーデルカ展
Josef Koudelka Retrospective
- 498 **E103** 日本伝統工芸展60回記念 工芸からKŌGEIへ
From Crafts to Kōgei In Commemoration of the 60th Japan Traditional Art Crafts Exhibition
- 499 あなたの肖像—工藤哲巳回顧展
Your Portrait: A Tetsumi Kudo Retrospective

平成26年度[2014]

- 500 映画をめぐる美術—マルセル・ブロータースから始める
Reading Cinema, Finding Words: Art after Marcel Broodthaers
- 501 現代美術のハードコアはじつは世界の宝である展 ヤゲオ財団コレクションより
Guess What? Hardcore Contemporary Art's Truly a World Treasure: Selected Works from YAGEO Foundation Collection
- 502 **E104** 青磁のいま—受け継がれた技と美 南宋から現代まで
Celadon Now: Techniques and Beauty Handed Down from Southern Sung to Today
- 503 菱田春草展
Hishida Shunso: A Retrospective
- 504 奈良原一高 王国
Narahara Ikko: Domains
- 505 高松次郎ミステリーズ
Takamatsu Jiro: Mysteries
- 506 **E105** 中村ミナトのジュエリー：四角・球・線・面
NAKAMURA Minato's Jewelry: Square, Globe, Line, Plane
- 507 **E106** 大阪万博1970 デザインプロジェクト
Osaka Expo '70 Design Project

平成27年度[2015]

- 508 生誕110年 片岡球子展
Kataoka Tamako: The 110th Anniversary of Her Birth
- 509 No Museum, No Life?—これからの美術館事典 国立美術館コレクションによる展覧会
No Museum, No Life?—Art-Museum Encyclopedia to Come From the Collections of the National Museums of Art
- 510 Re: play 1972/2015—「映像表現 '72」展、再演
Re: play 1972/2015 - Restaging "Expression in Film '72"

- 511 **E107** 栗木達介展—現代陶芸の鬼才
Kuriki Tatsusuke
- 512 **E108** ようこそ日本へ：1920-30年代のツーリズムとデザイン
Visit Japan: Tourism Promotion in the 1920s and 1930s
- 513 恩地孝四郎展
Onchi Koshiro
- 514 **E109** 芹沢銈介のいろは—金子量重コレクション
「Text」 tiles by SERIZAWA KEISUKE, from the Kaneko Kazushige Collection
- 515 安田鞞彦展
Yasuda Yukihiro: A Restrospective

平成28年度 [2016]

- 516 声ノマ 全身詩人、吉増剛造展
The Voice Between : The Art and Poetry of Yoshimasu Gozo
- 517 トーマス・ルフ展
Thomas Ruff
- 518 **E110** 革新の工芸—“伝統と前衛”、そして現代—
Craft Arts: Innovation of “Tradition and Avant-Garde,” and the Present Day
- 519 瑛九1935-1937 闇の中で「リアル」をさがす
Ei-Q 1935-1937: Seeking the “Real” in the Dark
- 520 endless 山田正亮の絵画
endless: The Paintings of Yamada Masaaki
- 521 **E111** マルセル・ブロイヤーの家具：Improvement for good
Marcel Breuer's Furniture: Improvement for good
- 522 茶碗の中の宇宙 樂家一子相伝の芸術
The Cosmos in a Tea Bowl: Transmitting a Secret Art Across Generations of the Raku Family

平成29年度 [2017]

- 523 日本の家 1945年以降の建築と暮らし
The Japanese House : Architecture and Life after 1945
- 524 **E112** 工芸館開館40周年記念特別展 陶匠 辻清明の世界—明るく寂びの美
The Crafts Gallery 40th Anniversary Exhibition Ceramic Artist TSUJI Seimei: The Beauty of *Akaru Sabi*
- 525 没後40年 熊谷守一 生きるよろこび
Kumagai Morikazu: The Joy of Life

平成30年度 [2018]

- 526 生誕150年 横山大観展
The 150th Anniversary of his Birth: Yokoyama Taikan
- 527 ゴードン・マッタ＝クラーク展
Gordon Matta-Clark: Mutation in Space
- 528 **E113** 日本・スウェーデン外交関係樹立150周年
インゲヤード・ローマン展
Sweden-Japan 150th Anniversary: Ingegerd Råman

- 529 アジアにめざめたら：アートが変わる、世界が変わる
1960-1990年代
Awakenings: Art in Society in Asia 1960s-1990s
- 530 **E114** イメージコレクター・杉浦非水展
Sugiura Hisui: Image Collector
- 531 **E115** The 備前一土と炎から生まれる造形美—
Bizen: From Earth and Fire, Exquisite Forms
- 532 福沢一郎展 このどうしようもない世界を笑いとばせ
Laugh Off This Hopeless World: Fukuzawa Ichiro

令和 **元** 年度 [2019]

- 533 高畑勲展—日本のアニメーションに遺したもの
Takahata Isao: A Legend in Japanese Animation
- 534 **E116** 竹工芸名品展：ニューヨークのアビー・コレクション—
メトロポリタン美術館所蔵
Japanese Bamboo Art from New York: The Abbey Collection
- 535 窓展：窓をめぐるアートと建築の旅
The Window: A Journey of Art and Architecture through Windows
- 536 鐺木清方 幻の《築地明石町》特別公開
Special Display of Rediscovered *Tsukiji Akashi-cho Town* of Kaburaki Kiyokata
- 537 ピーター・ドイグ展
Peter Doig

令和 **2** 年度 [2020]

- 538 **E117** 国立工芸館石川移転開館記念展 I
工の芸術—素材・わざ・風土
The First of the National Crafts Museum's Grand Opening Exhibitions: Japanese Crafts—Materials, Techniques and Regionalities
- 539 眠り展：アートと生きること ゴヤ、ルーベンスから塩田千春まで
Sleeping: Life with Art—From Goya and Rubens to Shiota Chiharu
- 540 **E118** 国立工芸館石川移転開館記念展 II
うちにこんなあったら展 気になるデザイン×工芸コレクション
The Second of the National Crafts Museum's Grand Opening Exhibitions:
I Wish I Had Something Like This in My House: A Collection of Intriguing Designs and Crafts
- 541 あやしい絵展
Ayashii: Decadent and Grotesque Images of Beauty in Modern Japanese Art

令和 **3** 年度 [2021]

- 542 **E119** 国立工芸館石川移転開館記念展 III
近代工芸と茶の湯のうつわ—四季のしつらい—
Modern Crafts and Tea Utensils: Furnishings in Each Season
—The Third of the National Crafts Museum's Grand Opening Exhibitions
- 543 隈研吾展 新しい公共性をつくるためのネコの5原則
Kuma Kengo: Five Purr-fect Points for a New Public Space
- 544 **E120** 国立工芸館石川移転開館1周年記念展
《十二の鷹》と明治の工芸—万博出品時代から今日まで
変わりゆく姿
*Twelve Hawks and Crafts in Modernizing Japan:
Changing Phases from the 1870s to the Present
In Celebration of the First Anniversary of the National Crafts Museum's Move*

- 545 柳宗悦没後60年記念展 民藝の100年
100 Years of Mingei: The Folk Crafts Movement
- 546 没後50年 鏑木清方展
Kaburaki Kiyokata: A Retrospective

令和 4 年度 [2022]

- 547 **E121** 未来へつなぐ陶芸—伝統工芸のチカラ展
Ceramics of the Past and of the Future: The Timelessness of Traditional Japanese Craft Arts
- 548 ゲルハルト・リヒター展
Gerhard Richter
- 549 大竹伸朗展
Shinro Ohtake
- 550 東京国立近代美術館70周年記念展 重要文化財の秘密
Secrets of National Important Cultural Properties: An Exhibition Celebrating the 70th Anniversary of The National Museum of Modern Art, Tokyo
- 551 **E122** ポケモン×工芸展—美とわざの大発見—
POKÉMON × KOGEI Playful Encounters of Pokémon and Japanese Craft

令和 5 年度 [2023]

- 552 ガウディとサグラダ・ファミリア展
Gaudí and the Sagrada Família
- 553 生誕120年 棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ
The Making of Munakata Shiko: Celebrating the 120th Anniversary of the Artist's Birth
- 554 **E123** 第38回国民文化祭
第23回全国障害者芸術・文化祭 いしかわ百万石文化祭 2023
「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川 —麗しき美の煌めき—」
The Imperial Household and Ishikawa: Brilliance of Elegant Beauty Masterpieces from The Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shōzōkan
As part of Ishikawa Hyakumangoku Cultural Festival 2023 (The 38th National Cultural Festival, The 23rd National Arts and Culture Festival for Persons with Disabilities)
- 555 **E124** 印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957–1979
Tectonic Shifts in Printing, Printmaking and Graphic Design 1957-1979
- 556 中平卓馬 火—氾濫
Nakahira Takuma: Burn—Overflow
- 557 **E125** 卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展
Shino Type by SUZUKI Osamu, a Living National Treasure: In commemoration of his ninetieth birthday

552 ガウディとサグラダ・ファミリア展

本展は、日本で圧倒的な知名度を誇る建築家ガウディの創造の原理を、サグラダ・ファミリア聖堂に焦点を絞ってわかりやすく紹介する初めての展覧会であり、ガウディの壮大な夢と物づくりの姿勢を深く理解する機会を提供した。とりわけ、最新のガウディ研究を踏まえてガウディの創造の源泉を「歴史」「自然」「幾何学」の中に探るとともに、そのデザイン原理や制作プロセスを詳細に解き明かして、19世紀後半から20世紀前半の時代背景の中にガウディの仕事を位置づけるとともに、これまでの「天才ガウディ」イメージを刷新することに成功した。肉眼では見ることでできない視点から聖堂の姿を捉える4K・ドローン映像やCG解説映像など新しい技術を駆使することで「建築展」の可能性を押し広げたことも成果のひとつである。日本人の彫刻家の参加や、日本の建築家への影響についても言及し、ガウディと日本との深い関係を示すことで日本とスペインの文化交流にも寄与する企画となった。

Gaudí and the Sagrada Família

This exhibition was the first to clearly illustrate the creative principles of architect Antoni Gaudí, who is tremendously well known in Japan, with a focus on the Sagrada Família, thereby providing an opportunity for a deeper understanding of his grand dreams and approach to making things. We explored the sources of Gaudí's creativity in "history," "nature," and "geometry" in light of the latest Gaudí research, revealing in detail his design principles and creative process. The show positioned his work in the historical context of the late nineteenth and early twentieth centuries and succeeded in renovating the conventional image of the "genius Gaudí." Another achievement of our project was to expand the possibilities of the "architecture exhibition" by making full use of new technologies, such as 4K drone videos that capture the cathedral from perspectives inaccessible to the naked eye, and computer-generated explanatory images. The exhibition also contributed to the cultural exchange between Japan and Spain by mentioning the participation of Japanese sculptor in this architectural project and its influence on Japanese architects, thus illustrating the deep relationship between Gaudí and Japan.

会期
令和5年6月13日～令和5年9月10日 (80日間)
会場
東京国立近代美術館 本館1階企画展ギャラリー
主催
東京国立近代美術館、NHK、 NHKプロモーション、東京新聞
共同企画
サグラダ・ファミリア贖罪聖堂建設 委員会財団
後援
スペイン大使館
協賛
SOMPOホールディングス、 DNP 大日本印刷、YKK AP
協力
イベルドローラ・リニューアブルズ・ ジャパン
学術監修
鳥居徳敏(神奈川大学名誉教授)
出品点数
125点
入場者数
279,985人(1日平均 3,500人)
新聞・雑誌等における掲載記事
pen 5月28日「完成までもう少し」大プロジェクトの秘密に迫る(青野尚子) サライ 6月10日「東京国立近代美術館『ガウディとサグラダ・ファミリア展』より 独創と革新の建築家(菅谷敦夫) ウェブ版美術手帖 6月13日「ガウディはいかにしてサグラダ・ファミリア聖堂をつくったのか。東京国立近代美術館でその創造の源泉をたどる」 Tokyo Art Beat 6月15日「ガウディを知る6つのトピックス:サグラダ・ファミリア聖堂建設の裏側にある知られざるストーリー(福島夏子) NHKニュースおはよう日本 6月25日「スペイン・サグラダ・ファミリア・141年目『未完の聖堂』平和へのメッセージ」 ニコニコ生放送 6月29日「東京国立近代美術館の『ガウディとサグラダ・ファミリア展』を巡ろう【ニコニコ美術館】」 Casa BRUTUS特別編集 ガウディと井上雄彦 6月30日「サグラダ・ファミリアの未来が見える展覧会。」(青野尚子) 新建築 7月1日「ガウディとサグラダ・ファミリア展 発見と試行の蓄積が生み出すもの」(平岩良之) ACROSS THE SKY 7月2日「スペインを代表する建築家、アントニ・ガウディ」 日本経済新聞(東京) 7月8日「創造の源泉と聖堂の軌跡 総合芸術家の綿密な制作道」(若本文枝) 読売新聞(朝刊) 7月12日「『未完の聖堂』世紀を超えた『協業』」(森田隆) 新建築 住宅特集 7月19日「ガウディとサグラダ・ファミリア展 起源(オリジン)から建ち上がる普遍性(原田真宏) 日曜美術館 7月23日「『神の建築家』アントニ・ガウディ～サグラダ・ファミリアへの軌跡～」 Numero TOKYO 7月28日「未来に届く方法(石川将也) anscape 8月1日「ガウディとサグラダ・ファミリア展(五十嵐太郎) anan web 8月6日「日本人彫刻家も活躍! 連日大盛況の『ガウディとサグラダ・ファミリア展』、見どころは?」(田代わこ) 美術展ナビ 8月13日「【監修者に聞く・前編】ガウディの非凡な創造性とは?『ガウディとサグラダ・ファミリア展』学術監修担当・鳥居徳敏さんが語るガウディの魅力」 産経新聞(東京) 8月16日「ガウディの源泉探る 完成近づくサグラダ・ファミリア聖堂」 東京新聞(東京) 8月21日「ガウディとサグラダ・ファミリア展と私①」(伊東豊雄) 朝日新聞(夕刊) 8月22日「思考と夢想 感じる奥深さと力」(大西若人) 毎日新聞(東京)夕刊 8月28日「ガウディの獨創性 多数の資料で紹介」(平林由果) 建築討論 9月4日「建築展評 10 ガウディとサグラダ・ファミリア展」(林誠)



撮影: 木奥恵三

会期
令和5年10月6日～令和5年12月3日 (52日間)
会場
東京国立近代美術館 本館1階企画展ギャラリー
主催
東京国立近代美術館、NHK、NHKプロモーション、東京新聞
特別協力
棟方志功記念館
協賛
DNP 大日本印刷
学術協力
石井頼子
出品点数
作品106点、書籍類105点、資料37点
入場者数
96,565人(1日平均 1,857人)
新聞・雑誌等における掲載記事
目の眼 5月15日 「棟方志功のデザイン もう一つの 職業の魅力」 ハルメク 7月10日 「一心に『板』を彫り続けた棟方 志功の軌跡」 和楽 9月1日 「生誕120年 今、再び、唯一無二の生 きざま、作品に心惹かれます 世界のムナカタ！」 日本経済新聞(東京) 9月16日 「世界のムナカタの 成り立ち 3つの土地、創作への影響を探る」(中野稔) 芸術家雑誌 9月25日 「生命誠摯刻畫的純與真」(呉 曉芳) 読売KODOMO新聞 9月28日 「板の命を彫り起こ した芸術家 棟方志功」 ウェブ版美術手帖 10月6日 「昭和の歴史と3つの拠 点から見る『世界のムナカタ』」『棟方志功展 メイキ ング・オブ・ムナカタ』でその膨大なクリエイション に出会う」(三澤凌) 日曜美術館 10月8日 「棟方志功 板の生命を活かす」 陸奥新報 10月8日 「日曜随想 アート悶々35 世 界のムナカタ」(塚本悦雄) 男子専科 10月10日 「紳士のためのお出かけエンタ テインメント『生誕120年 棟方志功展 メイキング・オブ ・ムナカタ』東京国立近代美術館で開催中」(岩崎由美) GOOD NEIGHBORS 10月18日 「生誕120年 棟方志 功展 メイキング・オブ・ムナカタ」 Japan Times 10月26日 「Energetic hero's journey of 'Japan' s van Gogh」(John L. Tran) 小説推理 10月27日 「芸術超人カタログ 棟方志功 展 メイキング・オブ・ムナカタ」(岡本奇太郎) Japan Forward 10月28日 「The Making of Munakata Shiko: The Man Behind the Masterpieces」(Jason Morgan) Esquire Digital 10月30日 「白洲式『見る眼の育て方』 第74話」(白洲信哉) 高知新聞 11月2日 「通底する理知的まなざし— 棟方志功展」(高見浩太郎) WEB太陽 11月2日 「生誕120年 棟方志功展 メイキ ング・オブ・ムナカタ」東京国立近代美術館」(坂本裕子) 料理王国 11月6日 「アートに触れる 新・芸術家 たちの食卓 『世界のムナカタ』と称賛された日本木 版画界の巨匠・棟方志功」(林綾野) 埼玉新聞 11月7日 「首都圏アートナビ 伝統と革 新呑み込む」(山田俊二) 東京新聞(東京) 11月14日 「杉全美帆子の読み解き アート 全てを『棟方ワールド』に」(杉全美帆子) 読売新聞(朝刊) 11月15日 「棟方志功 大回顧展 疎開先・富山に注目」(森田陸) MEER MAGAZINE 11月17日 「The magnificent world of Shiko Munakata」(Alma Reyes) 朝日新聞(夕刊) 11月28日 「美の歴史書 文字のと 絵の渦 広がる物語は」(松沢奈々子) ウェブ版美術手帖 12月24日 「有識者が選ぶ2023年 の展覧会ベスト3：石倉敏明(人類学者/秋田公立美術 大学准教授)」(石倉敏明)

553 生誕120年 棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ

ヴェネツィア・ビエンナーレのグランプリ受賞作家として、改めて棟方の世界的受容や業績を検証すると共に、木版画の代表作、肉筆襖絵、本の装丁、映像メディア、商業デザインまでを含む広範な分野を一堂に集めた大回顧展となった。富山、青森、東京を軸にした丹念な調査により、改めて棟方志功のローカルかつ国際的な活動を跡付け、日本の近代木版画の拡張と棟方のユニークで多面的な作品の魅力を紹介した。ほぼ門外不出とされている寺院蔵の肉筆襖絵や、約60年ぶりの公開となる3mの大型屏風など、希少性の高い鑑賞機会を提供し、インターネットでも会場画像が広く拡散された。一方、積極的に印刷物と版画の関係を紹介することで、従来の高齢層のみならず、すでに棟方を知らない若年層まで認知を広げることができ、回顧展としての役割を果たすことができた。青森・富山・東京の活動にフォーカスした充実した展覧会カタログを作成し、好評を得た。会期中、国際交流基金のキュレーター研修生や、ジャパン・ソサエティからも来訪があり、その他にも海外の著名なアーティストや美術館長が棟方展の会場写真をSNSに投稿するなど、再び棟方の国際的な評価を高める機会となった。専門家・一般鑑賞者、双方からこの展覧会が高い評価を得たことは成果である。

The Making of Munakata Shiko: Celebrating the 120th Anniversary of the Artist's Birth

In order to reexamine the reception in the world and achievements of the Venice Biennale Grand Prix-winning artist Munakata, this exhibition was a major retrospective that brought together works from a wide range of genres, including his representative woodblock prints, paintings on sliding doors, book bindings, visual media, and commercial design. Careful research in Toyama, Aomori, and Tokyo helped us retrace his local and international activities and illustrate his expansion of modern Japanese woodblock prints and the appeal of his distinctive and multifaceted works. The exhibition offered a rare opportunity to view his paintings on sliding doors used in temples, which have been almost completely kept out of public view, and his three-meter large folding screens, which were exhibited for the first time in about 60 years, and the images of the exhibition venue were widely spread on the Internet. By drawing attention to the relationship between printed matters and wood printing, the exhibition was able to serve as a retrospective, broadening awareness not only among the older generations but also among younger people who were unfamiliar with Munakata.



撮影：木奥恵三

会期
令和5年10月14日～令和5年11月26日 (43日間)
会場
[第1会場]石川県立美術館 [第2会場]国立工芸館
主催
石川県立美術館、国立工芸館、 いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、 宮内庁、文化庁、 独立行政法人国立文化財機構
共催
北國新聞社
特別協力
紡ぐプロジェクト、読売新聞社、 公益財団法人前田育徳会
後援
石川県教育委員会、富山県教育委員会、 福井県教育委員会、金沢市教育委員会、 NHK金沢放送局、MRO北陸放送、 石川テレビ放送、テレビ金沢 HAB北陸朝日放送
出品点数
116点
入場者数
46,234人(1日平均1,075人)
新聞・雑誌等における掲載記事
北國新聞 5月25日 「いしかわ百万石文化祭 皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川—麗しき美の煌めき—」 ART Agenda 7月11日 「いしかわ百万石文化祭 皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川—麗しき美の煌めき—」 FASHION PRESS 7月12日 「いしかわ百万石文化祭 皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川—麗しき美の煌めき—」 Smar 7月12日 「いしかわ百万石文化祭 皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川—麗しき美の煌めき—」 Outmost NAGOYA 7月21日 「いしかわ百万石文化祭 皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川—麗しき美の煌めき—」 芸芸術 No.355 8月1日 「いしかわ百万石文化祭 皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川—麗しき美の煌めき—」 新美術新聞 8月15日 「いしかわ百万石文化祭 皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川—麗しき美の煌めき—」 北國新聞 9月12日 「北國新聞政経懇話会 菅首相が講演 三の丸尚蔵館展に期待」 北陸中日新聞 9月14日 「いしかわ百万石文化祭 皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川—麗しき美の煌めき—」 Mom 10月1日 「いしかわ百万石文化祭 皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川—麗しき美の煌めき—」 小さき家 11月号 10月1日 「いしかわ百万石文化祭 皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川—麗しき美の煌めき—」 読売新聞 10月14日 「国宝含む絵画、工芸120点 きょう開幕」 読売新聞 10月14日 「工芸館の窓から 皇室と石川 ゆかりの名品」(北村仁美) 北國新聞 10月14日 「三の丸尚蔵館展 きょうから一般公開」 北陸中日新聞 10月14日 「皇室と石川 美のつながり きょう開幕」 読売新聞 10月15日 「芸術の祭典 開幕」(宮嶋聡) 北國新聞 10月16日 「進化し続ける石川楽しんで」(田中美里) 北陸放送 10月21日 「いしかわ百万石文化祭 皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川—麗しき美の煌めき—」 読売新聞 10月27日 「紡ぐプロジェクト 国宝「動輪絵巻」伊藤若冲」(前多武志) 北陸中日新聞 10月28日 「鈿欄豪華 石川県立美術館と国立工芸館で展覧会」(小室亜希子) NHK テレビ 日曜美術館 アートシーン 10月29日 「いしかわ百万石文化祭 皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川—麗しき美の煌めき—」 読売新聞 11月3日 「工芸館の窓から 深い青磁碗 優雅の極み(北村仁美)」 読売新聞 11月4日 「皇室の美 装束の質感 金属で追及」(細川晋太郎) 読売新聞 11月10日 「紡ぐプロジェクト 『鷲時絵巻』松田権六」(北村仁美) 北陸中日新聞 11月11日 「後半も見どころいっぱい」(田嶋豊) 北國新聞 11月12日 「日曜特番 三の丸尚蔵館展、名品が語るドラマ」(寺田展子) 読売新聞 11月17日 「紡ぐプロジェクト 国宝「春日権現験記絵」巻八高瀬隆家」(前多武志) 読売新聞 11月22日 「紡ぐプロジェクト 『鳳凰菊文様時鐘餅』島田住友(北村仁美)」 北國新聞 11月27日 「視点「文化立県に新たな息吹」(社会部長・吉免宏樹) 現代の眼638号 「青磁鳳雲文花瓶にみる諏訪蘇山の革新性と古典研究」(佐藤一信)

554 (工123) 第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭 いしかわ百万石文化祭 2023 「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川—麗しき美の煌めき—」

皇室ゆかりの美術工芸品などを収蔵・展示する皇居三の丸尚蔵館の収蔵品を通じて、皇室と石川とのつながりを紹介し、皇室文化に親しんでいただくことを主眼とした展覧会で、全5章で構成し、石川県立美術館では、旧加賀藩主前田家から皇室に献上された名品をはじめ、江戸から近代を中心に、県ゆかりの絵画や彫刻、書、刀剣を第1章～第3章で展示、国立工芸館では、明治時代以降の工芸を第4章と第5章で特集した。特に国立工芸館では、皇室に伝わった県ゆかりの工芸品が多数展示され、なかには献上されてから初めて制作地で公開された作品もあった。いまだ研究が進んでいない分野の名品・優品が公開され、明治期工芸の研究の広がりをもつて示すよい機会となった。

The Imperial Household and Ishikawa: Brilliance of Elegant Beauty—Masterpieces from The Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shōzōkan, as part of 2023 Ishikawa Hyakumangoku Cultural Festival (The 38th National Cultural Festival, The 23rd National Arts and Culture Festival for Persons with Disabilities)

The main purpose of this exhibition was to introduce the connection between the Imperial Family and Ishikawa through the collection of Sannomaru Shōzōkan, which houses and exhibits arts and crafts related to the Family, and to familiarize visitors with the Family's culture. The first three chapters of this five-chapter exhibition displayed at the Ishikawa Prefectural Museum of Art masterpieces presented to the Imperial Family by the Maeda family, Lord of the former domain of Kaga, and paintings, sculptures, calligraphy, and swords related to the prefecture, mainly from the Edo period (1600–1868) to the modern era. The last two chapters featured at the National Crafts Museum crafts from the Meiji period (1868–1912) onward. In particular, the Crafts Museum exhibited many works related to the prefecture that were brought to the Imperial Household, some of which were shown for the first time in the area of their production since their dedication to the Family. This exhibition provided a good opportunity to illustrate with specific works the expansion of the study of crafts in the Meiji era, as it presented masterpieces and excellent items in fields that have not yet been well-researched.



撮影：池田紀幸

会期
令和5年12月19日～令和6年3月3日 (58日間)
会場
国立工芸館
主催
国立工芸館、京都国立近代美術館
共催
北國新聞社
協力
国立アトリサーチセンター
出品点数
70点
入場者数
6,785人(1日平均 117人)
新聞・雑誌等における掲載記事
アートアジェンダ 10月10日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
Sfmarz 10月23日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
Fashion Press 10月26日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
ぜんび 11月15日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
北國新聞 11月28日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
北陸中日新聞 11月30日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
MOE 1月号 12月1日 「Exhibition 今月の展覧会」
北陸中日新聞 12月7日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
美術展ナビ 12月8日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
Tak 12月10日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
日経おとなのOFF 12月15日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
北陸放送 Ata 12月18日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
石川テレビ 石川さん Live News イット! 12月18日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
北國新聞 12月18日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
美術手帖 12月19日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
北國新聞 12月19日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
読売新聞 12月19日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
JDN 12月20日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
北陸中日新聞 12月21日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
個展ナビ 12月21日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
エフエム石川 PEOPLE&CITY 12月31日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
和楽2・3月号 1月1日 「ART EXHIBITION NAVI 全国主要美術館」
芸術新潮1月号 1月1日 「PICK UP MOVIE BOOK RECOMMEND EXHIBITION」
Penオンライン 1月17日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
アートコレクターズ1月号 1月25日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
装苑3月号 1月26日 「JAM News」
北國新聞 1月27日 「工芸館の窓から」(中尾優衣)
web太閤 1月29日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
ananweb 1月31日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
月刊プレーン2月号 2月1日 「クリエイティブニュース」
住む2024年冬号 2月1日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
北國新聞 2月8日 「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1978」
北國新聞 2月10日 「工芸館の窓から」(中尾優衣)
北陸中日新聞 2月18日 「版画とデザイン断層の関係性」(小室亜希子)
現代の眼638号 「断層」という見方が教えてくれたこと」(滝沢恭司)

555 (E124) 印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1979

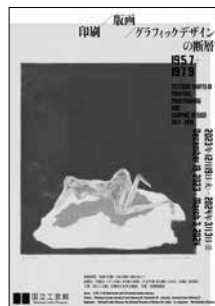
1957年から1979年まで世界各国から版画作品を集めた国際展として開催された「東京国際版画ビエンナーレ展」の出品作を中心に、国立美術館のコレクション70点で構成した展覧会。近接し重なり合いながらも決定的なズレのある「印刷」、「版画」、「グラフィックデザイン」の関係性を包括的に紹介するため、本展では「断層」というキーワードを提示した。多様な視覚表現のなかで版画とグラフィックデザインが交錯した東京国際版画ビエンナーレ展とその時代を広く紹介するとともに、過去に国立美術館で開催した展覧会の意義とその役割を自己検証的に見直す機会ともなった。また、東京国際版画ビエンナーレ展以降は一度も使用機会がなかった受賞作や、当時話題を呼んだ歴代の展覧会ポスターなど初めて展示する作品も含んでおり、所蔵館ならではの充実した内容を実現した。

なお本展は一部の作品を入れ替えて令和6年度に京都国立近代美術館へ巡回したが、当館では独自企画として「プレイバック1977年——工芸館の開館記念展」と題した特集展示をあわせて行い、同時代の工芸作品にも目を向けてもらう機会とした。

Tectonic Shifts in Printing, Printmaking and Graphic Design 1957-1979

This exhibition consisted of 70 works from the collection of the national museums of art, mainly those exhibited at the International Biennial Exhibition of Prints in Tokyo held from 1957 to 1979. In order to comprehensively showcase the relationship between “printing,” “printmaking,” and “graphic design,” areas that overlap in proximity but have definite discrepancies, the show proposed the keyword “tectonic shifts.” Since this exhibition broadly introduced, along with their era, the Biennials where printing and graphic design intersected in diverse visual expressions, it also provided an opportunity to review in a self-examining manner the significance and roles of the past exhibitions held at the national art museums. The show also included award-winning works that have never been shown since the Biennials, and works that were exhibited for the first time, such as the posters for previous Biennials that attracted much attention at the time, making it substantial in content that would have been possible only for museums with such collections. This exhibition traveled to the National Museum of Modern Art, Kyoto in fiscal 2024, with some of the works replaced.

Our museum also presented a special display titled *Playback 1977: A Commemorative Exhibition for the Opening of the Crafts Gallery* as its own project, providing an opportunity for visitors to look at crafts from the same period.



撮影：エス・アンド・ティフォート

会 期
令和6年2月6日～令和6年4月7日 (55日間、うち令和5年度49日間)
会 場
東京国立近代美術館 本館1階企画展ギャラリー
主 催
東京国立近代美術館、朝日新聞社
後 援
公益社団法人日本写真家協会
出品点数
206件、649点
入場者数
36,670人(うち令和5年度28,419人) (1日平均667人)
新聞・雑誌等における掲載記事
GQ JAPAN 2月1日 「今月のアートを深堀り 《中平卓馬ポートレイト》(鈴木芳雄)
東京人 2月3日 「中平卓馬の板をかつぐ、いまも『なぜ、植物図鑑か。』(中川道夫)
Casa BRUTUS 2月9日 「ホンマタカシが語る、伝説の写真家・中平卓馬。」
芸術新潮 2月25日 「中平卓馬のあるがままを凝視する 対談 増田玲×成相肇」
Aperture 2月28日 「Takuma Nakahira」
MON ONCLE 2月28日 「杉本博司さんと巡る『中平卓馬 火一氾濫』」
POPEYE 2月29日 「中平卓馬の言葉のフィルター」(村上由鶴)
日本経済新聞(東京) 3月2日 「事物を事物として写す 思考と実践の歩み 再検証」(岩本文枝)
&Premium 3月10日 「ラディカルな写真家 中平卓馬【河内タカの素顔の芸術家たち】(河内タカ)
朝日新聞(東京) 3月14日 「中平卓馬 火一氾濫 戦後写真を変えた『挑発』の軌跡」(増田玲、森山大道)
毎日新聞(東京)夕刊 3月18日 「写真家・中平卓馬展 変奏されるイメージ」(高橋咲子)
東京新聞(東京)夕刊 3月22日 「美術評『中平卓馬 火一氾濫』展 『本物』とは異なる芸術世界」(タカザワケンジ)
日曜美術館アートシーン 3月24日 「中平卓馬 火一氾濫」
芸術新潮 3月25日 「ぐるぐるキョロキョロ展覧会記 壁越しの反復 中平卓馬 火一氾濫」(小田原のどか)
artscape 3月25日 「artscapeレビュー 中平卓馬 火一氾濫」(飯沢耕太郎)
朝日新聞(東京)夕刊 3月26日 「視線 写真家の『自画像』写真を揺さぶる」(大西若人)
ENGINE 3月26日 「クルマ好きから見た中平卓馬の世界」(飯沢耕太郎)
ART COLLECTION+DESIGN 4月1日 「映像美術 撮影家中平卓馬的燦火與氾濫預言」(邱馨慧)
IMA ONLINE 4月2日 「中平卓馬が追求した写真の本質とは？ 東京国立近代美術館の展示が47まで」
ArtAsiaPacific 6月8日 「Control and Chaos in "Burn Overflow"」(Ivan Vartanian)

556 中平卓馬 火一氾濫

本展は、日本写真史における重要性に比べ、現存作品の少なさなどにより、これまで展覧会という形式では十分に検証されてこなかった写真家中平卓馬の没後初の回顧展として、その全体像を示すとともに、今後の中平研究に資する基盤の構築を目指した。

展示構成においては、とくに展覧会前半部において、当中平の主要な発表の場であった雑誌等に焦点を当て、時系列に沿って可能な限り網羅的に、実際の刊行物を展示することにより、時代背景を含めた提示を試みた。こうした構成は、展評等においても、あらためて中平の実像に迫るものとして評価を得るとともに、来館者によるSNSを通じた発信でも、多くが充実した展示として言及するなど話題を呼んだ。またカタログには雑誌等の展示物の多くを収録するとともに、館外の三名の専門家の寄稿を得、文献リスト等の資料編とあわせ、今後の中平研究の基礎的な資料となるべく内容の充実を図った。

くわえて、本展は当館が数次にわたって収集してきた中平作品を、構成上重要な位置づけを占める出品物として展示し、これまでの収集活動の成果を示す機会ともなった。

Nakahira Takuma: Burn—Overflow

Despite his importance in the history of Japanese photography, Nakahira Takuma has not been adequately examined in the form of exhibitions due to factors such as the paucity of his extant works. As the first retrospective after his death, this exhibition aimed to present an overall picture of his career and to build a foundation that will contribute to future research on him.

The first half of the exhibition focused on the publications that were his main venues of presentation at the time and attempted to provide a historical background by displaying the actual publications as comprehensively as possible in chronological order. This organization was highly evaluated in the exhibition reviews as a new approach to the real image of Nakahira, and many of the messages sent by visitors through social networking sites mentioned the exhibition as a substantial one. The accompanying catalogue includes many of the exhibited publications, as well as contributions from three experts from outside our museum, and together with the bibliography and other materials, we have enhanced its contents so that it will serve as a basic reference for future research on the photographer.

In addition, this exhibition featured Nakahira's works that have been acquired by our museum over several phases as important components of the exhibition, providing an opportunity to highlight our acquisition activities to date.



撮影：木奥恵三

会 期
令和6年3月19日～令和6年6月2日 (69日間、うち令和5年度12日間)
会 場
国立工芸館
主 催
国立工芸館、NHKエンタープライズ中部、 北國新聞社
出品点数
128点
入場者数
9,881人(うち令和5年度2,008人) (1日平均143人)
新聞・雑誌等における掲載記事
目の眼 2月15日 「卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展」 Fashion Press 2月9日 「卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展」 個展なび 3月6日 「卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展」 kyodo weekly 3月25日 「ART探訪」 美術の窓 4月号 4月20日 「展覧会PREVIEW」 新美術新聞 3月15日 「卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展」 懸賞なび 5月1日 「卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展」 NHK総合(東海北陸)さらさらサラダ 3月3日 「卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展」 北陸朝日放送 ふむふむ 3月19日 「卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展」 北國新聞 3月15日 「卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展」 朝日新聞 3月21日 「金沢で鈴木藏さん卒寿展」 ギャラリー 3月1日 Museum「卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展」 目の眼 3月15日 「INFORMATION 情報 EXHIBITION 3/16-4/14美術館&博物館」 教育家家庭新聞 3月18日 「人間国宝・鈴木藏の卒寿を記念する展覧会 国立工芸館」 サライ 5月号 4月5日 「卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展」 Takt No.293 4月10日 「伝統工芸を革新した人間国宝」 聖教新聞(日刊) 4月5日 「情報プラザ(鈴木藏の志野展 6/2まで)」 月刊茶道誌 淡交 5月号 5月1日 「卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展」 炎芸術No158 2024夏 5月1日 「展覧会スポットライト『卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展』(唐澤昌宏)」 月刊アートコレクターズ5月号 5月25日 「卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展」 エフエム石川 people & city I love kanazawa 4月21日 「卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展」 MROラジオ グッデイ金沢 4月11日 「卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展」 陶業時報 第1935号 4月1日 「卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展 国立工芸館」 ひととき 2024.4月号 3月20日 「美 Art & ENTERTAINMENT」 NHKテレ 日曜美術館アートシーン 5月19日 「卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展」 読売新聞 5月11日 「工芸館の窓から『人間国宝 探求と挑戦の軌跡』(田中真希代)」 東京新聞 5月7日 「卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展」 東京新聞 5月14日 「卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展」 北陸中日新聞 5月19日 「人間国宝60年の歩み 卒寿記念 鈴木藏の志野展 国立工芸館」 芸術新潮 4月1日 「PICK UP MOVIE BOOK RECOMMEND EXHIBITION」 日本経済新聞(夕刊) 4月22日 「語る 鈴木藏さん『志野』を革新、現代に生かす」 新美術新聞 5月1日 「全国ガイド(6)」 現代の眼638号 「鈴木藏—昭和から令和へ、転生する志野」(正村美里)

557 (工125) 卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展

重要無形文化財「志野」の保持者・鈴木藏(1934-)は、薪窯でしか焼けないとされていた「志野」にガス窯で挑戦し、自然への畏敬の念を重んじつつ「新しく、力強いもの」という造形思考を貫く中で、独自の美意識を映し出した作陶スタイルを確立した。本展は、鈴木藏の卒寿を記念して企画。展覧会では、初期から最新作までを器形やテーマに分けて4章立てで紹介し、各章には1つのコラムを設けて、素材や道具、特徴的な取り組みに加え、制作の拠り所となった安土・桃山時代の優品や、鈴木藏の陶芸観を受け継ぐ長男・徹、三男・健の作品もあわせて展示した。カタログにおいては、取材時に撮影した作陶や窯焚きの様子に加えて、これまでの志野研究の足跡を示すテストピースや箱書の変遷なども掲載して、作品や文章だけでは伝えられない鈴木藏の制作に対する姿勢や考え方を視覚的に紹介し、陶芸家・鈴木藏を読み解くことができる内容とした。

Shino Type by SUZUKI Osamu, a Living National Treasure: In commemoration of his ninetieth birthday

SUZUKI Osamu (1934-), a holder of Important Intangible Cultural Property in the field of *shino* ware, ventured to use gas kilns for this type of pottery, which was thought to be fired only in wood-fired kilns. While maintaining a reverence for nature, he has developed a style that reflects his unique aesthetic sensibility through his belief in creating “something new and powerful.” This exhibition commemorated his 90th birthday. It presented his works spanning his entire career, divided into four chapters based on shapes and themes. Each chapter had one special section, which displayed not only his materials, tools, and characteristic approaches, but also masterpieces from the Azuchi-Momoyama era (1568–1600), on which the artisan based his work, as well as works by his eldest son, Tetsu, and third son, Takeshi, who have inherited Osamu's views on ceramics. In addition to photographs of his pottery making and kiln firing, the exhibition catalogue also includes experimental works that show the history of his *shino* research, as well as the evolution of his autographs on boxes containing his works to visually introduce his attitude and ideas toward his work, which cannot be conveyed through works and writings alone, and to provide readers with a better understanding of the ceramic artist.



新聞・雑誌等における掲載記事

読売新聞 4月9日 都内版「近代美術の眼 太田聰雨：星をみる女性」(鶴見香織)
美術の窓 4月20日 「近代に受け継がれた野菜・果物への情熱」(古田亮)
和楽6・7月号 5月1日 「マティスの名画が見られる美術館16」(山本毅)
Padograph 5月8日 「所蔵作品展 MOMATコレクション」(編集部)
Art Guide TOKYO 5月8日 「所蔵作品展 MOMATコレクション」(編集部)
読売新聞 5月13日 都内版「近代美術の眼 佐藤玄々：動」(成相肇)
読売新聞 6月10日 都内版「近代美術の眼 大辻清司：破りすてたあとで拾った大事なデータのある封筒」(増田玲)
読売新聞 7月8日 都内版「近代美術の眼 田中敦子：作品66-SA」(小林紗由里)
東京新聞 7月15日 「カジュアル美術館 池田蕉園(かえり路)」(林朋美)
Tokyo Art Beat 8月18日 「関東大震災を知るための展覧会11選 未曾有の巨大災害から学ぶ」(浅見悠吾)
Sfumart 8月25日 「美術館を家族で楽しむ特別な日「Family Day こどもまっと」開催！」(谷部文香)
毎日新聞 8月28日 「ART 模写して語らう関東大震災」(高橋咲子)
美術展ナビ 8月30日 「関東大震災から100年の小特集 東京国立近代美術館で9月10日まで」
読売新聞 9月9日 都内版「近代美術の眼 十亀広太郎：御茶之水ニコライ堂」(横山由季子)
民主青年新聞 9月18日 「美術館を楽しもう」(今井千尋)
美術の窓 9月20日 「十亀広太郎」(横山由季子)
文藝ニュース 9月25日 「“ジェンダー”を考える東近美で小企画 女性と抽象」(編集部)
Padograph 10月6日 「所蔵作品展 MOMATコレクション」(編集部)
Padograph 10月6日 「女性と抽象」(編集部)
YAHOO!ニュース 10月6日 「【2023年10月第1週】今週末見たい展覧会5選。「女性と抽象」から高田冬彦まで」(編集部)
読売新聞 10月14日 都内版「近代美術の眼 福島秀子：凝視」(小川綾子)
Tokyo Art Beat 10月27日 「東京国立近代美術館はなぜ「女性と抽象」展を開催するのか。コレクションにおける女性の作家の再発見とジェンダーバランスについて担当者に聞く」(福島夏子)
銀座室礼 10月5日 「今こそ訪ねたい極上の美術館」 東京国立近代美術館(植田伊津子)
FUDGE Vol.245 11月10日 「DROW IN ART Exhibition1 女性と抽象」(西山夏海)

1-4 令和5年度所蔵作品展「MOMATコレクション」記録 The MOMAT Collection, 2023

1-4-1 本館

所蔵作品展は12の部屋とギャラリー 4からなり、緩やかに近代美術の流れを見せながら、各室毎にテーマを設定する構成としている。また、時宜に応じてさまざまな小特集を行い、つねに新しい美術の楽しみ方を提案するよう努めている。

5月からの会期では、関東大震災から100年という節目の年に、「1923年の美術」「被災と復興」「社会のひずみ」と題して、関東大震災の前後に制作された作品や、震災後の社会の変化を反映したプロレタリア美術運動の作品を集めた3部屋に及ぶ展示を企画し、アーティストの瀬尾夏美を招いたイベントも実施して、より多角的な鑑賞のあり方を提案した。また、大辻清司の生誕100年を記念して、こちらも3部屋を使って「実験と共同」、「具体と物質」、「上原2丁目」という3つの視点から、大辻の多岐にわたる仕事を紹介した。

9月からの会期では、飛行機の登場が20世紀の美術にもたらした視点や、飛行機と戦争とのかわりを検証した「飛行機、戦争、美術」や、新たに収蔵した遠藤麻衣×百瀬文の《Love Condition》のお披露目のための企画「想像/創造する「からだ」」、同じく新収蔵の風間サチコ《セメント・モリ》を中心に、自然のエコロジーと人間のエゴに迫った企画「エゴとエコ」など、ユニークな企画が実現した。

1月からの会期では、岸田劉生の娘である麗子の生誕110年を記念して、劉生と麗子の作品や貴重な資料を展示した。また、親密な情景を描いた作品を集めた「アンティミテ」と題した部屋では、有馬さとえ(三斗枝)や甲斐仁代、森田元子ら女性の洋画家の作品を取り上げた。他方、国立工芸館の金子量重コレクションより、芹沢銈介の型染カレンダーを中心に、幅広い仕事を紹介する部屋も設けた。恒例の「美術館の春まつり」では、桜にちなんだ屏風とともに、辻永や斎藤豊作ら洋画家が花木を描いた作品、日高理恵子の大作《樹を見上げてVII》も併せて展示した。

時代を超えたテーマを扱うギャラリー 4では、9月からの会期で、「女性と抽象」と題して、戦後から現代にかけての日本の女性アーティストによる抽象表現を紹介する企画を実施し、企画の背景や趣旨が多くのメディアに取り上げられ、大きな反響を得た。また、1月からの会期では、新たに収蔵したフランスの女性彫刻家ジェルメーン・リシエの《蟻》を中心に、リシエが影響を受けたロダンやブルデルらフランスの彫刻家、リシエと同時期にブルデルに学んだ日本人彫刻家の作品、また《蟻》の造形やテーマとつながりのある作品などをあわせて展示した。

◆令和5年3月17日～令和5年5月14日(54日間、うち令和5年度40日間)
出品点数(小企画以外)：作品187点、資料22点
コレクションによる小企画：修復の秘密(令和5年3月17日～令和5年5月14日)
出品点数：作品18点、資料1点
総出品点数：228点(作品205点、資料23点)
入場者数：95,154人(うち、令和5年度73,700人)

◆令和5年5月23日～令和5年9月10日(99日間)
出品点数：作品326点(うち重要文化財3点)、資料22点
総出品点数：348点(作品326点、資料22点)
入場者数：110,222人

読売新聞 11月11日 都内版「近代美術の眼 杉浦邦恵：Botanicus 18」(堀田文)

日本経済新聞 11月12日 「The Style/ Art 森鷗外」(吉田俊宏)

LIVING東京 11月15日 「女性と抽象 想像/創造するからだ@東京国立近代美術館12月3日まで」(編集部)

文化放送 11月27日 「西川あやの おいでよ！クリエイティ部山内マリコ月曜日のつぶやき「女性アーティストの抽象アート」を展示」

文化生活 12月 「特集 魅力再発見！美人画だけじゃない伊東深水」

Discuss Japan 12月5日 Why is the National Museum of Modern Art, Tokyo holding the exhibition "Woman and Abstraction"? (Natsuko Fukushima)

Tokyo Art Beat 「Tokyo Art Beat座談会2023 アート界ゆく年くる年前半part1」 1月4日 (福島夏子)

毎日新聞 1月29日 「生き続ける野見山 暁治さんの創作」(高橋咲子)

Walkerplus 2月5日 「MOMAT コレクション」(編集部)

Walkerplus 2月5日 「新収蔵&特別公開 | ジェルメーヌ・リシエ《蟻》」(編集部)

Art Guide Tokyo 2月5日 所蔵作品展 MOMATコレクション(2024.1.23-4.7) (編集部)

読売新聞 2月10日 都内版「近代美術の眼 山村豊成(耕花)：「梨園の華」より十三世守田勘彌のジャン・バルジャン」(森卓也)

日経REVIVE 2月25日 「片桐仁さんの「アート」GOOD LIFE 視野が広がり新たな発見も | 美術館へ行こう | (澤村恵)

朝日新聞夕刊 2月27日 「麗子と劉生、父と娘がつむぐ世界 麗子の生誕110年、作品展」(神宮桃子、大西若人)

読売新聞 3月9日 都内版「近代美術の眼 高梨豊：「町」より本郷 文京区本郷四ノ三十五ノ四 うさぎや」(松田貴子)

展示学 第67号 3月15日 「女性と抽象」(編集部)

日本経済新聞 3月19日 美の十選「画家の自画像 藤田嗣治《自画像》」(布施英利)

読売新聞 3月22日 「TOKYOウィーク エンド イベント情報」(編集部)

おとな旅プレミアム東京 3月31日 「東京国立近代美術館」(編集部)

◆令和5年9月20日～令和5年12月3日(65日間)
 出品点数(小企画以外)：作品220点(うち重要文化財2点)、資料19点
 コレクションによる小企画：女性と抽象(令和5年9月20日～令和5年12月3日)

出品点数：作品25点、資料5点
 総出品点数：269点(作品245点、資料24点)
 入場者数： 64,094人

◆令和6年1月23日～令和6年4月7日(97日間、うち令和5年度90日間)
 出品点数(小企画以外)：作品319点(うち重要文化財5点)、資料31点
 コレクションによる小企画：新収蔵&特別公開 | ジェルメーヌ・リシエ《蟻》(令和6年1月23日～令和6年4月7日)

出品点数：作品29点
 総出品点数：379点(作品348点、資料31点)
 入場者数： 47,632人(うち、令和5年度38,596人)



撮影：大谷一郎

The MOMAT Collection

Consisting of twelve rooms and Gallery 4, the collection exhibition had themes for the respective rooms while loosely illustrating the historical trends of modern art. In addition, we always tried to propose new ways of appreciating art by giving small exhibitions on timely topics.

During the period starting in May, we organized a three-room show titled *Art of 1923, Devastation and Recovery*, and *Social Distortion* to commemorate the 100th anniversary of the Great Kanto Earthquake, presenting works created before and after the disaster, as well as works from the proletarian art movement that reflect social changes after the tragedy. The project also included an event featuring artist Seo Natsumi to offer a more multifaceted way of viewing art. In addition, in celebration of the 100th anniversary of Otsuji Kiyoji's birth, his diverse work was presented in three rooms from three different perspectives: *Experiments and Collaborations*, *Gutai and Matter*, and *2-chome Uehara*.

The following original projects were realized during the period starting in September: *Airplanes, War, and Art*, which examined the perspective that the advent of airplanes brought to 20th-century art and the relationship of airplanes with war; *Imagining/Creating the Body*, a program to unveil Endo Mai × Momose Aya's *Love Condition*, newly acquired by the museum; and *Ego and Ecology*, a project that explored the ecology of nature and the human ego, centered on the newly acquired *Cement Mori* by Kazama Sachiko.

During the period beginning in January, the 110th anniversary of the birth of Kishida Ryusei's daughter, Reiko, was commemorated with a display of works and valuable materials by the two artists. The room titled *Intimite* featured works by female Western-style painters such as Arima Satoe, Kai Hitoyo, and Morita Motoko depicting intimate scenes. We also introduced a wide range of works from the National Crafts Museum's Kaneko Kazushige Collection, centered on Serizawa Keisuke's stencil-dyed calendars. The annual *Spring Festival* featured cherry-blossom-inspired folding screens, as well as paintings of flowers and trees by Western-style painters such as Tsuji Hisashi and Saito Toyosaku, and Hidaka Rieko's large work *Looking Up the Trees VII*.

Gallery 4, which deals with timeless themes, presented an exhibition titled *Women and Abstraction* during the period starting in September, introducing abstract expressions by Japanese women artists from the postwar period to the present day. The background and purpose of the project was covered by many media and received a great response. Starting in January, the gallery featured the newly acquired *The Ant* by French female sculptor Germaine Richier, works by French sculptors such as Auguste Rodin and Antoine Bourdelle who were her influences, those by Japanese sculptors who studied with Bourdelle during the same period, and works connected to the style and theme of *The Ant*.



撮影：大谷一郎

◆March 17–May 14, 2023 (54 days of which 40 days were in fiscal 2023)

Number of the exhibits: 187 works and 22 materials

MOMAT Focus: *Secrets of Restoration*

Number of the exhibits: 18 works and 1 material

Total number of the exhibits: 228 (205 works and 23 materials)

Number of visitors: 95,154 (73,700 in fiscal 2023)

◆May 23–September 10, 2023 (99 days)

Number of the exhibits: 326 works including 3 National Important Properties and 22 materials

Total number of the exhibits: 348 works and 22 materials

Number of visitors: 100,222

◆September 20–December 3, 2023 (65 days)

Number of the exhibits: 220 works including 2 National Important Properties and 19 materials

MOMAT Focus: *Women and Abstraction*

Number of the exhibits: 25 works and 5 materials

Total number of the exhibits: 269 (245 works and 24 materials)

Number of visitors: 64,094

◆January 23–April 7, 2024 (97 of which 90 days were in fiscal 2023)

Number of the exhibits: 319 including 5 National Important Properties and 31 materials

MOMAT Focus: *Germaine Richier, The Ant, A New Acquisition & A Special Display*

Number of the exhibits: 29 works

Total number of the exhibits: 379 (348 works and 31 materials)

Number of visitors: 47,632 (38,396 in fiscal 2023)

新聞・雑誌等における掲載記事

◆令和5年7月7日～令和5年9月24日(69日間)
 「所蔵作品展 水のいろ、水のかたち展」
 北陸中日新聞 6月15日 「水のいろ、水のかたち展」
 日経おとなのOFF 絶対行くべき2023アート旅 6月28日 「水のいろ、水のかたち展」
 いけ花 龍生 7月1日 「水のいろ、水のかたち展」
 茶の湯 7月1日 「水のいろ、水のかたち展」
 テレビ金沢 となりのテレ金ちゃん 7月6日 「水のいろ、水のかたち展」
 HAB ふむふむ7月6日 「水のいろ、水のかたち展」
 読売新聞 7月7日 『「水」テーマに作品107点 国立工芸館で企画展』
 北國新聞 7月7日 「水テーマの作品展 7日から国立工芸館」
 石川テレビ 石川さんnews イット! 7月7日 「水のいろ、水のかたち展」
 朝日新聞 7月9日 「水のかたち 無限の表現 国立工芸館で企画展」
 読売新聞 7月14日 「工芸館の窓から」(小島美里)
 教育家庭新聞 7月17日 「水のいろ、水のかたち展」
 美術の窓 7月号 7月20日 「水のいろ、水のかたち展」
 月刊アートコレクターズ 7月号 7月25日 「水のいろ、水のかたち展」
 NHKEテレ 日曜美術館アートシーン 7月30日 「水のいろ、水のかたち展」
 BRAIN 8月号 8月1日 「水のいろ、水のかたち展」
 陶業時報 8月1日 「水のいろ、水のかたち展」
 MRO北陸放送 グッディ金沢 8月3日 「水のいろ、水のかたち展」
 しんぶん赤旗 8月4日 「水のいろ、水のかたち展」
 北國新聞 8月6日 「水展、こども・ファストトラック」
 読売新聞 8月11日 「工芸館の窓から」(今井陽子)
 北國新聞 8月12日 『「こどもファスト・トラック」あす初実施、国立工芸館』
 北陸中日新聞 8月12日 「涼しげな色、形 水テーマの作品展 国立工芸館」(松岡等)
 美術の窓 8月号 8月20日 「水のいろ、水のかたち展」
 BM Vo.62 SUMMER 8月20日 「水のいろ、水のかたち展」
 読売新聞 9月9日 「工芸館の窓から」(中川智絵)
 読売新聞 9月13日 「水のいろ、水のかたち展」
 美術の窓 9月号 9月20日 「水のいろ、水のかたち展」
 NHKEテレ キュレーターバトル 9月21日 「水のいろ、水のかたち展」
 現代の眼638号 『「水のいろ、水のかたち」の豊富なバリエーション」(土屋りり子)

1-4-2 国立工芸館

「水のいろ、水のかたち展」

「水」をテーマに、工芸・デザイン作品に表現された水や、水を入れる器の形に注目して国立工芸館の所蔵品を中心に紹介した展覧会。私たちの生活に欠かすことの出来ない「水」は、決まった形も色もないが、それでも水は古来より海や川を始め様々な形や色で描かれ、工芸作品においても多くの作家に着想を与え、様々な形や色、技で表現されてきた。そのとらえどころのないものだからこそ、作家の観察眼によって個性が表れる水を表現した作品を展示した。また水差や花器など水を入れるための容器も展示することで、工芸と水との深い関係性を示した。作品リストを兼ねたリーフレットを無料配布し帰宅後も作品を楽しめる環境を整えた。

◆令和5年7月7日～令和5年9月24日(69日間)

所蔵作品展 水のいろ、水のかたち展

出品点数：107点

入場者数：15,926人

Water in Crafts and Design: Color, Form, and Texture

With the theme of “water,” this exhibition presented works primarily from the collection of the National Crafts Museum, focusing on water depicted in crafts and design, and shapes of water containers. While we cannot live without water, it has no specific shape or color. Nevertheless, water, the sea, and rivers have been depicted in various colors and shapes from ancient times. Water has also inspired many craftspeople and has been expressed using various forms, colors, and techniques. Because water is elusive, each artist’s individuality is expressed depending on his or her own observations. The exhibits included water containers, such as jugs and vases, to illustrate the deep relationship between crafts and water. Free leaflets which serve as a list of works were distributed to visitors enabling them to enjoy them after they returned home.

◆ July 7–September 24, 2023 (69 days)

Water in Crafts and Design: Color, Form, and Texture: A Collection Exhibition

Number of the exhibits: 107

Number of visitors: 15,926



撮影：石川幸史

平成18年12月から、本館・工芸館の所蔵作品展を1年間、何度でも観覧できる「MOMATパスポート」の販売を開始した。MOMATパスポートは前年度比約119%の販売となった(令和5年度1,658枚/令和4年度1,387枚)。

MOMAT Passport

The MOMAT Passport was launched in December 2006. The passport allows the holder to visit the Museum Collection exhibitions in the Main Building and Crafts Gallery as often as desired during a 12-month period. In this fiscal year, MOMAT passports sold about 119% of the previous year (1,658 in 2023 / 1,387 in 2022).

会期
令和5年7月22日～9月18日(51日間)
会場
熊本県立美術館
主催
熊本県立美術館(熊本県教育委員会)、 TKUテレビ熊本、東京国立近代美術館
特別協賛
明治アニマルヘルス株式会社
協力
高松市美術館
後援
熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、 熊本日日新聞社、J:COM熊本、 エフエム熊本、FM791
出品点数
76点
入場者数
7,656人(1日平均 150人)
会期
令和5年9月30日～11月19日(44日間)
会場
高松市美術館
主催
高松市美術館、東京国立近代美術館
共催
四国新聞社
協力
熊本県立美術館
出品点数
78点
入場者数
6,662人(1日平均 151人)
新聞・雑誌等における掲載記事
熊本日日新聞 7月23日 「日本と西洋 近現代の名作」(澤本麻里子)
熊本日日新聞 8月12日 「射程 フジタの戦争画」(藤本英行)
熊本日日新聞 8月15日 「戦争の影まとう名画たち」(浪床敦子)
読売新聞(九州版) 8月19日 「20世紀美術 表現を追求」(白石知子)
熊本日日新聞 8月21日 「近現代美術の魅力 対談」(澤本麻里子)
毎日新聞(九州版) 9月8日 「時代と格闘 表現に革新」(渡辺亮一)
四国新聞 9月21日 「近代から現代へ 変貌するアートの軌跡」(無署名)
四国新聞 10月1日 「高松市美術館「20世紀美術の冒険者たち」日本美術の変遷たどる」(無署名)
四国新聞 10月6日 「「20世紀美術の冒険者たち」列品解説(上)岸田劉生「麗子肖像(麗子五歳之像)」(牧野裕二)
四国新聞 10月13日 「「20世紀美術の冒険者たち」列品解説(中)アンリ・ルソー「第22回アンデパンタン展に参加するよう芸術家達を導く自由の女神」(牧野裕二)
四国新聞 10月20日 「「20世紀美術の冒険者たち」列品解説(下)北脇昇「クオ・ヴァディス」(牧野裕二)
四国新聞 11月9日 「対話を通して絵画理解」(無署名)

1-5 東京国立近代美術館・国立工芸館所蔵作品巡回展等

1-5-1 本館

2023年度国立美術館巡回展 20世紀美術の冒険者たち
—名作でたどる日本と西洋のアート

本展は、当館、熊本県立美術館、高松市美術館の3館のコレクションを通じて、明治から昭和(1960年代)に至る日本近現代美術の流れを、西洋の動向も交えながら概観する構成の展示となった。展示作品は当館のコレクションを中心に構成されたが、熊本会場で和田三造《南風》や萬鉄五郎《裸体美人》など、重要文化財に指定されている大作を披露する貴重な機会となった。とりわけ、藤田嗣治による戦争記録画《アッツ島玉砕》の反響は大きく、『熊本日日新聞』(8月15日)、『読売新聞』(九州版、8月19日)でも大きく取り上げられた。また、巡回展では初めての試みとして、当館の教育普及担当者による対話型鑑賞が、それぞれの開催地およびオンラインで実施された。コレクションを多様な視点から理解する取り組みとして参加者から好評を得ると同時に、対話型鑑賞の専門的な技術を巡回先の教育普及担当者と共にできたことも特筆すべき成果である。

Adventures of Art in the 20th century: Appreciating Japanese and Western Artworks Through Masterpieces

This exhibition presented an overview of modern and contemporary Japanese art from the Meiji period (1868–1912) to the 1960s through the collections of our museum, Kumamoto Prefectural Museum of Art, and Takamatsu Art Museum, interspersing Western trends as well. It centered on our collection and was a rare opportunity to present at the Kumamoto venue large works such as Wada Sanzo's *South Wind* and Yorozu Tetsugoro's *Nude Beauty*, both of which are designated Important Cultural Properties. In particular, Fujita Tsuguharu's war documentary *Final Fighting on Attu* received a particularly strong response, with the Kumamoto *Nichinichi Shimbun* and the Kyushu edition of the *Yomiuri Shimbun* giving extensive coverage on August 15 and 19, respectively. For the first time in a traveling exhibition, our art education staff offered interactive appreciation sessions at each venue as well as online. This program was well received by participants as an effort to understand the collections from different perspectives. It was also noteworthy that we were able to share our expertise in interactive appreciation with the art education staff at the destination museums.



(熊本県立美術館)



(高松市美術館)

名)
四国新聞 11月15日 「記者ノート 対話型鑑賞の面白さ」(美濃美咲)
読売新聞 10月13日 「筆談で楽しむ20世紀美術」(無署名)
毎日新聞 10月19日 「対話で浮かぶ作品の輪郭」(森田真潮)
読売新聞 10月24日 「視覚障害ある人となない人」語り合って」美術鑑賞」(黒川絵理)

1-5-2 国立工芸館

令和5年度は巡回展の開催なし

2 作品貸与・特別観覧・プリントスタディ

2-1 本館

- ①貸 与 77件 (306点)
- ②特別観覧 23件 (41点)
- ③プリントスタディ(写真作品観覧制度)
4件 (5名、130点)

2-2 国立工芸館

- ①貸 与 7件 (48点)
- ②特別観覧 6件 (17点)

1 本館

◆大谷省吾

論文 東京国立近代美術館70周年記念展 重要文化財の秘密／『図書館教育ニュース』1623号(2023年4月18日)

論文 今泉篤男と国立近代美術館／『今泉篤男と美術』展図録(米沢市上杉博物館)(2023年7月8日)

論文 美術館問題(3)来館者の会場での撮影をめぐる／『美術の窓』483号(2023年12月20日)

論文 忘却からの召喚—作品の現存しない画家たちをめぐる／『シュルレアリスムと日本』(青幻舎)(2024年1月20日)

◆小川綾子

論文 「近代美術の眼」福島秀子《凝視》／読売新聞都内版(2023年10月7日)

論文 「東京国立近代美術館はなぜ「女性と抽象」展を開催するのか。コレクションにおける女性の作家の再発見とジェンダーバランスについて担当者に聞く」(インタビュー)／『Tokyo Art Beat』株式会社アートビート(2023年10月20日)

論文 研究ノート：荒川修作《アルファベットの皮膚 No.3》-アルファベット・スキンをめぐる試論／『東京国立近代美術館 研究紀要』第28号(2024年3月31日)

展覧会カタログ 「展覧会概要文」、章解説1点「2章 増殖する円」、作家・作品解説5点「田中田鶴子《無-II》」「福島秀子《凝視》《ビンの中》」「沢居曜子《Line Work IV-77-3》」「青木野枝」、「企画者座談会」／「コレクションによる小企画 女性と抽象」(2023年9月20日)

発表 「女性と抽象 | トークイベント」(2023年10月22日)／東京国立近代美術館講堂／45人／共同発表者：中嶋泉(大阪大学大学院文学研究科准教授)、内海潤也(石橋財団アーティゾン美術館学芸員)、横山由季子(当館研究員)

◆小澤万紀

論文 「資料紹介#4 | Art & Project bulletin」／『現代の眼』638号(2024年3月31日)

◆長名大地

論文 「2章 ミュージアム・ライブラリ」「コラム2 展覧会記録の利活用」／『ミュージアム・ライブラリとミュージアム・アーカイブズ』(2023年4月22日)

論文 「ミュージアム・アーカイブズの活用——プレイバック「抽象と幻想」展(一九五三—一九五四)を通して」／『国立国際美術館ニュース』251号(2023年11月1日)

論文 「抽象と幻想：非写実絵画をどう理解するか」展(1953年)について／『東京国立近代美術館 研究紀要』第28号(2024年3月31日)

論文 「イベント報告：「VRヘッドセットで「抽象と幻想」展をプレイバック！」について」／『現代の眼』638号(2024年3月31日)

論文 「研究員の本棚#4 | 学芸員としての歩み／デッサンをめぐる本 横山由季子」／『現代の眼』638号(2024年3月31日)

論文 「情報コーナーのリニューアル」／『現代の眼』638号(2024年3月31日)

展覧会カタログ 中平卓馬 関連文献一覧／中平卓馬 火一氾濫

発表 記録と再現：プレイバック「抽象と幻想」展(1953-1954)を中心に／第33回ネオ夜の会(2023年4月8日)／世田谷文化生活情報センター／19人

発表 鼎談1：ミュージアム・ライブラリとミュージアム・アーカイブズそしてドキュメンテーションを語る／オンライン(2023年4月22日)／共同発表：松山ひとみ(認証アーキビスト)、黒澤美子(国立西洋美術館)／121人

発表 東京国立近代美術館アートライブラリにおける情報資源組織化について／日本図書館研究会情報組織化研究グループ／オンライン(2023年11月11日)／21人

発表 美術館の歴史的展示をデジタル化し展示し再現すること／日本展示学会／(2023年11月25日)／東京大学総合研究博物館／40人

発表 06：超私的美術労働／展示設営の技術を公開・交換するレクチャーシリーズ〈現場派〉(2023年12月8日)／東京造形大学CSLAB／共同発表：数見亮平(アーティスト)／12人

発表 東京国立近代美術館とシュルレアリスム／シュルレアリスム宣言100年記念講演会(2024年3月17日)／東京国立近代美術館講堂／101人

◆小林紗由里

論文 近代美術の眼「田中敦子《作品 66 - SA》」／『読売新聞』(都内版)(2023年7月8日)

論文 「東京国立近代美術館はなぜ「女性と抽象」展を開催するのか。コレクションにおける女性の作家の再発見とジェンダーバランスについて担当者に聞く」(インタビュー)／『Tokyo Art Beat』株式会社アートビート(2023年10月20日)

論文 「Yeji Sei Lee 韓国の「母」と自己の関係性を見つめて」(活動支援生インタビュー vol.50)／『公益財団法人クマ財団』(ウェブサイト)(2023年12月6日)

展覧会カタログ 「東京国立近代美術館のコレクションとその形成について」／「令和5年度国立美術館巡回展 20世紀美術の冒険者たち—名作でたどる日本と西洋のアート」

展覧会カタログ 作家・作品解説1点「春木麻衣子《outer portrait 1》」、作家解説1点「田中敦子」、「企画者座談会」／「コレクションによる小企画 女性と抽象」(2023年9月20日)

展覧会カタログ 章解説1点(5章)、作品解説13点、コラム3点「反復するイメージ」「中平卓馬と美術」「人物像の変化」、展覧会・著作文献一覧／「中平卓馬 火一氾濫」／共同執筆者：松田貴子(東京国立近代美術館客員研究員)【展覧会・著作文献一覧】

◆佐原しおり

論文 「鑑賞のきっかけをつくる —所蔵作品展の新しい試み—」／『現代の眼』638号(2024年3月31日)

展覧会カタログ 章解説1点「抑制と解放」、作家・作品解説4点「三岸節子《静物》」「芥川(間所)紗織《スフィンクス》」「草間彌生《No. H. Red》」「木下佳通代《79-38-A》」、「企画者座談会」／共同執筆者：松田貴子(当館客員研究員)【章解説】／「コレクションによる小企画 女性と抽象」(2023年9月20日)

発表 鼎談 「絵画鑑賞会 楊博・山田康平の作品とともに」／トークイベント(2023年7月8日)／タカ・イシイギャラリー、Yutaka Kikutake Gallery／25人／共同発表者：楊博(アーティスト)、山田康平(アーティスト)

発表 「あなたは誰？描かれた「モデル」から読み解く近現代美術」／講演会
(2023年9月30日)／高松市美術館／100人

◆鈴木勝雄

展覧会カタログ 「廃墟としてのサグラダ・ファミリア」／ガウディとサグラダ・ファミリア

◆都築千重子

論文 「伝統と現代の間（あわい）—野田哲也の1970年代」／『上野の森美術館所蔵 野田哲也作品集 1970-1981』日本美術協会 上野の森美術館、pp.4-7、英訳pp.8-11 (2023年8月)

◆鶴見香織

論文 〈教科書で出会う美術名品ガイド2〉日本画家、安田鞞彦の描く《鴻門会》／『漢文教室』209号、大修館書店(2023年4月1日)

論文 近代美術の眼 太田聰雨《星をみる女性》／『読売新聞』（都内版）(2023年4月8日)

論文 作家解説 東山魁夷／ウェブサイト「ART PLATFORM JAPAN」内「日本アーティスト事典」(運営：NCAR) (2023年9月11日)

<https://artplatform.go.jp/ja/resources/collections/artists/A1802>

論文 作家解説 加山又造／ウェブサイト「ART PLATFORM JAPAN」内「日本アーティスト事典」(運営：NCAR) (2023年9月11日)

<https://artplatform.go.jp/ja/resources/collections/artists/A1261>

論文 中村正義《源平海戦絵巻》 異例づくめの代表作／『揺さぶる絵 変貌する日本画のイメージ』展図録(北海道立近代美術館編、中西出版株式会社) (2023年9月16日)

論文 酵素を用いた日本画のクリーニング／国立アトリサーチセンターウェブサイト(2023年9月28日)

<https://ncar.artmuseums.go.jp/reports/collections/conservation/research/post2023-14.html>

論文 Ogura Yuki／ウェブサイト「AWAR: Archives of Women Artists, Research and Exhibitions」(運営：AWARE) (2023年11月8日)

<https://awarewomenartists.com/en/artiste/ogura-yuki/>

論文 「資料紹介 速水御舟日記(1934年)」／『東京国立近代美術館 研究紀要』第28号(2024年3月31日)

論文 「新しいコレクション 池田蕉園《かえり路》」／『現代の眼』638号(2024年3月31日)

◆中村麗子

論文 作家解説 上村松園／ウェブサイト「ART PLATFORM JAPAN」内「日本アーティスト事典」(運営：NCAR) (2023年9月11日)

<https://artplatform.go.jp/ja/resources/collections/artists/A1132>

論文 Shoen Uemura／ウェブサイト「AWAR: Archives of Women Artists, Research and Exhibitions」(運営：AWARE: Archives of Women Artists, Research and Exhibitions) (2023年9月26日)

<https://awarewomenartists.com/en/artiste/shoen-uemura/>

◆成相肇

論文 言語的ダイエット／遠藤麻衣『Scraps of Defending Reanimated Marilyn』
oar press (2023年4月14日)

論文 感覚をみる／『形 forme』330号、日本文教出版(2023年5月10日)

論文 近代美術の眼 佐藤玄々(朝三)《動》／『読売新聞』(都内版)(2023年5月13日)

論文 芸術のわるさ(2023年6月10日)／単著(かたばみ書房より刊行)

論文 著者インタビュー／『アートコレクターズ』2023年8月号(2023年8月25日)

論文 大竹伸朗が語るホックニー／『美術手帖』2023年10月号(2023年9月7日)／共同発表者：大竹伸朗(画家)

論文 作家解説 大竹伸朗／国立アトリサーチセンター「日本アーティスト事典」(2023年9月11日) <https://artplatform.go.jp/ja/artists/A1169>

論文 笑いの声はとうとうたたり／『GALLERY TAGA 2 book vol.5 笠原出』
GALLERY TAGA 2 (2023年10月2日)

論文 前提の話(インスタレーションの条件と祝祭)／山本基『Staying in Time』YUKIKOMIZUTANI (2023年10月18日)

論文 重さをみる／『形 forme』331号、日本文教出版(2023年10月27日)

論文 成相肇インタビュー／Tokyo Art Beat (2023年11月13日)／共同発表者：深井厚志(編集者)

<https://www.tokyoartbeat.com/articles/-/hajime-nariai-interview-202311>

論文 横尾忠則インタビュー／Tokyo Art Beat (2023年11月27日)／共同発表者：横尾忠則(美術家、グラフィックデザイナー)

<https://www.tokyoartbeat.com/articles/-/tadanori-yokoo-interview-202311>

論文 眼指、光舐め／Takuro Someya Contemporary Art ウェブサイト(2023年12月21日) <https://tsca.jp/ja/artist/mayumi-hosokura/#text>

論文 空想書店／『読売新聞』(2024年1月14日)

論文 「詰まらない」をみる／『形 forme』332号、日本文教出版(2024年2月16日)

論文 公／俗の争い、虚／実の争い—1960~70年代の芸術と複製の愛憎劇／『日本写真史 写真雑誌1874-1984』、平凡社(2024年2月25日)

論文 審査講評、作品評2点／『アート・ミュージアム・プレス2023』山口県美術展覧会実施協議会(2024年3月7日)

論文 書評 深川雅文著『生きるアート 折元立身』／『週刊読書人』読書人(2024年3月15日)

論文 中平卓馬のあるがままを凝視する／『芸術新潮』2024年3月号(2024年3月25日)／共同発表者：増田玲(東京国立近代美術館主任研究員)

論文 「新しいコレクション 青木野枝《雲谷2018-I》」／『現代の眼』638号(2024年3月31日)

発表 砂と創造力／鳥取大学「鳥取砂丘学」(2023年5月31日)／鳥取大学／52人

発表 「ゼロックスと美術：変換器／道具から肉体へ」／京都市立芸術大学美術科(版画専攻)特別講義(2023年5月29日)／京都市立芸術大学／33人

発表 「空間に、自然光だけで、日高理恵子の絵画を置く」トークセッション3／多摩美術大学芸術学科展覧会設計ゼミ(2023年10月24日)／多摩美術大学／12人

発表 印刷と芸術について／梅津庸一 個展 (2023年5月19日)／「NADiff a/p/a/r/t」／共同発表者：梅津庸一 (美術家)、河原正弘 (Kawara Printmaking Laboratory Inc.)、平川幸栄 (同)／23人

発表 成相肇×石内都トークイベント (2023年7月14日)／青山ブックセンター本店／共同発表者：石内都 (写真家)／80人

発表 笠原出×成相肇対談／笠原出「観光／出口／入口」展 (2023年10月14日)／GALLERY TAGA 2／共同発表者：笠原出 (美術家)／20人

発表 コンビニで作品をつくる／連続レクチャー | アートの使い方 (2023年9月7日)／SUGAR CUBE／10人

発表 君たちはどうコピーするか／Public Art Research Center 11 (2023年10月23日)／札幌駅前通地下歩行空間 (チ・カ・ホ)／15人

発表 哲学と美術をつなぐ書物たち (2023年11月22日)／本の長屋／共同発表者：渡名喜庸哲／8人

発表 マンガをいかに展示するか?／『鬼滅の刃』吾峠呼世晴原画展 (2024年1月13日)／岡山県立美術館／60人

発表 美術館学芸員正体不明／どうもん学舎 (2024年2月19日)／カルチャーどうもん／共同発表者：陳樹立 (舞台俳優、詩人)／12人

発表 どげだいこげだい 植物性とわるさ、その変幻自在と批判力 (2024年1月10日)／恵文社一乗寺店／共同発表者：藤原辰史 (歴史家)／30人

発表 ことなる、そのもの／刘家铭個展『The Painted Veil』 (2024年2月4日)／BLANKgallery Tokyo／共同発表者：刘家铭 (アーティスト)、高江波 (キュレーター)／34人

発表 トークセッション／清島アパート 2023 活動成果展／(2024年2月23日)／別府市レンガホール／共同発表者：中村恭子 (NPO法人 BEPPU PROJECT 代表理事)、市村優奈 (美術家)、永井幸太郎 (美術家)、東智恵 (美術家)、東京ディスティニーランド (一人芝居俳優)／40人

◆花井久穂

論文 年賀状一枚から始まった、棟方板画の冒険—水平に読む、垂直に見る／『目の眼』561号 (2023年5月15日)

論文 生誕120年「棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ」／文化庁広報誌ぶんかる連載「アートダイアリー」 (2023年9月1日)

論文 展覧会プレビュー生誕120年「棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ」／『美術の窓』2023年10月号 (2023年9月20日)

論文 生誕120年「棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ」(1)「世界のムナカタ」をたどる／東京新聞首都圏版 (2023年10月4日)

論文 生誕120年「棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ」(2)「読みもの」としての版画／東京新聞首都圏版 (2023年10月11日)

論文 生誕120年「棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ」(3)大和し美し「藻草の柵」日本神話への憧れ／東京新聞首都圏版 (2023年10月18日)

論文 生誕120年「棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ」(4)幾利需當 頌耶蘇十二使徒屏風 最大サイズを狙った屏風／東京新聞首都圏版 (2023年11月15日)

論文 生誕120年「棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ」(5)「二菩薩 釈迦十大弟子」(右隻)新たに彫り直された菩薩／東京新聞首都圏版 (2023年11月22日)

論文 生誕120年「棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ」(6)鍵板画柵「大首の柵」美人大首絵の原型に／東京新聞首都圏版 (2023年11月29日)

論文 民藝運動とミュージアムの思想／デザイン史学研究会誌『デザイン史学』第20号(2023年12月1日)

論文 開館70周年特集 持続と更新—開館60周年リニューアルから10年対談 蔵屋美香・西澤徹夫／『現代の眼』638号(2024年3月31日)

論文 「鑑賞のきっかけをつくる—所蔵作品展の新しい試み—」／『現代の眼』638号(2024年3月31日)

発表 Observations: Moments in Design History : MINGEI／連続講座「Observations」(2023年9月23日)／国立ヴィクトリア美術館(豪・メルボルン)／オンライン

発表 生誕120年「棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ」／NHK関連文化講演会 (2023年10月11日)／五日市地域交流センターまほろばホール／107人

発表 生誕120年「棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ」／NHK関連文化講演会(2023年10月20日)／江東区砂町文化センター／326人

発表 生誕120年「棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ」／NHK関連文化講演会(2023年10月21日)／新宿区立新宿歴史博物館／85人

発表 生誕120年「棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ」／NHK関連文化講演会(2023年10月27日)／板橋区グリーンカレッジホール／140人

発表 事例報告「バックヤードと表舞台を入れ子にする：「のこす、伝える—「お宝」考今昔」展(茨城県陶芸美術館2008)」／東洋陶磁学会50周年記念シンポジウム「陶磁器の展示 これまでとこれから」(2023年11月12日)／東京国立博物館／オンラインとのハイブリッド開催／50人

発表 メイキング・オブ・メイキング・オブ・ムナカタ「棟方志功展」のつくりかた／武蔵野美術大学学芸員課程特別授業2023 (2023年11月16日)／武蔵野美術大学／120人

◆花崎結梨

論文 「資料紹介#5 | 『美術史評』と『記録帯』」／『現代の眼』638号(2024年3月31日)

◆端山聡子

論文 「生涯学習を实践する場としての美術館で、ボランティアがプログラムを担う意義」／『横浜美術館ボランティアによるガイドプログラムができるまで 2021-2023 活動報告書』(2023年9月30日)

論文 「みんなでみると、みえてくる—教育普及の中核をなす「所蔵品ガイド」」／『現代の眼』638号(2024年3月31日)

発表 “A Report of the Painter, Photographer, and Their Works from the Illustrations of Narrative of the Expedition of an American Squadron to the China Seas and Japan”／Association for Asian Studies (AAS-in-ASIA,大邱,韓国) (2023年6月25日)／国立慶北大学、大邱、韓国／20人

発表 「美術と写真を考える」 中高生からみた美術 (2023年11月18日)／BankART KAIKO「東京造形大学 写真研究所」展示会場内／40人

◆藤田百合

論文 「記憶がイメージをむすぶ—痕跡か新たな幕開けか—」／『第15回 茨城一陽展 表現する、自由と多様性』(2024年1月1日)

論文 「鑑賞のきっかけをつくる—所蔵作品展の新しい試み—」／『現代の

眼』638号(2024年3月31日)

◆細谷美宇

論文 スクールプログラムの充実に向けて—特別支援学校を迎えて—『現代の眼』638号(2024年3月31日)

◆堀田文

論文 近代美術の眼 杉浦邦恵《Botanicus 18》／『読売新聞』(都内版)(2023年11月11日)

展覧会カタログ 作家・作品解説2点「杉浦邦恵《孤 #57-V1》」「杉浦邦恵《Botanicus 18》」、「企画者座談会」／「コレクションによる小企画 女性と抽象」(2023年9月20日)

◆榊田倫広

論文 「Artist in Focus テリー・ウィンターズ」／『美術手帖』2023年7月号(2023年6月7日)

論文 「初期作品における「様式の折衷」を可能にする条件とは？」／『美術手帖』2023年10月号(2023年9月7日)

論文 仮設的(または暫定的)な絵画(Provisional Painting)と、マイクロポップ、そしてアノーマリー——絵画のモダン、ポストモダンのあとで1／『コメット通信』No.39(2023年10月31日)

論文 「正常と異常、その境界が綻ぶ瞬間」／『Mitsubishi Corporation ART GATE Program 2021-2022 Exhibition』(2023年)

論文 「期待からすり抜ける」／『Mitsubishi Corporation ART GATE Program 2021-2022 Exhibition』(2023年)

論文 「絵画の際」／『Idemitsu Art Award展2023』(2023年)

論文 三瀬夏之介作品の形式について——絵画のモダン、ポストモダンのあとで2／『コメット通信』No.42(2024年1月31日)

論文 河原温〈Today〉シリーズの再考——一九六六年の《ジャーナル》の読解をつうじて／坂上桂子編『近代都市と絵画 パリからニューヨークへ』水声社(2024年2月20日)

論文 「小山維子」／『VOCA展 2024』上野の森美術館(2024年)

発表 海を渡った芸術家と絵画の変遷(2023年8月20日)／アート／10人

発表 「絵画」を脱する絵画へ(2023年9月16日)／アート／10人

発表 公開講評会「キュレーターの眼2023」(2024年3月16日)／女子美術大学／40人

発表 クロストーク(2024年2月9日)／東北芸術工科大学／40人

◆増田玲

論文 「近代美術の眼 大辻清司《破りすてたあとで拾った大事なデータのある封筒》」／『読売新聞』(都内版)(2023年6月10日)

論文 石内都 作家解説 ART PLATFORM JAPAN (日本のアートのリサーチポータル by NCAR)ウェブサイト(2023年9月11日)

<https://artplatform.go.jp/ja/artists/A1067>

論文 「追悼・鈴木一誌 「十全に横たわらせる」作業」／『週刊読書人』読書人(2023年9月29日)

論文 「中平卓馬の「実像」を探る」／『版画芸術』No.203 2004春、阿部出版(2024年3月1日)

論文 「戦後写真を変えた「挑発」の軌跡」／『朝日新聞』(2024年3月14日)

展覧会カタログ 「根底的に、過激に、中平卓馬の活動の軌跡をたどるために」・章解説(1、3、4章)・コラム「1973年、知覚異常の経験」・作品解説8点／中平卓馬 火一氾濫

◆松田貴子

論文 「近代美術の眼」高梨豊《「町」より 本郷 文京区本郷四ノ三五ノ四うさぎや》／『読売新聞』(都内版)(2024年3月9日)

展覧会カタログ 章解説1点「抑制と解放」、「企画者座談会」／「コレクションによる小企画 女性と抽象」／共同執筆者：佐原しおり(東京国立近代美術館研究員)【章解説】

展覧会カタログ 章解説1点(2章)、作品解説15点、コラム4点「東松照明と多木浩二」「風景論」と『映画批評』「中平卓馬と『朝日ジャーナル』」「中平卓馬による写真家論」、作家略歴、展覧会・著作文献一覧／「中平卓馬 火一氾濫」／共同執筆者：小林紗由里(東京国立近代美術館研究員)【展覧会・著作文献一覧】

◆三輪健仁

論文 山中信夫について(前編)／WEBサイト「山中信夫 前期展」(Takuro Someya Contemporary Art)(2023年4月18日)

論文 百年後の《ゴールドフィンガー》／『富井大裕 みるための時間』(水声社)(2023年7月10日)／共同執筆者：菊川亜騎(神奈川県立近代美術館)ほか

論文 山中信夫について(後編)／WEBサイト「山中信夫 後期展」(Takuro Someya Contemporary Art)(2023年7月15日)

論文 「彫刻的映像」と「彫刻／映像」／『わからない彫刻 みる編 彫刻の教科書2』(武蔵野美術大学出版局)(2024年3月25日)／共同執筆者：富井大裕(武蔵野美術大学)ほか

論文 開館70周年特集——「偉大なるマンネリズム」へ向けて／『現代の眼』638号(2024年3月31日)

発表 クロストーク／令和5年度国立美術館巡回展 20世紀美術の冒険者たち一名作でたどる日本と西洋のアート／熊本県立美術館(2023年8月20日)／共同発表者：姜尚中(熊本県立劇場館長)／70人

発表 ギャラリートーク「建築をつくることをめぐって、離れたり、近づいたり」／「西澤徹夫 偶然は用意のあるところに」／TOTOギャラリー・間(2023年11月18日)／共同発表者：西澤徹夫(建築家)／40人

◆森卓也

論文 近代美術の眼「山村豊成(耕花)《「梨園の華」より 十三世守田勘弥のジャン・バルジャン》」／『読売新聞』朝刊(都内版)(2024年2月10日)

論文 「麗子、生誕110年」／『美術の窓』487号(生活の友社)(2024年3月20日)

◆横山由季子

論文 “A History of Western-Style Yōga Painting in Japan and Women Yōga Artists from the Meiji Period to the Pre-War Era”／『AWARE : Archives of Women Artists,

Research and Exhibition』(ウェブサイト)(2023年4月21日)

論文 「What were “Ultra Girls”? Women Artists in 1980s Japan」/『AWARE: Archives of Women Artists, Research and Exhibition』(ウェブサイト)(2023年6月16日)

論文 「十亀広太郎「御茶ノ水ニコライ堂」「東京新橋側ヨリ築地—通信省等—」「東京神田明神附近」/『美術の窓』(2023年8月19日)

論文 「十亀広太郎 御茶ノ水ニコライ堂」/近代美術の眼『読売新聞』(2023年9月9日)

論文 「アフォーダンスと彫刻：袴田京太郎の作品を知覚すること」/『アーティスト@TAD 袴田京太郎 複製する(陰の彫刻)』富山県美術館(2023年9月30日)

論文 「東京国立近代美術館はなぜ「女性と抽象」展を開催するのか。コレクションにおける女性の作家の再発見とジェンダーバランスについて担当者に聞く」(インタビュー)/『Tokyo Art Beat』株式会社アートビート(2023年10月20日)

論文 「変容する絵画——「安藤裕美個展 学舎での10年をめぐって「ナビ派」と「パープルーム」への眼差し」レビュー」/『Tokyo Art Beat』株式会社アートビート(2023年12月14日)

論文 「ジェルメーヌ・リシエのポンピドゥー・センターでの回顧展と新収蔵《蟻》をめぐる覚書」/『東京国立近代美術館研究紀要』第28号(2024年3月31日)

論文 「研究員の本棚#4 | 学芸員としての歩み/デッサンをめぐる本 横山由季子」/『現代の眼』638号(2024年3月31日)

論文 「新しいコレクション 風間サチコ《セメント・モリ》」/『現代の眼』638号(2024年3月31日)

論文 「新しいコレクション ジェルメーヌ・リシエ《蟻》」/『現代の眼』638号(2024年3月31日)

展覧会カタログ 章解説1点「女流画家協会」、作家・作品解説4点「桜井浜江《壺》《花》」「藤川栄子《塊》」「桂ゆき(ユキ子)《作品》」「辰野登恵子《UNTITLED-28》《May-7-91》」、「企画者座談会」/「コレクションによる小企画 女性と抽象」(2023年9月20日)

発表 「模写と対話で考える関東大震災」(2023年8月4日)/東京国立近代美術館所蔵品ギャラリー/18人/共同発表者：瀬尾夏美(アーティスト)

発表 「テレビノック#13 100年前の絵を読み解く」(2023年8月18日)/Studio04(江東区)/12人/共同発表者：瀬尾夏美、中村大地(NOOK)

発表 「女性と抽象 | トークイベント」(2023年10月22日)/東京国立近代美術館講堂/45人/共同発表者：中嶋泉(大阪大学大学院文学研究科准教授)、内海潤也(石橋財団アーティゾン美術館学芸員)、小川綾子(当館研究補佐員)

2 国立工芸館

◆今井陽子

論文 「水のいろ、水のかたち展」こどもセルフガイドの作り方/『現代の眼』638号(2024年3月31日)

論文 「陶土で『らしさ』細部に宿る：今井完真〈フシギバナ〉」(2023年4月1日)/『読売新聞』(石川県版)

論文 「漆できらめく水注世界：田口義明〈乾漆蒔絵螺鈿蓋物「遊」〉」(2023

年4月2日)／『読売新聞』(石川県版)

論文 「伝説の3匹 器満たす迫力：葉山有樹〈超古代ポケモン玉盃〉」(2023年4月12日)／『読売新聞』(石川県版)

論文 アートダイアリー「ポケモン×工芸展—美とわざの大発見」(2023年4月25日)／『ぶんかる』文化庁

論文 「水由来の模様で彩る：植葉香澄〈水文メッソン〉」(2023年5月11日)／『読売新聞』(石川県版)

論文 「8色の点と点 鮮やか：池本一三〈湖のほとりで〉」(2023年5月12日)／『読売新聞』(石川県版)

論文 「[工芸館の窓から] 素材や技法「タイプ」に重ね」(2023年5月13日)／『読売新聞』(石川県版)

論文 「小宮康義『江戸小紋 着尺「ゲンガー・ゴースト」』特別解説」(2023年5月18日)／『美しいキモノ』インスタグラム

論文 「ポケモンと工芸の共鳴」(2023年5月20日)／『Switch』6月号／構成：江上浩子

論文 「『ポケモン×工芸展—美とわざの大発見—』小宮康義作品解説」(2023年5月27日)／『婦人画報』ウェブサイト

論文 作家解説 平田郷陽, 二代／ウェブサイト「ART PLATFORM JAPAN」内「日本アーティスト事典」(2023年9月26日)

<https://artplatform.go.jp/ja/artists/A1816>

論文 「第70回日本伝統工芸展染織作品をみる」(2023年11月20日)／『美しいキモノ』冬号

論文 「メイド・イン・成城 Vol.18 伝統×革新。アートの可能性に心が弾む展覧会」(2023年12月8日)／『エスフル 成城だより』(石川県版)／構成：宇治有美子

展覧会セルフガイド 「水のいろ、水のかたち展」

解説 木村雨山《縮緬地友禅あおい文振袖》含む作品解説6件、作家解説4件、技法解説6件／2D鑑賞システム(2024年3月25日)

解説 渋谷拓「ポケモン×工芸展」：デュアル・ミッションの成否を分けるもの」リード文／『現代の眼』638号(2024年3月31日)

◆岩井美恵子

論文 東京から金沢へ—国立工芸館、移転開館からの3年間(2023年7月1日)／「キュレーターズノート」『art scape』

論文 作家解説 濱田庄司／ウェブサイト「ART PLATFORM JAPAN」内「日本アーティスト事典」(2023年9月11日)

<https://artplatform.go.jp/ja/artists/A1782>

論文 伊能一三／村本真吾論 (2023年10月14日)／ギャラリーポンテリーフレット

論文 「[工芸館の窓から] 観光客誘致 積極的PRを」(2023年12月21日)／『読売新聞』(石川県版)

論文 走泥社の前衛性と現代性『走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代』／京都国立近代美術館『視る』529号(2024年3月14日)

論文 「新しいコレクション 池田晃将《電光無量無辺大衆》」／『現代の眼』638号(2024年3月31日)

論文 土田ルリ子「『水のいろ、水のかたち』の豊富なバリエーション」後記

／『現代の眼』638号(2024年3月31日)

◆唐澤昌宏

論文 「[工芸館の窓から] 多様な「タイプ」工芸と共鳴」(2023年4月8日)／『読売新聞』(石川県版)

論文 「金属色 輝き引き出す：桂盛仁<帯留 ブラッキー「威嚇」「立ち姿」> <ブローチ ブラッキー<眠り>」(2023年5月13日)／『読売新聞』(石川県版)

論文 陶芸史を映す一田中佐次郎の作陶(2023年6月7日)／『田中佐次郎展』図録

論文 無釉焼締陶の美—伊勢崎晃一郎の“やきもの”(2023年10月1日)／『陶説』843

論文 寺西松太の漆芸—「蜻蛉塗」を極める(2023年10月3日)／『寺西松太展』図録

論文 造形表現としての茶陶—十三代三輪休雪の想い(2023年10月20日)／『十三代三輪休雪展』図録

論文 近代以降の工芸制作と茶の湯のうつわ(2023年11月1日)／『加賀茶道のみやび』

論文 林恭助の作陶と思考(2023年11月1日)／『林恭助展』図録

論文 近代の工芸家と数寄者—交流が育んだ美の凄み(2023年11月3日)／『近代の工芸家と数寄者』展図録

論文 第10回菊池ビエンナーレに寄せて(2023年12月16日)／『第10回菊池ビエンナーレ』図録

論文 近代・現代陶磁における調査・研究の深化(2023年12月31日)／『東洋陶磁学会誌』100

論文 「制作の裏側」から見えてきたこと(2024年3月29日)／『令和5年度金沢美術工芸大学大学院博士後期課程1年研究制作展』記録集

展覧会カタログ 「志野」というやきもの／卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展／発行：エンタープライズ中部

展覧会カタログ 鈴木藏の「志野」、その思考と作陶／卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展／発行：エンタープライズ中部

展覧会カタログ 「卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展」章解説、コラム解説、作品解説／卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展／発行：エンタープライズ中部

発表 日本の伝統陶芸の歴史展開と未来への展望／愛知県陶磁美術館(2023年4月15日)／愛知県陶磁美術館本館地下1階講堂／45人

発表 北陸の工芸—高岡と金沢を中心に—／高岡市立博物館(2023年4月20日)／高岡市立博物館ホール／56人

発表 特別セッションI「北陸の文化観光拠点」／文化経済学会(2023年7月8日)／團十郎芸術劇場うらら 小ホール／150人／共同発表者：清水邦夫(福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館長)、桐山登土樹(富山県美術館副館長)、大下義之(モデレーター、同支社大学)

発表 日本の伝統陶芸のあゆみと未来への展望／兵庫陶芸美術館(2023年9月8日)／兵庫陶芸美術館 研修棟1階セミナー室／58人

発表 いしかわの工芸、その技と美／第38回国民文化祭、第23回全国障害者芸術文化祭「いしかわ百万石文化祭2023」情報発信イベント(2023年9月24日)／朝日ホール／417人

発表 石川・金沢の工芸と国立工芸館のコレクション／令和5年度目黒区

かなざわ講座(2023年10月28日)／中目黒住区センター 第5・6会議室／58人
発表 トークセッション「国立工芸館とこれからの工芸—12人の工芸・美術作家による新作制作プロジェクトから—」／KOGEI Art Fair Kanazawa 2023
実行委員会 (2023年12月1日)／ハイアット セントリック 金沢2階／79人／
共同発表者：新里明士(陶芸家)、見附正康(陶芸家)

発表 受賞作家と審査員によるトーク／菊池寛実記念 智美術館(2024年1月
13日)／菊池寛実記念 智美術館 展示室ホール／50人／共同発表者：若林和
恵(陶芸家)

◆北村仁美

論文 「[工芸館の窓から] 皇室と石川 ゆかりの名品」(2023年10月14日)／
『読売新聞』(石川県版)

論文 「[工芸館の窓から] 淡い青磁釉 優雅の極み」(2023年11月3日)／『読売
新聞』(石川県版)

論文 「鷺蒔絵筥」松田権六 戦後の蒔絵表現刷新」(2023年11月10日)／
『読売新聞』(石川県版)

論文 作家解説 鈴木長吉／ウェブサイト「ART PLATFORM JAPAN」内「日
本アーティスト事典」(2023年11月17日)

<https://artplatform.go.jp/ja/artists/A1505>

論文 「鳳凰菊文様蒔絵飾棚」金蒔絵 高貴な輝き放つ(2023年11月22日)／
『読売新聞』(石川県版)

論文 [資料紹介]「松田権六書簡一椀制作のころ」／『東京国立近代美術館
研究紀要』第28号(2024年3月31日)

論文 佐藤一信「青磁鳳雲文花瓶にみる諏訪蘇山の革新性と古典研究」後記
／『現代の眼』638号(2024年3月31日)

論文 「新しいコレクション 川之邊一朝《梨子地青貝唐草内蒔絵料紙箱・
硯箱》」／『現代の眼』638号(2024年3月31日)

展覧会カタログ 「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展」章解説、作家作品解説(川之
邊一朝、安達陶仙ほか)／皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川 一麗し
き美の煌めき—

◆小島美里

論文 「[工芸館の窓から] 変幻自在の水の姿とらえる」(2023年7月15日)／
『読売新聞』(石川県版)

展覧会カタログ 「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展」作家作品解説(初代徳田
八十吉ほか)／皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川 一麗しき美の煌め
き—

◆笹出照江

展覧会カタログ 「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展」作家作品解説(松田権六作
品2点)／皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川 一麗しき美の煌めき—

◆高橋佑香子

論文 川上南甫《波の便り》含む8作品／『工芸とたのしむ 四季と自然、日々
の暮らし』

展覧会カタログ 「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展」作家作品解説(2代徳田八十

吉、2代諏訪蘇山)／皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川 一麗しき美の煌めき一

展覧会カタログ MOMATコレクション特集展示作家作品解説 『芹沢銈介と、新しい日々』

◆田中真希代

展覧会カタログ 「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展」作家作品解説 (初代諏訪蘇山、宮川香山、ほか作品3点)／皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川 一麗しき美の煌めき一

展覧会カタログ 「卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展」鈴木藏 年譜、参考文献／卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展／発行：エンタープライズ中部

◆中尾優衣

論文 作家解説 杉浦非水／ウェブサイト「ART PLATFORM JAPAN」内「日本アーティスト事典」(2023年9月11日)

<https://artplatform.go.jp/artists/A1491>

論文 作家解説 松田権六／ウェブサイト「ART PLATFORM JAPAN」内「日本アーティスト事典」(2023年9月11日)

<https://artplatform.go.jp/artists/A1908>

論文 「[工芸館の窓から] 版画表現 面白さに迫る」(2024年1月27日)／『読売新聞』(石川県版)

論文 「[工芸館の窓から] 1977年の開館展 振り返る」(2024年2月10日)／『読売新聞』(石川県版)

展覧会カタログ 「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展」作家作品解説 (由木尾雪雄 作品2点)／皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川 一麗しき美の煌めき一

展覧会リーフレット 東京国際版画ビエンナーレ 展出品作家4名 (野田哲也・永井一正・横尾忠則・杉浦康平) へのインタビュー、作品解説4点／印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1979

◆中川智絵

論文 「[工芸館の窓から] 流水、潮騒…水の音想像して」(2023年9月9日)／『読売新聞』(石川県版)

◆日南日和

論文 「氷柱の破片 光の表情映す：新實広記〈Vessel—TSURARA—〉」(2023年5月18日)／『読売新聞』(石川県版)

展覧会カタログ 「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展」作家作品解説 (塩多慶四郎)／皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川 一麗しき美の煌めき一

展覧会セルフガイド／「水のいろ、水のかたち展」

解説 加藤土師萌《辰砂魚藻文壺》含む作品解説4件、作家解説2件／2D鑑賞システム(2024年3月25日)

◆廣川晶子

論文 杉浦非水《植物写生帖 春之部一》含む4作品／『工芸とたのしむ 四季と自然、日々の暮らし』

論文 美術館の外から中へ—国立工芸館、移転後のライブラリ (2024年3月)

25日)／「キュレーターズノート」『art scape』

論文 「資料紹介 日本クラフト協会旧蔵資料」／『現代の眼』638号(2024年3月31日)

論文 「[工芸館の窓から] 閉架資料閲覧予約不要に」／『読売新聞』(石川県版)

◆宮川典子

解説 三浦小平二《青磁飾り壺》含む作品解説6件、作家解説6件／2D鑑賞システム(2024年3月25)

◆村山閑

論文 「新しいコレクション 作者不詳(芝山象嵌)《渡船・雨宿芝山象嵌屏風》」／『現代の眼』638号(2024年3月31日)

◆横川悠子

解説 三浦小平二《青磁飾り壺》含む作品解説6件、作家解説6件／2D鑑賞システム(2024年3月25日)

展覧会カタログ 「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展」作家作品解説(赤地友哉)／皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川一麗しき美の煌めき一

[本館]

①収集活動

種別	購入	寄贈	遡及入力	計	収蔵総点数
和図書	305	781	232	1,318	42,400
洋図書	79	95	11	185	15,318
国内展覧会カタログ	18	1,383	12	1,413	68,845
国外展覧会カタログ	67	143	4	214	34,791
計	469	2,402	259	3,130	161,354

種別	購入	寄贈	遡及入力	計	収蔵総点数
和雑誌	—	—	—	30	4,542
洋雑誌	—	—	—	1	1,175

注)雑誌はタイトル数を計上

②アートライブラリ(本館2階)公開活動

開室日数	202日
公開件数	5,785件
入室者数	4,698人
公開請求件数	1,006件

③アートライブラリの取組

- ・ 企画展、所蔵作家・作品、近現代美術に関する資料の収集(寄贈交換事業を含む)を積極的に行い、展覧会活動の推進に役立てた。
- ・ 寄贈交換事業として、国内237件、海外148件の合計385機関を対象に前年度の自館刊行物を送付した。
- ・ 「NACSIS-ILL(図書館間相互利用サービス)」に参加し、遠隔による文献複写サービスに取り組み、76件対応した。
- ・ ウェブサイト内で連載企画「研究員の本棚」「アートライブラリ所蔵資料の紹介」等を公開し、美術資料に関する情報発信に努めた(これらは『現代の眼』(638号)に収録)。
- ・ アートライブラリ内において、企画展ごとに関連資料の特集展示を行った。また、MOMATコレクション展の会期ごとに、4F情報コーナーの展示ケース内の資料の展示替えを行った。
- ・ 「Family Day こどもまっと」(9月24日)において、試験的に所蔵作品に関する絵本の読み聞かせイベントに取り組んだ。
- ・ 当館開催のMOMATコレクション展や企画展、また、国立工芸館、京都国立近代美術館、国立映画アーカイブ、国立西洋美術館、慶應義塾ミュージアムコモンズで開催された展覧会への所蔵資料の貸出を行った。
- ・ 2023年5月、休館期間を活用し、閉架書庫の図書・カタログエリアを対象に、大規模な蔵書点検を行った。

- ・2024年1月、閉架書庫の老朽化に伴う電動書架(計6か所)の内2か所目の改修工事を行った。

[国立工芸館]

①収集活動

種別	購入	寄贈	遡及入力	計	収蔵総点数
和図書	35	633	3	671	11,857
洋図書	9	39		48	1,434
国内展覧会カタログ	6	1,362	12	1,380	19,690
国外展覧会カタログ	1	68		69	2,143
和雑誌	—	—	—	57	1,635
洋雑誌	—	—	—	9	171
計	51	2,102	15	2,168	35,124

注) 1. 雑誌はタイトル数を計上

2. 収集点数の合計と収蔵総点数の合計に雑誌タイトル数は含まない

3. 遡及入力があったため、累計収集数に齟齬が生じている

②図書閲覧室(国立工芸館1階)公開活動

開室日数	148日
公開資料件数	84件
入室者数	2,118人
公開請求件数	19件

③アーツライブラリの取組

- ・企画展、所蔵作品展、所蔵作家・作品、近現代工芸・デザインに関する資料の収集を積極的に行い、展覧会活動の推進に役立てた。
- ・寄贈交換事業として、国内260件、海外165件の合計425機関を対象に前年度の自館刊行物を送付した。
- ・ウェブサイト内で「資料紹介」を公開し、美術・工芸資料に関する情報発信に努めた(『現代の眼』(638号)に収録)。
- ・2023年6月～9月、個人のコレクターより工芸関連資料およそ22点の寄贈を受けた。
- ・2023年8月、所蔵作家関係者より作家関連資料およそ20点の寄贈を受けた。
- ・2024年3月、所蔵作家関係者より作家旧蔵資料およそ20点の寄贈を受けた。

1-2 児童生徒を対象とした事業

1-2-1 本館

◆小・中・高等学校への授業等への協力(ギャラリートークやガイダンス等を伴う受入)

令和5年4月26日(水)	立命館守山高等学校	41人
令和5年4月27日(木)	板橋区立志村第四小学校	86人
令和5年4月28日(金)	東京都立南多摩中等教育学校	38人
令和5年6月1日(木)	学校法人古川学園 古川学園中学校	34人
令和5年6月9日(金)	弥富市立弥富中学校	37人
令和5年6月14日(水)	東京都立総合芸術高等学校	73人
令和5年6月21日(水)	南木曾町立南木曾小学校	28人
令和5年7月11日(火)	東京家政学院中学校	46人
令和5年7月21日(金)	東久留米市立南中学校	9人
令和5年7月26日(水)	東京都立葛飾野高等学校	26人
令和5年8月15日(火)	普連土学園中学校高等学校	8人
令和5年8月24日(木)	大妻中学高等学校	31人
令和5年8月30日(水)	和洋九段女子中学校	12人
令和5年9月5日(火)	荒川区立第一日暮里小学校	31人
令和5年9月22日(金)	北区立西ヶ原小学校	64人
令和5年9月29日(金)	文京区立第十中学校	76人
令和5年10月11日(水)	筑波大学附属駒場中・高等学校	824人
令和5年10月24日(火)	高島町立高島中学校	37人
令和5年11月21日(火)	千代田区立お茶の水小学校	45人
令和5年11月22日(水)	千代田区立お茶の水小学校	35人
令和6年1月26日(金)	筑波大学附属大塚特別支援学校	23人
令和6年2月1日(木)	東京都市大学付属小学校	75人
令和6年2月6日(金)	杉並区立杉並第一小学校	52人
令和6年2月9日(金)	東京都立青鳥特別支援学校	20人
令和6年2月9日(金)	文京区立第九中学校	5人
令和6年2月20日(火)	東京都立港特別支援学校	15人
令和6年2月28日(水)	若草幼稚園	86人
令和6年3月5日(火)	あすテップなでしこ	10人
令和6年3月13日(水)	京都市立美術工芸高等学校	24人
令和6年3月13日(水)	立教新座中学校	219人
令和6年3月14日(木)	富山県立高岡高等学校	5人
令和6年3月27日(水)	さいたま市立第二東中学校	18人

◆学校教職員の研修会等への協力

令和5年6月30日(金)	板橋区図工部会	20人
令和5年7月12日(水)	足立区立小学校図工部	40人
令和5年8月2日(水)	広島県教育員会	40人(オンライン)
令和5年8月3日(木)	広島県教育員会	49人(オンライン)

◆学校教職員を対象とした研究会

【講座】先生のための美術館活用講座(オンライン)

令和5年4月8日(土)

講師：大谷省吾(副館長)、細谷美宇(企画課研究員)、藤田百合(企画課特定研究員)、鈴木千智子(国立アートルリサーチセンター研究員)

聴講者数：39人

「ガウディとサグラダ・ファミリア展」先生のための鑑賞日

【特別観覧日】

令和5年6月16日～18日

観覧者数：265人

「生誕120年 棟方志功展メイキング・オブ・ムナカタ展」先生のための鑑賞日

【特別観覧日】

令和5年10月6日～8日

観覧者数：138人

「中平卓馬 火一氾濫展」先生のための鑑賞日

【特別観覧日】

令和6年2月9日～12日

観覧者数：67人

◆小・中学生向けプログラム

「夏休み！こども美術館」(対象：小学生)

日時：令和5年7月29日 10時30分～12時00分 参加人数：14人

令和5年7月29日 14時00分～15時30分 参加人数：10人

令和5年7月30日 10時30分～12時00分 参加人数：17人

令和5年7月30日 14時00分～15時30分 参加人数：11人

◆未就学児向けプログラム

「おやこでトーク」(対象：未就学児とその保護者)

日時：令和5年10月28日 10時30分～11時30分 参加者数：14組28人

令和5年10月29日 10時30分～11時30分 参加者数：13組26人

◆Family Day こどもまっと

「MOMAT カタチシート」を使って楽しもう！

日時：令和5年8月14日 11時00分～11時30分、13時00分～13時30分、
15時00分～15時30分

講師：藤田百合(企画課特定研究員)

参加者：50人、30人、34人

「みつけてビンゴ！」を使って楽しもう！

日時：令和5年9月24日 11時00分～11時30分、13時00分～13時30分、
15時00分～15時30分

講師：細谷美宇(企画課研究員)

参加者：60人、50人、40人

- ◆MOMATコレクションこどもセルフガイド(紙/日本語版)、
MOM@T Home こどもセルフガイド(デジタル/日本語版)、
MOM@T Home Self-Guide (デジタル/英語版)

小・中学生を対象として、所蔵作品展に関連したセルフガイドを来館した小・中学生に配布した。また、デジタル版である「MOM@T Home こどもセルフガイド」をウェブサイト上で配信した。また、新たに英語版「MOM@T Home Self-Guide」を製作、ウェブサイト上で配信した。

- ◆MOMATコレクションセルフガイドプチ&みつけてビンゴ！

来館した未就学児を対象に、大人と一緒に使用して所蔵作品展を楽しむための鑑賞ツール「セルフガイドプチ」「みつけてビンゴ！」(日本語・英語)を配布した。「セルフガイドプチ」は本年度で配布を終了した。

- ◆国立美術館アートカード・セット

小・中学生、高校生、大学生、生涯学習団体を対象に、鑑賞教材「国立美術館アートカード・セット」の貸し出しを行った。

件数：15件

- ◆動画配信

幼児とその保護者を対象とした鑑賞プログラム「おやこでトーク」の記録映像(約5分30秒)を制作し、当館ウェブサイトに掲載した。

動画：【学びのプログラム】おやこでトーク | 東京国立近代美術館

映像制作協力：国立アトリサーチセンター

1-2-2 国立工芸館

- ◆小・中・高等学校への授業等への協力(ギャラリートークやガイダンス等を伴う受入)

令和5年5月18日(木)	黒部市立明峰中学校	38人
令和5年5月19日(金)	石川県立松任高等学校	3人
令和5年5月19日(金)	金沢市中学校文化連盟 美術部合同鑑賞会	167人
令和5年9月13日(水)	アットマーク国際高等学校	14人
令和5年10月18日(水)	内灘町立大根布小学校	27人
令和5年10月26日(木)	白山市立松南小学校	44人
令和5年10月27日(金)	金沢市立紫錦台中学校	54人
令和5年10月31日(火)	金沢市立小坂小学校	125人
令和5年11月10日(金)	高岡市立二塚小学校	34人
令和5年11月15日(水)	石川県立七尾城北高等学校	30人
令和5年11月16日(木)	金沢市立紫錦台中学校	33人
令和5年11月17日(金)	金沢市立紫錦台中学校	34人

◆学校教職員の研修会等への協力

令和5年8月30日(水) 石川県立図工・美術研究会(支援学級) 50人
令和5年10月18日(水) 河北郡市教育課程研究会図工部会研究授業整理会
13人

◆学校教職員を対象とした研究会

「水のいろ、水のかたち展」先生のための工芸館タイム

【特別観覧日】

令和5年7月21日(金)～9月24日(日)

観覧者数：53名

「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1979」先生のための工芸館タイム

【特別観覧日】

令和5年12月19日(火)～3月3日(日)

観覧者数：13名

◆ファミリープログラム

「親子でミッション@ミュージアム」(金沢市連携事業)

令和5年7月27日(木)、28日(金)、8月5日(土)、8月6日(日) 95人

【【ワークショップ】ファミリープログラム☆水のいろとかたちでスプラッシュ！】

令和5年9月2日(土) 16人

◆国立工芸館スクールガイド

学校向けのスクール・プログラム案内リーフレット。研究会や団体観覧下見用として活用した。

◆校外学習用セルフガイド・ワークシート

皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川 一麗しき美の煌めきー

◆こどもセルフガイド・おとなセルフガイド

「ポケモン×工芸展 美とわざの大発見」こどもセルフガイド(対象：小学生以下)

「水のいろ、水のかたち展」こどもセルフガイド(対象：小学生以下)

「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川 一麗しき美の煌めきー」こどもセルフガイド(対象：中学生以下)

<企画展>

◆東京国立近代美術館70周年記念展 重要文化財の秘密

講演会

日時：令和5年4月8日 14時00分～15時00分

講師：大谷省吾(副館長)

参加者：126人

講演会

日時：令和5年4月15日

第一部 14時00分～15時00分

講師：古田亮(東京藝術大学大学美術館教授)

参加者：130人

第二部 15時30分～16時30分

講師：舟串彩(公益財団法人永青文庫学芸員)

参加者：120人

◆ガウディとサグラダ・ファミリア展

開幕記念座談会

日時：令和5年6月13日 13時30分～15時30分

講師：鳥居徳敏(本展学術監修／神奈川大学名誉教授)、
 ジョルディ・ファウリ(サグラダ・ファミリア聖堂主任建築家)、
 外尾悦郎(サグラダ・ファミリア聖堂彫刻家)

司会：鈴木勝雄(企画課長)

参加者：100人

◆生誕120年 棟方志功展

ドキュメンタリー映画『彫る 棟方志功の世界』上映会+アフタートーク

日時：令和5年10月7日 14時00分～15時30分

講師：石井頼子(棟方志功孫／棟方志功研究家)

参加者：140人

スライド・トーク

日時：令和5年11月11日 14時00分～15時00分

講師：花井久穂(企画課主任研究員)

参加者：139人

◆中平卓馬 火一氾濫

該当イベントなし

<所蔵作品展>

◆コレクションによる小企画 修復の秘密

トークイベント

日時：令和5年4月29日 15時00分～17時00分

講師：田口かおり(京都大学准教授／修復家)、

土師広(修復家[土師絵画工房])

参加者86人

◆コレクションによる小企画 女性と抽象

トークイベント

日時：令和5年10月22日 14時00分～16時00分

講師：中嶋泉(大阪大学大学院文学研究科准教授)、
内海潤也(石橋財団アーティゾン美術館学芸員)、
小川綾子(美術課研究補佐員)、
横山由季子(美術課研究員)

参加者45人

◆所蔵作品展 MOMATコレクション

ワークショップ「模写と対話で考える関東大震災」

日時：令和5年8月4日 18時00分～20時00分

講師：瀬尾夏美(アーティスト)

参加者18人

ワークショップ「VRヘッドセットで「抽象と幻想」展をプレイバック！」

講師：長名大地(企画課主任研究員)

日時：令和6年1月24日 15時00分～16時00分

参加者11人

日時：令和6年1月31日 15時00分～16時00分

参加者10人

シュルレアリスム宣言100年記念講演会

日時：令和6年3月17日 13時00分～16時00分

講師：利根川由奈(文教大学国際学部国際観光学科専任講師)、
松岡佳世(株式会社キュレーターズ)、
中田健太郎(静岡文化芸術大学専任講師)、
長名大地(企画課主任研究員)

参加者101人

◆春まつりナイトトーク

日時：令和6年3月15日 19時00分～19時30分

講師：吉岡萌(企画課研究補佐員)

テーマ：対話鑑賞で原田直次郎《騎龍観音》をみる

参加者20人

日時：令和6年3月22日 19時00分～19時30分

講師：藤田百合(企画課特定研究員)、佐原しおり(美術課研究員)

テーマ：4階ハイライトの展示をぐるっとみていこう！

参加者50人

日時：令和6年3月29日 19時00分～19時30分

講師：細谷美宇(企画課研究員)

テーマ：あなたの視点—児玉靖枝《ambient light—sakura》をみる

参加者25人

◆動画配信

キュレーター・トーク(オンライン)

中村麗子(企画課主任研究員)「竹内栖鳳《海幸》」

横山由季子(美術課研究員)「ピエール・ボナール《プロヴァンス風景》」
小林紗由里(美術課研究員)「中平卓馬《サーキュレーション―日付、場所、
行為》1971年」

アーティスト・トーク(オンライン)

第31回 青木野枝(彫刻家)

第32回 風間サチコ(美術家)

Close Look (オンライン)

池田輝方 池田蕉園《素描帳》全頁紹介

トークイベント「修復の秘密」田口かおり、土師広

アーティスト・トーク

- | | | |
|------|------------|----------------|
| 第1回 | 堂本右美(画家) | 収録日2005年6月10日 |
| 第2回 | 石内都(写真家) | 収録日2005年7月29日 |
| 第3回 | 黒川弘毅(彫刻家) | 収録日2005年10月14日 |
| 第4回 | 日高理恵子(画家) | 収録日2006年1月13日 |
| 第6回 | 村岡三郎(彫刻家) | 収録日2006年6月9日 |
| 第9回 | 秋岡美帆(画家) | 収録日2007年1月12日 |
| 第10回 | 児玉靖枝(画家) | 収録日2007年3月30日 |
| 第12回 | 宮本隆司(写真家) | 収録日2007年8月24日 |
| 第14回 | 菊畑茂久馬(画家) | 収録日2008年1月18日 |
| 第16回 | 畠山直哉(写真家) | 収録日2008年6月13日 |
| 第18回 | 辰野登恵子(画家) | 収録日2008年11月14日 |
| 第19回 | 白木ゆり(版画家) | 収録日2009年1月30日 |
| 第20回 | 岡村桂三郎(画家) | 収録日2009年4月10日 |
| 第21回 | 田中信太郎(美術家) | 収録日2009年6月19日 |
| 第22回 | 中川佳宣(美術家) | 収録日2009年10月16日 |
| 第24回 | 橋本朝子(写真家) | 収録日2010年2月26日 |
| 第25回 | 野見山暁治(画家) | 収録日2010年5月14日 |
| 第28回 | 中村宏(画家) | 収録日2011年3月4日 |
| 第29回 | 戸谷成雄(彫刻家) | 収録日2011年6月5日 |
| 第30回 | 三好耕三(写真家) | 収録日2011年11月11日 |

<企画展>

◆トークセッション ポケモン×工芸展イベント「アーティスト×アーティスト」

日時：令和5年4月15日(土) 14時00分～15時30分

講師：福田亨(木工家)、満田晴穂(金工家)、
岩井美恵子(国立工芸館工芸課長)

聴講者数：45人

◆トークセッション ポケモン×工芸展イベント「アーティスト×アーティスト」

日時：令和5年4月23日(日) 14時00分～15時30分

講師：小宮康義(染織家)、吉田泰一郎(金工家)、
今井陽子(国立工芸館主任研究員)

聴講者数：34人

◆講演会「「ポケモン×工芸展」からあらためて考える工芸の魅力」(石川県連携事業)

日時：令和5年5月5日(金) 13時30分～15時00分

講師：桂盛仁(金工家)、田口義明(漆工家)、
唐澤昌宏(国立工芸館長)

聴講者数：111人

◆トークセッション ポケモン×工芸展イベント「アーティスト×アーティスト」

日時：令和5年5月21日(日) 14時00分～15時30分

講師：今井完眞(陶芸家)、榎本佳子(陶芸家)、
唐澤昌宏(国立工芸館長)

聴講者数：40人

◆特別講演会第1回「加賀と皇室」(石川県連携事業)

日時：令和5年10月22日(日) 13時30分～15時00分

講師：太田彩(元宮内庁三の丸尚蔵館首席研究官)

聴講者数：129人

◆ワークショップ「みんなでつくろう！扇面散屏風」

日時：令和5年11月18日(土) 14時00分～15時30分、

令和5年11月19日(日) 10時30分～12時00分

講師：井上 真里奈、木谷 知香(皇居三の丸尚蔵館)

参加者数：11人

◆特別講演会第2回「三の丸尚蔵館の過去・現在・未来」

日時：令和5年11月23日(木・祝) 13時30分～15時00分

講師：朝賀浩(皇居三の丸尚蔵館副館長)

聴講者数：140人

◆トークセッション「東京国際版画ビエンナーレ展の頃、そして版画の今」

日時：令和6年2月24日(土) 14時00分～15時00分

講師：木村秀樹(画家、版画家)、牧口千夏(京都国立近代美術館主任研究員)、
中尾優衣(国立工芸館主任研究員)

聴講者数：56人(内オンライン聴講者数24人)

◆レクチャー&ワークショップ「孔版印刷を知って、リソグラフに挑戦！」

日時：令和6年2月25日(日) 13時30分～15時30分

講師：秋山伸(グラフィックデザイナー、神戸芸術工科大学教授、
多摩美術大学客員教授)

参加者数：15人

<所蔵作品展>

◆「水の日キャンペーン」

日時：令和5年8月1日(火)～8月4日(金)

参加者数：76人

◆ワークショップ「水の泡模様のやきものを作ろう」

日時：令和5年8月5日(土) 10時30分～11時30分、13時00分～14時00分、
14時30分～15時30分、16時00分～17時00分

講師：高橋朋子(陶芸家)

参加者数：20人

<その他>

◆「G7富山・金沢教育大臣会合」

日時：令和5年5月14日(日) 18時05分～18時45分

◆「ポケモン×工芸展5万人達成記念セレモニー」

日時：令和5年5月16日(火) 11時45分～12時00分

◆「日本セラミックス協会北陸支部」

日時：令和5年5月19日(金) 14時30分～16時30分

講師：今井陽子(国立工芸館主任研究員)

聴講者数：13人

◆「イオン金沢店イオンチアーズクラブ」

日時：令和5年5月21日(日) 10時30分～11時00分

講師：今井陽子(国立工芸館主任研究員)

聴講者数：8人

◆開館記念日特別公開「ガラスの向こうの気になる「アレ」

日時：令和5年7月29日(土)、10月25日(水) 9時30分～18時00分

参加者数：1,032人

◆「映写機で知る工芸の世界」

日時：令和5年8月11日(金)、12日(土) 17時50～19時30の2回
計4作品上映

上映作品：『工芸技術記録映画シリーズ30 萩焼—十一代三輪休雪の鬼萩—』
『工芸技術記録映画シリーズ13 型染め—江戸小紋と長板中形—』
『工芸技術記録映画シリーズ11 髹漆—増村益城のわざ—』
『工芸技術記録映画シリーズ21 鑄金—齋藤明のわざ—』

聴講者数：97人(計4回)

◆「こどもファスト・トラック」

令和5年8月13日(日) 9時30分～17時30分
参加者数：69人

◆「目黒区かなざわ講座」(市連携事業)

令和5年10月28日(土) 14時00分～15時00分
講師：唐澤昌宏(国立工芸館長)
聴講者数：58人

◆「公益社団法人日本工芸会石川支部会員 作品取り扱い講座」

日時：令和5年11月1日(水) 14時00分～16時00分
講師：唐澤昌宏(国立工芸館長)、岩井美恵子(国立工芸館工芸課長)、
今井陽子(国立工芸館主任研究員)
参加者数：48人

◆「工芸のつなぎ手人材育成講座」(市連携事業)

日時：令和5年11月5日(日) 10時00分～11時00分
講師：唐澤昌宏(国立工芸館長)
聴講者数：30人

◆「石川県による高付加価値観光モデルツアー造成への協力」(県連携事業)

日時：令和5年11月5日(日)、11日(土) 12時00分～16時00分
講師：唐澤昌宏(国立工芸館長)、北村仁美(国立工芸館主任研究員)
参加者数：8人

◆「石川県立九谷焼技術研修所」

日時：令和5年11月7日(火) 13時40分～14時00分
講師：北村仁美(国立工芸館主任研究員)
参加者数：13人

◆「令和5年度重要無形文化財伝承者養成研修会 研修セミナー「彫金」」

日時：令和5年11月9日(木)、10日(金) 10時00分～18時00分
講師：唐澤昌宏(国立工芸館長)、岩井美恵子(国立工芸館工芸課長)
参加者数：29人

◆「Kogei Art Fair Kanazawa2023×国立工芸館プレミアムイベント」

①国立工芸館とこれからの工芸-12人の工芸・美術作家による新作制作プロジェクトから
日時：令和5年12月1日(金) 16時00分～17時00分

講師：新里明士(陶芸家)、見附正康(陶芸家)、唐澤昌宏(国立工芸館長)

②当館所蔵(R2クラウドファンディング購入)の茶道具を用いた「特別茶会」

日時：令和5年12月1日(金) 12時00分～15時00分

令和5年12月2日(土) 12時00分～12時45分、13時00分～13時45分、
15時15分～16時00分、17時15分～18時00分

令和5年12月3日(日) 12時00分～12時45分、13時00分～13時45分、
15時15分～16時00分、17時15分～18時00分、18時00分～20時00分

◆インターンシップ

参加人数：5名

研修内容：コレクション(近現代美術)・企画展・美術館教育・図書資料の各受入分野における基本的な日常業務の補助、研修者の目的に沿った個別事業への参加。また、各分野の研究者が、全分野の研修者に対し、オンラインで各分野の業務等をレクチャーする機会を設けた。

◆キュレーター研修

主催：独立行政法人国立美術館

参加者数：4名

研修内容：所蔵作品の展示や保管・管理・貸出等の業務、企画展の展示作業・記者発表・内覧会の見学や広報対応、教育普及活動に関する業務等の研修を行った。

◆大学の授業等への協力（ギャラリートークやガイダンス等を伴う受入）

令和5年4月4日(木)	共立女子大学	128人
令和5年6月3日(土)	跡見学園女子大学	11人
令和5年6月7日(木)	埼玉大学	3人
令和5年6月15日(木)	関東学院大学	4人
令和5年6月16日(金)	明治大学	23人
令和5年6月28日(水)	東京学芸大学	6人
令和5年7月5日(水)	女子美術大学	20人
令和5年7月7日(金)	大妻女子大学	42人
令和5年7月22日(土)	昭和音楽大学(大学院)	14人
令和5年8月2日(水)	日本女子大学	17人
令和5年8月24日(木)	日本写真芸術専門学校	16人
令和5年10月4日(水)	共立女子大学	18人
令和5年11月1日(水)	早稲田大学	9人
令和5年11月15日(水)	横浜国立大学	7人

◆生涯学習施設等への協力

令和5年4月1日(土)	異文化アカデミー	38人
令和5年8月23日(水)	高崎市国際交流協会	16人
令和6年1月27日(土)	千代田区ミュージアム連絡会	21人

◆インターンシップ

参加者数：1名

研修内容：国立工芸館における展覧会準備、広報活動、教育普及プログラム、所蔵作品に関連する補助業務。全体レクチャーの受講。

◆キュレーター研修

該当なし

◆大学の授業等への協力（ギャラリートークやガイダンス等を伴う受入）

令和5年5月23日(火)	金沢美術工芸大学デザイン科	42人
令和5年8月30日(水)	立教大学	36人
令和5年8月31日(木)	大阪芸術大学陶芸コース	29人
令和5年9月6日(水)	立教大学	33人
令和5年9月9日(土)	東京家政大学	47人
令和5年9月14日(木)	長岡造形大学	31人
令和5年11月15日(水)	金沢美術工芸大学工芸科	42人
令和5年12月19日(火)	金沢美術工芸大学芸術学専攻	10人
令和6年1月10日(水)	金沢美術工芸大学工芸科	46人

◆生涯学習施設等への協力

令和5年5月25日(木)	Peters Valley School of Craft	17人
令和5年7月7日(金)	金沢ボランティア大学校	32人
令和5年10月24日(火)	金沢市公民館主事研修	63人

新型コロナウイルスの5類移行にともない、ガイドスタッフ(ボランティア)の「所蔵品ガイド」が5月23日から、コロナ禍以前と同様に、対面で再開した。「MOMATサマーフェス」では「フライデー・ナイトトーク」をおこなった。「美術館の春まつり」では「所蔵品ガイド」の開始時間を11時00分に変更し、ガイド担当者・ヘルプの二人体制で実施した。「オンライン対話鑑賞」は、月に1回実施し、年度末でプログラムを終了した。2年ぶりに対面でのフォローアップ研修を再開し、対話鑑賞や特別支援教育等の内容で対面・オンラインで全4回実施し、研修内容の充実を図った。

ボランティアの登録人数 49人

◆MOMATガイドスタッフによる所蔵作品ガイド

日時：令和5年5月11日まで定員制(各回5名)。

令和5年5月23日～定員なしで実施。

令和5年4月1日～5月11日 36回／177名

令和5年5月23日～9月8日 94回／1,102名

令和5年9月20日～12月1日 61回／629名

令和6年1月23日～3月31日 60回／685名

◆休館日は！ オンライン対話鑑賞(オンラインイベント)

昨年までは通年の実施であったが、対面の所蔵品ガイド再開にともない、「休館日は！ オンライン対話鑑賞」とタイトルを改めて月1回の実施に変更し、年度末に事業を終了した。

日時：令和5年5月22日～令和6年3月11日

回数：10回

参加者数：38人

◆フライデー・ナイトトーク

日時：令和5年7月28日 19時00分～19時30分

参加者数：25人、19人(2か所で実施)

日時：令和5年8月11日 19時00分～19時30分

参加者数：23人、14人(2か所で実施)

日時：令和5年8月18日 19時00分～19時30分

参加者数：43人、25人(2か所で実施)

日時：令和5年8月25日 19時00分～19時30分

参加者数：34人、24人(2か所で実施)

◆動画配信

鑑賞プログラム「所蔵品ガイド」の様子を撮影した約1分の動画を制作し、当館ウェブサイトに掲載した。

日時：令和5年3月28日～配信

動画：【学びのプログラム】所蔵品ガイド | 東京国立近代美術館

作品：アントニー・ゴームリー《反映／思索》

映像制作協力：国立アトリサーチセンター

1-5-2 国立工芸館

国立工芸館ガイドスタッフのうち、石川県内で対面プログラムに参加可能なボランティアを募集し、1期石川メンバーとして7名を採用、養成研修を実施のうえ活動を開始した。本年度の主な活動はイベント運営補助並びに学校等団体受入である。移転前から活動を継続しているガイドスタッフ（東京メンバー）は本年度も引き続きオンラインプログラムに従事し、主に「工芸トークオンライン」を担当した。「ポケモン×工芸展」開催期間中は、子どもと大人が一緒に参加できる「こども工芸トークオンライン」を行い、活発な意見交換と世代間交流をはかることができた。また、東京メンバーの知識と経験を活かし、石川メンバーの養成研修の一端を担ってもらった。

ボランティアの登録人数 21人

◆工芸トークオンライン

39回／225人

◆こども工芸トークオンライン

1回／5人

◆Let's Talk KOGEI Online

1回／2人

有償解説スタッフ「MOMAT英語ファシリテータ」による「Let's Talk Art!」は、来館する訪日外国人を主な対象に、11月より対面、無料、定員なしで開始した。チラシを作成し来場者に声をかけることでも参加者を募った。プログラムの改善につなげるため、所要時間や作品点数などを変えて実施し、併せてアンケートやヒアリングをおこなった。

有償解説スタッフ「MOMAT英語ファシリテータ」は本年度で終了し、翌年度よりガイドスタッフ(ボランティア)が英語プログラムを担当することになった。

MOMAT英語ファシリテータの登録人数 9人

◆Let's Talk Art!

日時：令和5年11月24日～12月1日 5回／29名
令和6年2月10日～3月1日 2回／10名

◆Let's Talk Art!-Spring Festival in MOMAT

令和6年3月15日～4月5日 16回／173名

◆令和5年度国立美術館巡回展「20世紀美術の冒険者たち―名作でたどる日本と西洋のアート」関連プログラム

ギャラリートーク

日時：令和5年9月8日 18時00分～19時30分

場所：熊本県立美術館

講師：細谷美宇(企画課研究員)

参加者：7人

ギャラリートーク

日時：令和5年11月8日 10時00分～10時50分

場所：高松市美術館

講師：細谷美宇(企画課研究員)

参加者：9人

ギャラリートーク

日時：令和5年11月8日 13時30分～14時20分

場所：高松市美術館

講師：細谷美宇(企画課研究員)

参加者：9人

オンライン対話鑑賞

日時：令和5年9月2日 10時00分～11時00分

場所：熊本県立美術館

進行役：当館ガイドスタッフ3名

参加者：18人

オンライン対話鑑賞

日時：令和5年11月11日 11時00分～11時45分

場所：高松市美術館

進行役：当館ガイドスタッフ3名

参加者：14人

東京国立近代美術館の対話鑑賞を研修に活用したい企業向けに、以下のとおり有料プログラムを実施した。

◆企業向け研修

令和6年3月18日(月) 13時00分～16時30分 29名(対面での実施)

教育普及事業の実践にあたる人材の育成や、地域における学校と美術館の連携を目的とし、小・中・高等学校・特別支援学校の教員、美術館の学芸員、教育委員会の指導主事が一堂に会し、講演、グループワーク及び発表、事例紹介、ワールドカフェ(全体討議)などのプログラムを実施した。グループワークでは、今年度から新たに特別支援教育をテーマにしたグループを作り、障害の種類、程度が様々な児童・生徒に対してどのような鑑賞や授業ができるのか、参加者同士で議論を深めた。

主催：独立行政法人国立美術館

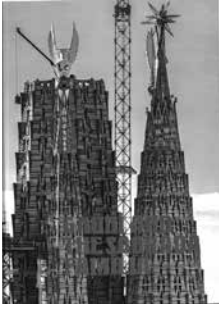
共催：文化庁

会場：国立国際美術館、大阪府立国際会議場

期間：令和5年8月7日(月)～8月8日(火)

修了者数：77名

(小学校教諭14名、中学校教諭15名、高等学校教諭9名、特別支援学校教諭8名、指導主事8名、学芸員23名)



2 刊行物 Publications

2-1 企画展覧会カタログ

2-1-1 本館

ガウディとサグラダ・ファミリア展

27×20cm

323p

編著者：鳥居徳敏、山村健、鈴木勝雄、ジョルディ・ファウリ、佐々木睦郎、馬場まどか、久保田舞美、東京国立近代美術館、佐川美術館、名古屋市美術館、NHK、NHKプロモーション、東京新聞、中日新聞社

出版者：NHK、NHKプロモーション、東京新聞、中日新聞社

出版年：2023.6

メイキング・オブ・ムナカタ 生誕120年棟方志功展

27×19cm

304p

編著者：石井頼子、池田亨、遠藤亮平、花井久穂、NHK、NHKプロモーション、佐々木睦

出版者：NHK、NHKプロモーション

出版年：2023.3

中平卓馬 火一氾濫

26×22cm

495p

編著者：増田玲、松田貴子、小林紗由里、倉石信乃、八角聡仁、マシュー・S.ウィトコフスキー、東京国立近代美術館、黒川典是

出版者：ライブアートボックス

出版年：2024.3

2-1-2 国立工芸館



皇居三の丸尚蔵館収藏品展 皇室と石川一麗しき美の煌めき一

26×19cm

247p

編著者：石川県立美術館、国立工芸館

出版者：石川県立美術館、国立工芸館

出版年：2023.10

印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1979

24×19cm

49p

編著者：中尾優衣、牧口千夏

出版者：国立工芸館、京都国立近代美術館

出版年：2023.12



卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展

24×17cm

157p

編著者：唐澤昌宏、能木場貴也、田中真希代、吉田南都子、大西亜希

出版者：NHKエンタープライズ中部

出版年：2024.3



2-2 目録・ガイド等

2-2-1 本館



ガウディとサグラダ・ファミリア展 アクティビティシート ガウディたちの挑戦

21×60cm (折りたたみ 21×15cm)

1枚

編著者：藤田百合

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2023.6



MOMATカタチシート 東京国立近代美術館へようこそ！

18×39cm (折りたたみ18×15cm)

1枚

編著者：藤田百合

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2023.8

女性と抽象

21×10cm

[30] p

編著者：小川綾子、小林紗由里、佐原しおり、堀田文、松田貴子、横山由季子

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2023.9



生誕120年棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ セルフガイド

15×63cm (折りたたみ 15×21cm)

1枚

編著者：藤田百合、花井久穂

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2023.10

芹沢銈介と、新しい日々 MOMATコレクション 特集展示

19×13cm

15p

編著者：高橋佑香子(国立工芸館)

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2024.1





水のいろ、水のかたち展

18×15cm

15p

編者：岩井美恵子、板橋菜里

著者：岩井美恵子、小島美里

出版者：国立工芸館

出版年：2023.7

みず [セルフガイド]

18×12.8cm

(18×76.8cm両面6つ折)

12p

編者：今井陽子、横川悠子、日南日和

著者：今井陽子、横川悠子、日南日和

出版者：国立工芸館

出版年：2023.7



皇居三の丸尚蔵館収藏品展 皇室と石川 一麗しき美の煌めき—

お宝バード・ウォッチング 観察カード

15×21cm

7枚

出版者：石川県立美術館、国立工芸館

出版年：2023.10





東京国立近代美術館研究紀要 第28号

24×19cm

139p

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2024.3

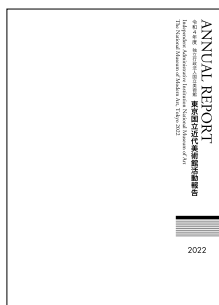
令和4年度 東京国立近代美術館活動報告

26×19cm

116p

出版者：東京国立近代美術館

出版年：2024.2



令和5年度 東京国立近代美術館概要

30×21cm

9p





2-4 その他の刊行物

2-4-1 国立工芸館

工芸とたのしむ 四季と自然、日々の暮らし

21×15cm

99p

編者：岩井美恵子、高橋祐香子、廣川晶子、廣瀬歩、名塚雅絵

著者：高橋佑香子、廣川晶子

出版者：カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社美術出版社書籍編集部

出版年：2023.10



2-5 美術館ニュース『現代の眼』

No.638 2023年
30×21cm
89p
編著者：黒川典是
出版者：東京国立近代美術館
出版年：2024.3

3 広報

3-1 広報

3-1-1 本館

展覧会については、企画展・所蔵作品展のプレスリリースによるメディア向け情報発信のほか、オウンドメディアであるウェブサイトやソーシャルメディア(X、Facebook、Instagram、YouTube)による情報発信に力を入れ、館全体での広報活動の強化に努めた。特に所蔵作品や美術館の活動の認知を高めるため、作家による「アーティストトーク」や研究員による「キュレータートーク」など作品解説の動画を公式YouTubeチャンネルで公開し、展覧会・所蔵作品をより深く知るための機会を増やした。

展覧会だけでなく美術館全体の広報として、地域連携や季節を考慮しながら館の強みをいかしたイベントの企画・実施とPR活動を展開。春には千鳥ヶ淵など桜の名所を擁する千代田区と連携した「美術館の春まつり」を実施し、所蔵作品展内で桜や花にまつわる定番作品を展示、教育普及プログラムの対話鑑賞では通常の所蔵品ガイドに加え、「Let's Talk Art!」の実施を行い、インバウンド観光客とお花見客をターゲットに周辺エリアからの誘客に繋げた。夏には「MOMATサマーフェス」と題した全館イベントの実施に加え、新たな取り組みの「Family Day こどもまつり」の実施により、子連れでの来館を促した。

上記イベント・展覧会(企画展)ともに、チラシ・ポスターや新聞・交通など従来の広告媒体、SNSやウェブメディアへの広告出稿、海外ウェブ媒体への出稿など、ターゲットにより媒体を選定し、効果的なマーケティングを心がけた。

3-1-2 国立工芸館

展覧会については、プレスリリースによるメディア向け情報発信のほか、チラシ・ポスターの配布や交通機関・Web広告出稿、ウェブサイトやSNSによる情報発信を行った。広告出稿については、いずれの展覧会でも金沢駅コンコースのデジタルサイネージを掲出、しいき迎賓館に立て看板を設置、一部展覧会では東京駅でもデジタルサイネージを掲出し、露出増を図った。

「水のいる、水のかたち展」では、「Web版美術手帖」にタイアップ記事とInstagram広告を出稿するほか、女優として活躍する小橋めぐみ氏に取材を依頼し、インフルエンサーによる情報発信を図った。

「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川一麗しき美の煌めき」では、「ニコニコ美術館」でインターネット上での生配信を行い、これまでと異なる層へ認知拡大に努めた。

「印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957－1979」では記者発表会に記者を招聘し、「Web版美術手帖」、「日経クロスWeb」、「Pen Online」などPV数が多い媒体に記事を掲載いただき、来客促進につなげた。また、会期中に発生した「令和6年度能登半島地震」に対する募金箱の館内設置について、「Web版美術手帖」「美術展ナビ」に取り上げられ、震災に対する工芸館の姿勢が報道された。

「卒寿記念 人間国宝 鈴木藏の志野展」では、脳科学者の中野信子氏を招へいし、工芸と脳の関係のお話などを含む展覧会に関する記事を地元新聞やウェブメディアが数多く掲載、陶芸ファンのみならず、幅広い情報発信につながった。

その他、今年度も国立工芸館オリジナルカレンダーを制作し、所蔵作品の魅力を伝えるとともに工芸館のイメージの向上に取り組んだ。

美術館のウェブサイトではタイムリーで分かりやすい情報発信を心がけた。22年度末のウェブサイトリニューアル以降、ユーザー目線を意識して情報をアップデートし、アクセシビリティに対応した分かりやすく・見やすいウェブサイトを目指して改修を続けた。

ソーシャルメディアでは、Facebook、Xにおいては速報性を重視しつつ展覧会や開館情報の情報、そのほかより身近に感じられるような文面・画像の投稿を目指した。InstagramではFacebook、Xとは投稿内容を変え、写真や動画の活用を心がけ、展覧会や作品、イベントへの興味関心を惹く投稿に注力。YouTubeではコンスタントに作品解説(アーティストトーク、キュレータートーク)などの動画を投稿し、いずれのソーシャルメディアでもフォロワー数、登録者数を着実に伸ばした。

(1) ウェブサイトのアクセス件数

9,449,624件(本館・工芸館含む)

(2) インターネットによる調査研究成果の公表

『研究紀要』第11号より、収録論文全文のウェブサイトへの掲載を開始し、本年度も継続している。また、『研究紀要』『現代の眼』および自館開催展覧会カタログなどの目次情報をウェブサイトにおいて公開するとともに、図書検索システム(OPAC)からもこれら目次検索を従来通り可能にしている。また、令和元年9月10日より東京国立近代美術館リポジトリを公開し、一部の『研究紀要』『現代の眼』『活動報告』等の収録を継続し、これらの研究成果にアクセスしやすい環境を維持した。

(3) インターネットを用いた広報

① SNS等を活用した取り組み

3-2-1 本館

外部環境変化であるデジタルマーケティングの時流や効果を考慮した活動を実施。運用するソーシャルメディアアカウントではタイムリーかつ多様な情報発信に注力。X、Facebook、Instagram、YouTubeを活用し、過去の投稿内容と効果を検証しながら、作品紹介動画や展覧会関連動画、研究員による展示の見どころやこだわり、展覧会の裏話や関連イベント告知など多様な情報を配信した。

-Xアカウント https://twitter.com/MOMAT_museum

-Facebook アカウント <https://www.facebook.com/momat.pr/>

-Instagram アカウント https://www.instagram.com/momat_museum/

-YouTubeアカウント <https://www.youtube.com/user/MOMAT60th>

3-2-2 国立工芸館

国立工芸館のX、Facebook、Instagram、YouTubeのアカウントで積極的に投稿を続けている。

「水のいろ、水のかたち展」開催中の8月1日の「水の日」から4日間、当館のSNSのフォロワーを対象に国立工芸館オリジナルミネラルウォーターをプレゼントする「水の日キャンペーン」を実施し、フォロワー数の増加を図った。

「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川 一麗しき美の煌めき」の際には、共同開催だった石川県立美術館と石川県と相互にリポストを行ったり、情報発信する際に共通のハッシュタグを設定することで、より多くの人の目に留まるよう努めた。

② 美術館情報システムによる広報活動

独立行政法人国立美術館所蔵作品総合目録検索システムに新収蔵作品の文字画像データを追加するとともに、同システムへの著作権のある作品画像掲載を進めるため、許諾を得た「令和4年度の新収蔵作品の作家」を中心とする作品181点について画像を新規登録した。また、著作権者情報の整備を引き続き行い、令和5年度の新収蔵作品の作家の著作権許諾申請手続きを開始した。

1 国際交流 International Exchange

1-1 令和5年度招聘者

1-1-1 本館

令和5年6月12日 エステベ・カンブス・サラ(サグラダ・ファミリア聖堂会長代理)
チャビエル・マルティネス(サグラダ・ファミリア聖堂事業部長)
ジョルディ・ファウリ(サグラダ・ファミリア聖堂主任建築家)
マルタ・オジェット(サグラダ・ファミリア聖堂文化・社会教育活動担当部長)
外尾悦郎(サグラダ・ファミリア聖堂彫刻家)

1-1-2 国立工芸館

実施なし

1-2 令和5年度来館者 Visitors

1-2-1 本館

令和5年4月10日 ラーニア・アル=アブドゥッラー(ヨルダン王妃)
令和5年6月27日 シルヴィー・フォルバン(世界知的所有権機関(WIPO)著作権・クリエイティブ産業部門事務局次長)
令和5年7月14日 ペ・ミョンジ(韓国国立現代美術館キュレーター)
令和5年10月18日 エリー・バットローズ(クイーンズランド州立美術館キュレーター)
令和5年10月18日 メラニー・オリバー(クライストチャーチ・アートギャラリースニア・キュレーター)
令和5年10月18日 ジョアンナ・ペアー(ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館アシスタント・キュレーター)
令和5年10月18日 ペドロ・デ・アルメイダ(シドニー現代美術館シニア・キュレーター)
令和5年10月18日 ピップ・ウォリス(モナシュ大学美術館シニア・キュレーター)
令和5年11月2日 トーマス・エルマー(ウオーリック大学ウオーリックアーツセンター展示キュレーター)
令和5年11月2日 シャーロット・ホルン(FACTリヴァプールシニア展示プロデューサー)
令和5年11月2日 アイリーン・アリスティザバル(バルティック現代美術センター学芸部門長)
令和5年11月2日 クレール・グールド(クンステン現代美術館キュレーター)
令和5年11月2日 ピーア・オクサネン(キアズマ現代美術館キュレーター)
令和5年11月8日 ヴアレリー・ペクルス(イル・ド・フランス地域圏知事)
令和5年11月20日 マノボフ・アジズベク(ウズベキスタン文化芸術財団文化交流部門長)
令和6年2月28日 シュテファン・ヴェッペルマン(ライプツィヒ造形美術館館長)

1-2-2 国立工芸館

実施なし

2 日誌(レセプション、行幸啓、委員会等記載) Record of Events

2-1 令和5年度日誌一覧

2-1-1 東京国立近代美術館日誌

- 令和5年10月2日
令和5年度第1回美術作品購入等選考委員会及び評価委員会(美術部門)開催
- 令和6年1月22日
令和5年度第2回美術作品購入等選考委員会及び評価委員会(美術部門)開催
- 令和6年2月19日
令和5年度美術作品購入等選考委員会及び評価委員会(写真部門)開催

2-1-2 国立工芸館日誌

- 令和5年11月20日
令和5年度東京国立近代美術館美術作品購入等選考委員会(工芸・デザイン部門)開催
令和5年度東京国立近代美術館美術作品購入等評価委員会(工芸・デザイン部門)開催

3 予算 Expenditure

3-1 令和5年度歳出予算一覧

3-1-1 東京国立近代美術館

事項	予算額(単位：千円)
1 美術振興事業費	387,412
所蔵作品展	96,485
企画展	35,624
美術に関する情報の拠点としての機能向上	28,091
教育普及活動の充実	30,705
調査研究の実施と成果の反映・発信	20,604
快適な観覧環境の提供	4,082
共通経費(設備維持費等)	171,821
2 ナショナルコレクション形成・承継事業	180,488
作品の収集	89,662
所蔵作品の保管・管理	35,354
所蔵作品の修理・修復	3,550
共通経費(設備維持費等)	51,922
3 ナショナルセンター事業	6,962
ナショナルセンターとしての人材育成	246
共通経費(設備維持費等)	6,716
4 一般管理費	81,315
合計	656,177

3-1-2 国立工芸館

事項	予算額(単位：千円)
1 美術振興事業費	196,311
所蔵作品展	21,246
(本館における工芸展示	1,624)
企画展	71,109
美術に関する情報の拠点としての機能向上	8,922
教育普及活動の充実	24,621
調査研究の実施と成果の反映・発信	3,960
快適な観覧環境の提供	10,285
共通経費(設備維持費等)	56,168
2 ナショナルコレクション形成・承継事業	132,753
作品の収集	20,000
所蔵作品の保管・管理	64,337
工芸館移転に関わる作品移転	18,530
所蔵作品の修理・修復	5,125
共通経費(設備維持費等)	24,761
3 ナショナルセンター事業	6,458
ナショナルセンターとしての人材育成	100
共通経費(設備維持費等)	6,358
4 一般管理費	44,044
管理部門	35,000
共通経費(設備維持費等)	9,044
合計	379,566

4 名簿 Nominal List

4-1 東京国立近代美術館評議員

(令和6年3月31日現在)

現職	氏名
独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館副館長	浅見龍介
MOA美術館長	内田篤呉
多摩美術大学芸術学科教授	小川敦生
日本体育大学教授	奥村高明
元文化庁文化財部伝統文化課主任文化財調査官	近藤都代子
早稲田大学文学学術院教授	関 直子
東京ステーションギャラリー館長	富田 章
DMO 東京丸の内事務局長	藤井宏章
姫路市立美術館長	不動美里
東京藝術大学大学美術館教授	古田 亮
新潟市美術館特任館長	前山裕司
株式会社ゆうちょ銀行取締役	山崎勝代
金沢美術工芸大学学長	山崎 剛

(五十音順)

4-2 東京国立近代美術館職員

(令和6年3月31日現在)

現職	氏名	現職	氏名
館長	小松弥生	主任研究員 情報資料室長	長名大地
副館長	大谷省吾		
運営管理部		美術課	
運営管理部長	裏山晃生	美術課長	三輪健仁
総務課長	中村 妙	主任研究員 絵画彫刻室長	鶴見香織
会計課長	小山寛俊		都築千重子
渉外・広報課長	滝本昌子	版画素描室長(兼務)	小林紗由里
会計課室長	神長宏幸		三輪健仁
係長(総務)	大西晶子	主任研究員 写真室長	佐原しおり
主任(総務)	水木 彩	コレクション展示計画室長(兼務)	増田 玲
	奥村咲栄		三輪健仁
	秋山祐子	主任研究員 コレクション情報発信室長	横山由季子
	大戸 准		成相 肇
	田中友紀	国立工芸館	
係長(人事)	鈴木 仁	工芸館長	唐澤昌宏
主任(人事)	小堀恵実	管理室長	荒井久登
	古澤美久	係長(総務・事業)	西谷玲子
係長(研修)	佐藤 遥		三輪紘子
係長(監査)	三村研太郎	(会計・施設)	加藤優貴
主任(監査)	加来杏沙子		宗像浩代
	野邊真友		宮 春奈
係長(会計)	東谷 憲	工芸課	
	高原佑太	工芸課長	岩井美恵子
	松本大河	主任研究員 展示渉外室長	村山 閑
	細田 航		石川嵩紘
係長(渉外・広報)	竹内隆文		能木場貴也
係長(渉外・広報)	藤田汐路	主任研究員 教育普及室長	今井陽子
主任(渉外・広報)	阪本千尋		宮川典子
	小野口優来		横川悠子
	岡村 愛	情報資料室長(兼務)	唐澤昌宏
	高田麻央		廣川晶子
企画課		主任研究員 工芸室長(兼務)	中尾優衣
企画課長	鈴木勝雄		中川智絵
主任研究員 企画展示室長	中村麗子	主任研究員 修復室長	北村仁美
主任研究員	榊田倫広	主任研究員 東京分室長	中尾優衣
主任研究員 企画情報発信室長	花井久穂		
主任研究員 教育普及室長	端山聡子		
	細谷美宇		
	藤田百合		

令和5年度

独立行政法人国立美術館 東京国立近代美術館活動報告

発行者：小松弥生

発行：独立行政法人国立美術館 東京国立近代美術館

東京都千代田区北の丸公園3-1

電話03 (3214) 2561 (代表)

印刷：ヤマノ印刷株式会社

発行日：令和7年2月28日

■非売品

2023 Annual Report

Independent Administrative Institution National Museum of Art

The National Museum of Modern Art, Tokyo

Publisher: Komatsu Yayoi

Edited & Published by:

Independent Administrative Institution National Museum of Art

© 2023, The National Museum of Modern Art, Tokyo

3-1 Kitanomaru-koen, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan

Phone: +81 (0) 3-3214-2561

Printed by: Yamano Printing Co., Ltd.

Printed in Japan

■Not for sale

